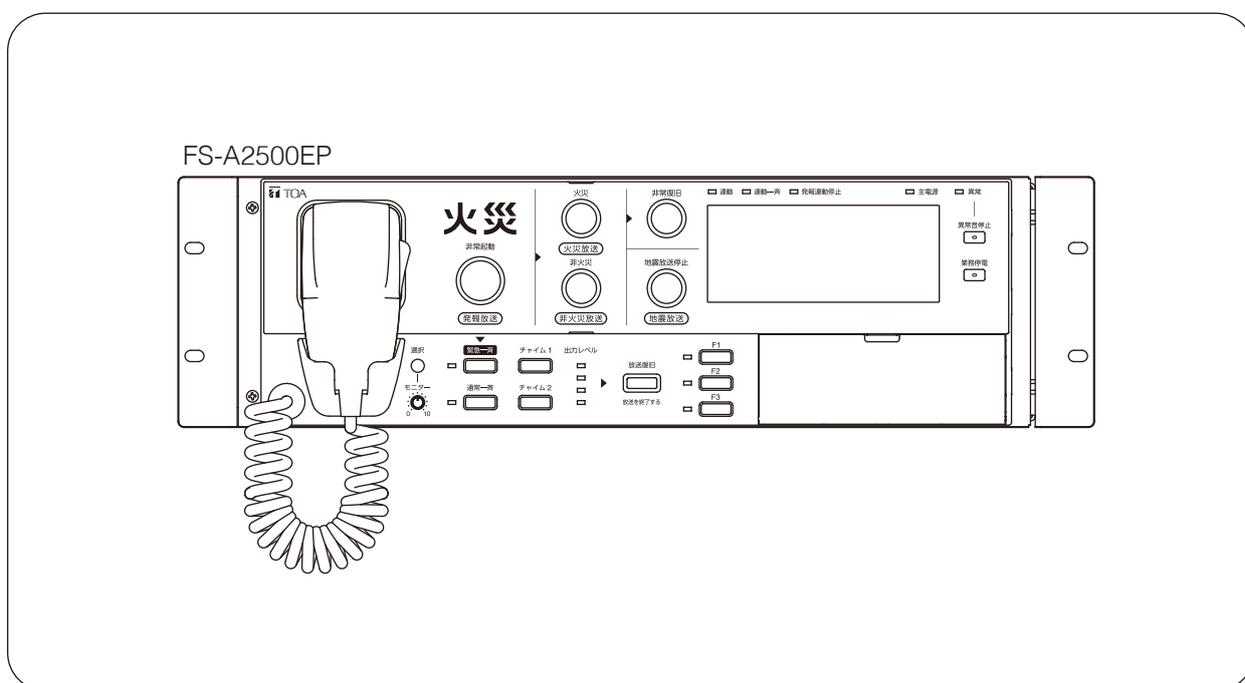


ラック型非常用放送設備
型名 FS-A2500
Ver. 2.2

お知らせ

本書は FS-A2500EP の設定操作部を使って設定するときの説明書です。パソコンが使用できる環境にあるときは、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager * を使用して設定できます。

* 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager は付属していません。

TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) から最新の設定支援ソフトウェアおよび FS-A2500 設定支援ソフトウェア取扱説明書をダウンロードしてお使いください。

設定支援ソフトウェアで設定したときは、データを付属の SD カードに保存した後、FS-A2500EP の設定操作部を使って SD カードから FS-A2500EP へデータ書き込みを行ってください。

このたびは、TOA ラック型非常用放送設備をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

正しくご使用いただくために、必ずこのシステム設定説明書をお読みにになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目次

| | |
|--|----|
| 説明書の構成 | 6 |
| 設置工事とシステム設定の手順 | 7 |
| システム設定の前に | 8 |
| システム設定で使用するキー | 8 |
| 基本的な操作のしかた | 9 |
| メニュー項目の選択 | 9 |
| 設定内容の編集 | 9 |
| 設定の順番 | 10 |
| メニュー構成 | 11 |
| システム設定 | 14 |
| システム設定を始める | 14 |
| 初期設定 (1-1) | 15 |
| 時刻設定 (1-1-1) | 15 |
| 暗証番号変更 (1-1-2) | 16 |
| システム動作モード設定 (1-1-3) | 16 |
| 機器構成設定 (1-2) | 17 |
| 構成設定 (本体・PM・EX・EM) (1-2-1) | 17 |
| 非常 RM 設定 (1-2-2) | 18 |
| 業務 RM 設定 (1-2-3) | 19 |
| 業務 RM 構成設定 (1-2-3-1) | 19 |
| 業務 RM 機能設定 (1-2-3-2) | 20 |
| 本体・EX 電源パネル設定 (1-2-4) | 22 |
| アンプ設定 (1-2-5) | 23 |
| アンプモジュール設定 (1-2-5-1) | 25 |
| ジャンクションパネル設定 (1-2-6) | 27 |
| 出力系統設定 (1-2-7) | 28 |
| 非常放送設定 (1-3) | 30 |
| 放送階選択方法設定 (1-3-1) | 30 |
| EL 設定 (1-3-2) | 31 |
| SW・EL 設定 (1-3-3) | 33 |
| 本体 (1-3-3-1) | 34 |
| 非常 RM (1-3-3-2) | 36 |
| 出火階・連動階設定 (1-3-4) | 38 |
| 音声警報設定 (1-3-5) | 39 |
| 非常タイマー設定 (1-3-6) | 41 |
| 回線初期値設定・点検 (1-3-7) | 42 |
| 回線初期値取得 (1-3-7-1) | 42 |
| すべてのスピーカー回線の測定を行う場合 (全スピーカーから音を出して良い場合) | 42 |
| スピーカー回線を選択して測定を行う場合 (一部のスピーカーのみ音を出して良い場合) | 43 |

| | |
|--|----|
| 回線初期値確認・編集 (1-3-7-2) | 44 |
| 手動で初期値を全消去するとき | 44 |
| 手動で初期値を編集するとき (スピーカーから音声を出力できない場合) | 45 |
| 回線インピーダンスの初期値を確認するとき | 46 |
| 回線初期値点検 (1-3-7-3) | 47 |
| すべてのスピーカー回線の点検を行う場合 | |
| (全スピーカーから音を出して良い場合) | 47 |
| スピーカー回線を選択して点検を行う場合 | |
| (一部のスピーカーのみ音を出して良い場合) | 48 |
| パイロットトーン設定 (1-3-7-4) | 50 |
| 回線グループ設定 (1-3-8) | 50 |
| EL 制御設定 (1-3-9) | 52 |
| EL モード設定 (1-3-9-1) | 52 |
| EL グループ割り当て設定 (1-3-9-2) | 53 |
| EL 設定確認 (1-3-9-3) | 53 |
| 機器制御・通信設定 (1-4) | 54 |
| 音声入力設定 (1-4-1) | 54 |
| 外部放送音声入力設定 (1-4-1-1) | 54 |
| 音声入力接続設定 (1-4-1-2) | 55 |
| PM 音声入力接続 (1-4-1-2-1) | 55 |
| 業務 RM 音声入力接続 (1-4-1-2-2) | 57 |
| ミックスバス設定 (1-4-1-3) | 58 |
| ミックスバス用途設定 (1-4-1-3-1) | 58 |
| ミックスバス制御設定 (1-4-1-3-2) | 59 |
| ミュート設定 (1-4-1-4) | 59 |
| SW 設定 (1-4-2) | 60 |
| スイッチ動作設定 (1-4-2-1) | 61 |
| 本体 (1-4-2-2) | 62 |
| 緊急・通常一斉 SW 設定 (1-4-2-2-1) | 63 |
| チャイム SW 設定 (1-4-2-2-2) | 64 |
| 非常 RM (1-4-2-3) | 65 |
| 緊急・通常一斉 SW 設定 (1-4-2-3-1) | 65 |
| チャイム SW 設定 (1-4-2-3-2) | 67 |
| 業務 RM (1-4-2-4) | 68 |
| 業務 RM 動作設定 (1-4-2-4-1) | 68 |
| 回線選択 SW 設定 (1-4-2-4-2) | 72 |
| 一斉 SW 設定 (1-4-2-4-3) | 74 |
| チャイム SW 設定 (1-4-2-4-4) | 76 |
| EV 放送設定 (1-4-3) | 77 |
| ファンクション SW 設定 (1-4-4) | 79 |
| 制御入力設定 (1-4-5) | 81 |
| 制御出力設定 (1-4-6) | 85 |
| FS LAN 通信設定 (1-4-7) | 87 |
| 業務放送設定 (1-5) | 88 |
| 業務放送動作設定 (1-5-1) | 89 |
| 音声レベル感度設定 (1-5-1-1) | 90 |
| 優先度設定 (1-5-2) | 91 |

| | |
|------------------------------------|------------|
| 同一優先度動作設定 (1-5-3) | 92 |
| 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4) | 93 |
| EV 音源音量設定 (1-5-5) | 95 |
| 音量・音質設定 (1-5-6) | 98 |
| 音声入力設定 (1-5-6-1) | 98 |
| 簡易設定 (1-5-6-1-1) | 98 |
| 設定詳細表示 (1-5-6-1-2) | 99 |
| 音声出力設定 (1-5-6-2) | 99 |
| 音声出力設定詳細表示 (1-5-6-2-1) | 101 |
| 作動表示灯設定 (1-5-7) | 101 |
| 設定初期化 (1-6) | 101 |
| システム設定の終了 (1-7) | 102 |
| メンテナンス | 103 |
| メンテナンスモードに入る | 103 |
| 自己診断 (2-1) | 104 |
| 自己診断の設定 | 104 |
| 点検のしかた | 105 |
| 異常があったとき | 105 |
| 定期点検設定 (2-2) | 106 |
| SD カード (2-3) | 106 |
| SD カードの挿入のしかた | 107 |
| 設定データ更新 (SD → EP) (2-3-1) | 107 |
| 設定・音源データ更新 (SD → EP) (2-3-2) | 108 |
| 設定データ保存 (EP → SD) (2-3-3) | 109 |
| 設定・音源データ保存 (EP → SD) (2-3-4) | 110 |
| 履歴データ保存 (EP → SD) (2-3-5) | 111 |
| 設定データ比較 (SD ⇄ EP) (2-3-6) | 112 |
| ファームウェア更新 (2-4) | 113 |
| メンテナンスの終了 (2-5) | 113 |
| システム状態確認 | 114 |
| システム状態確認を始める | 114 |
| 動作履歴 (3-1) | 115 |
| 故障履歴 (3-2) | 115 |
| ユニットバージョン確認 (3-3) | 116 |
| 制御入力状態 (3-4) | 117 |
| EM ユニット設定確認 (3-5) | 117 |
| システム状態確認の終了 (3-6) | 118 |
| 総合点検 | 118 |
| LCD コントラスト設定 | 121 |
| 業務放送状態表示設定 | 122 |
| 放送状態マトリクス表示設定 (6-1) | 122 |
| 増設操作パネル作動状態表示 (6-2) | 123 |
| 業務放送状態表示設定の終了 (6-3) | 124 |

| | |
|---|-----|
| モニター選択 | 124 |
| 動作選択メニューの終了 | 125 |
| 記名カードの取り付け | 126 |
| 記名カードの作成 | 126 |
| 記名カードの取り付け | 129 |
| FS-2510EP、FS-2520EP の場合 | 129 |
| FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の場合 | 129 |
| 業務用リモコンの表示ラベルの取り付け | 131 |
| RM-200F/210F の場合 | 131 |
| RM-220FW の場合 | 133 |

説明書の構成

FS-A2500 システムには以下の説明書があります。
目的に応じてお読みください。

| 説明書の名称 | 説明書の概要 | 備考 |
|---------------------|--|---------------|
| はじめにお読みください | 安全上のご注意、システムの概要、設置についての特記事項など | 紙で付属 |
| 非常時の操作手順書 | シート型の簡易手順書 | |
| 操作説明書 | 非常時および日常点検などの操作全般 | Web のみ* |
| 設置説明書 (FS-2500 と共通) | 設置、接続全般 | |
| システム設定説明書 | FS-A2500EP の設定操作部を使用して液晶画面で行うシステム設定、メンテナンスなどのメニュー操作 | 本書 Web のみ* |
| 設定支援ソフトウェア取扱説明書 | パソコンを使用した、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager によるシステム設定、音源設定など | Web のみ |
| 運用支援ソフトウェア取扱説明書 | パソコンを使用した、運用支援ソフトウェア FS-A2500 Viewer Software による放送状態監視、機器状態監視など | Web のみ |

* 紙で必要な場合は営業所へお問い合わせください。

これらの説明書は、TOA 商品データダウンロードサイト (<https://www.toa-products.com/>) からダウンロードしてお使いいただけます。タブレット端末やスマートフォンなどでブラウザを起動して URL を入力するか、右の QR コードを読み取ってください。表示された画面で品番「FS-A2500EP」を入力し、検索してください。



同サイトからは、パソコンを使用して設定できる設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager もダウンロードできます。パソコンが使用できる環境にあるときは、こちらをご利用いただくと便利です。

当社では、環境に配慮して、紙資源の削減に取り組んでおります。
ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

ご注意

本機の仕様および外観などは、改良のため予告なく変更することがあります。
説明書をダウンロードするときは、お手持ちの FS-A2500EP に付属の「はじめにお読みください」と同じバージョンの説明書をお選びください。説明書のバージョンは表紙右上に記載しています。
「はじめにお読みください」のバージョンが分からない場合は、FS-A2500EP のファームウェアバージョンを確認し、機器に合った説明書をお使いください。
機器のバージョンは FS-A2500EP の液晶画面のメニュー「3-3 ユニットバージョン確認」により確認できます。確認のしかたはシステム設定説明書をお読みください。
説明書の Ver. 2.1 は FS-A2500EP のファームウェアバージョン 2.1x に対応しています。
また、設置説明書は FS-2500 設置説明書の最新版をお使いください。

メモ

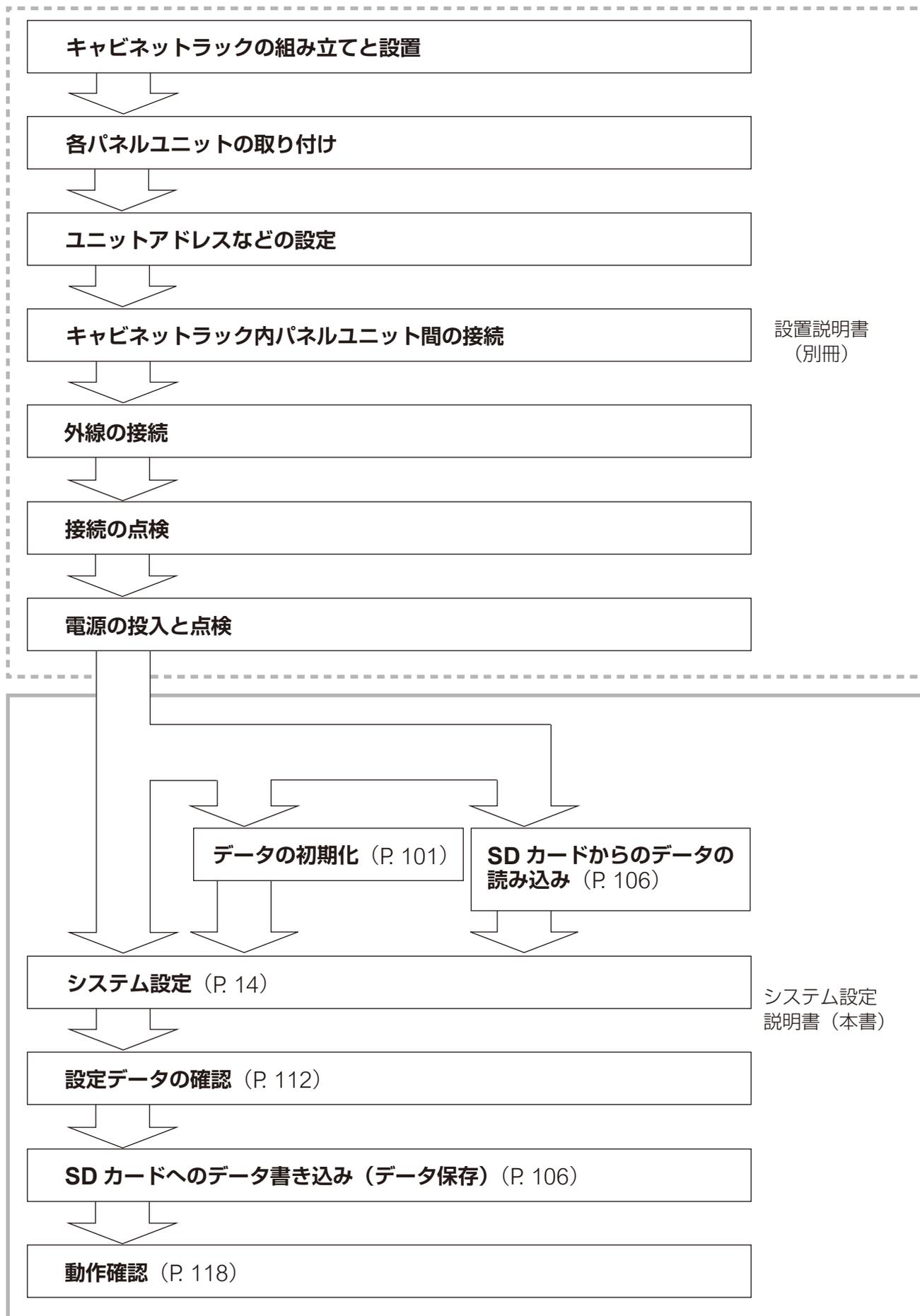
システム設定には次の 2 つの方法があります。

| システム設定の方法 | 使用する説明書 | 備考 |
|---|-----------------|---|
| FS-A2500EP の設定操作部を使用して液晶画面で行う。 | システム設定説明書 (本書) | |
| パソコンを使用して設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager で行う。 | 設定支援ソフトウェア取扱説明書 | 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager のダウンロードが必要。 |

設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager で設定したときは、データを FS-A2500EP に付属の SD カードに保存した後、FS-A2500EP の設定操作部を使って SD カードから FS-A2500EP へデータ書き込みを行うか、または直接 FS-A2500EP に設定アップロードを行ってください。

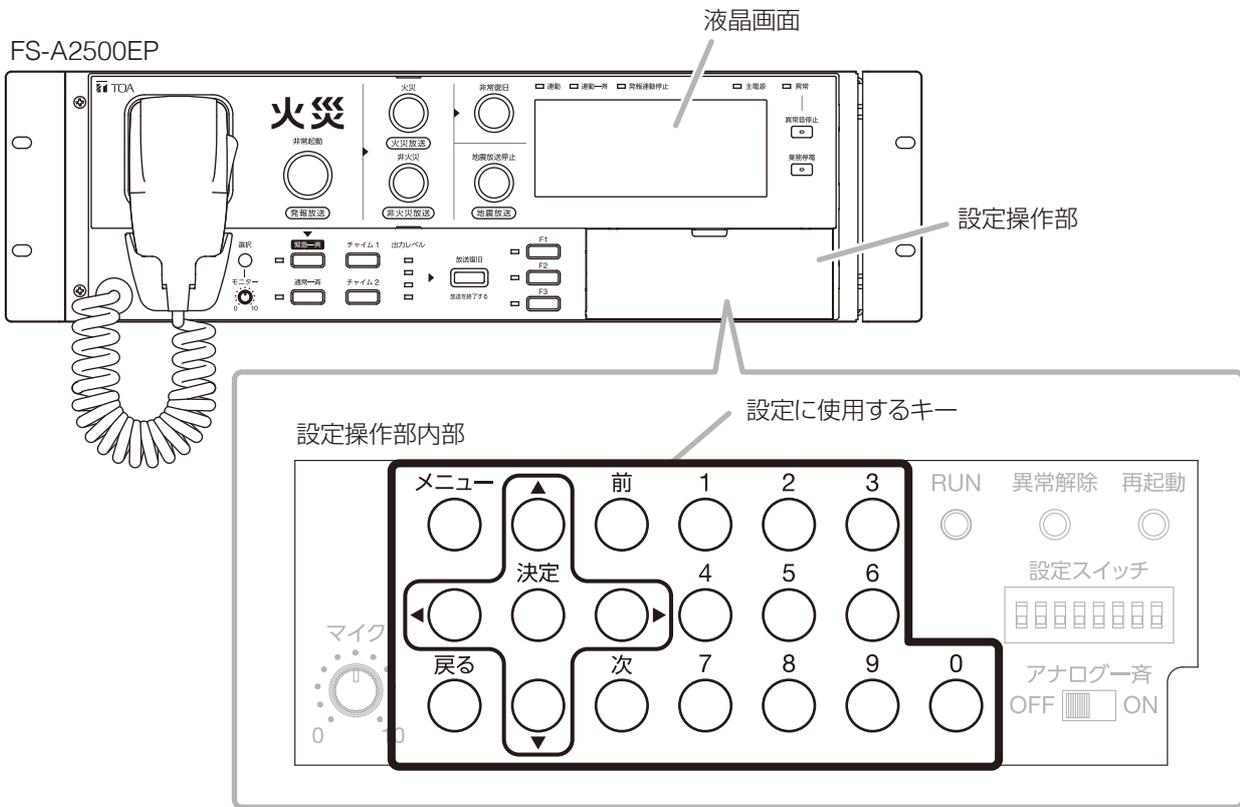
また、音源の設定および編集、段階鳴動および多元非常放送の設定などは、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用して行ってください。

設置工事とシステム設定の手順



システム設定の前に

■ システム設定で使用するキー



| キー | 名称 | はたらき |
|----------------|--------|---|
| メニュー ○ | メニューキー | 動作選択メニュー画面を表示させます。 設定画面で押すと、設定内容を保存して、動作選択メニュー画面に戻ります。 |
| ▲ ○ | 上シフトキー | カーソルを1つ上に動かします。 押し続けるとカーソルを連続で移動させます。 |
| ▼ ○ | 下シフトキー | カーソルを1つ下に動かします。 押し続けるとカーソルを連続で移動させます。 |
| ◀ ○ | 左シフトキー | カーソルを1つ左に動かします。または、設定内容を変更します。 押し続けるとカーソルを連続で移動させたり、設定内容を連続で変更します。 |
| ▶ ○ | 右シフトキー | カーソルを1つ右に動かします。または、設定内容を変更します。 押し続けるとカーソルを連続で移動させたり、設定内容を連続で変更します。 |
| 決定 ○ | 決定キー | カーソルの位置を決定して設定内容編集状態にする、または編集内容を確定して次の設定項目へ移動します。 |
| 戻る ○ | 戻るキー | 設定値を保持して、1つ前の設定画面または状態に戻ります。 |
| 前 ○ | 前キー | 前画面に移動します。 数値入力画面では、最後に入力した1文字を削除します。 |
| 次 ○ | 次キー | 次画面に移動します。 |
| 0 ~ 9 ○ ~ ○ | 数字キー | 暗証番号や設定値などの数値を入力します。 |

■ 基本的な操作のしかた

● メニュー項目の選択

メニュー項目を表します。先頭の数字はメニュー階層を表します。
 カーソル位置を表します。

表示されているもの以外にも項目があることを表します。

カーソル位置の項目に対して、使用可能なキーとそのキーの操作による動作を表示します。

前 ↑ 次 ↓ 7回押す。

決定 ○

次の階層へ

● 設定内容の編集

カーソル位置を表します。

表示されているもの以外にも項目がある場合は、この部分に▲▼で表します。

カーソル位置の項目に対して、使用可能なキーとそのキーの操作による動作を表示します。

* 数字キーで入力できるときは・・・

左右シフトキーで設定内容を選択できることを表します。

戻る ○ ↑ ↓ 決定 ○

または ○ を繰り返す (数値の場合は数字キーで入力可*)

決定 ○

設定内容を確定

戻る ○

決定 ○

設定内容を確定

1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定

| | | |
|------|--------|------------|
| スイッチ | 回線グループ | [0-9] 数値入力 |
| 緊急一斉 | ◀500▶ | [決定] セット |
| 通常一斉 | 500 | [戻る] キャンセル |

戻る ○ ↑ ↓ 0 ~ 9 ○

1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定

テンキーで数値を入力

1 [前] 1文字削除

[決定] 確定 [戻る] キャンセル

前 ○ ↑ ↓ 0 ~ 9 ○

1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定

テンキーで数値を入力

12 [前] 1文字削除

[決定] 確定 [戻る] キャンセル

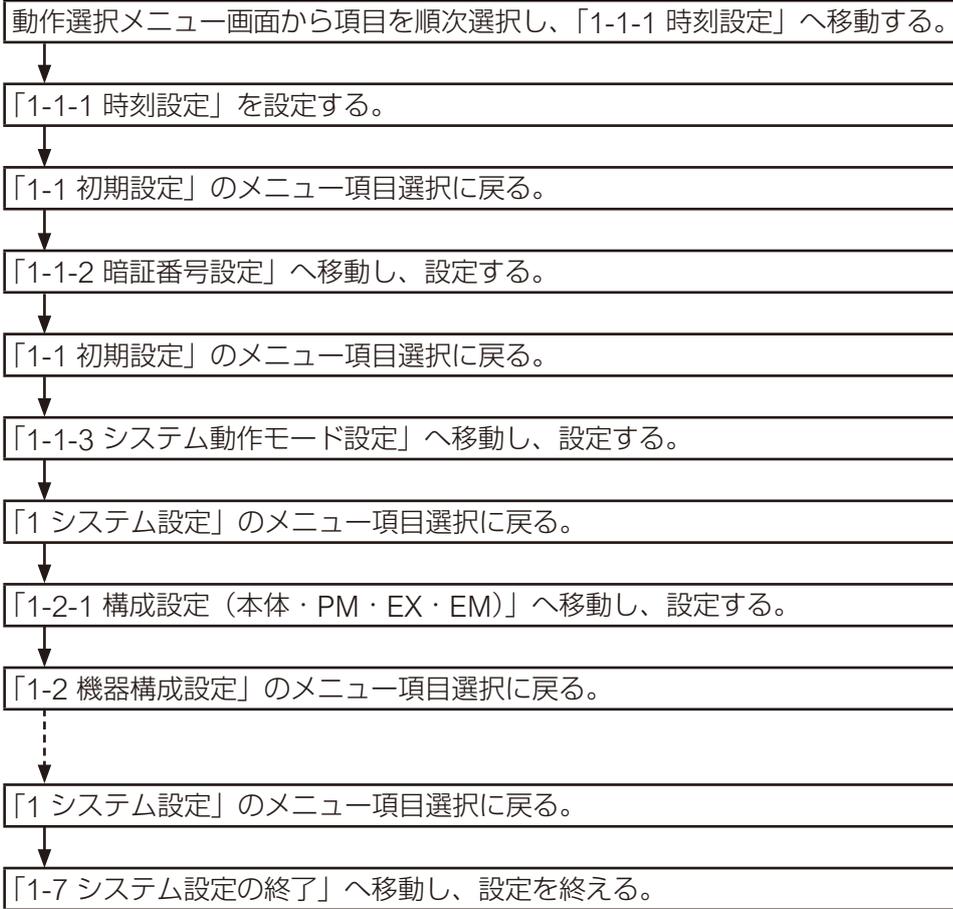
戻る ○

決定 ○

設定内容を確定

● 設定の順番

- 最初に設定するときは、メニュー項目の番号順に設定してください。



- ただし、回線グループまたは EL グループを使用するときは、「1-3-3 SW・EL 設定」および「1-3-4 出火階・連動階設定」をする前に、「1-3-8 回線グループ設定」または「1-3-9 EL 制御設定」をしておいてください。

メニュー構成

| |
|----------------------------------|
| 1 システム設定 (P. 14) |
| 1-1 初期設定 (P. 15) |
| 1-1-1 時刻設定 (P. 15) |
| 1-1-2 暗証番号設定 (P. 16) |
| 1-1-3 システム動作モード設定 (P. 16) |
| 1-2 機器構成設定 (P. 17) |
| 1-2-1 構成設定 (本体・PM・EX・EM) (P. 17) |
| 1-2-2 非常 RM 設定 (P. 18) |
| 1-2-3 業務 RM 設定 (P. 19) |
| 1-2-3-1 業務 RM 構成設定 (P. 19) |
| 1-2-3-2 業務 RM 機能設定 (P. 20) |
| 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定 (P. 22) |
| 1-2-5 アンプ設定 (P. 23) |
| 1-2-5-1 アンプモジュール設定 (P. 25) |
| 1-2-6 ジャンクションパネル設定 (P. 27) |
| 1-2-7 出力系統設定 (P. 28) |
| 1-3 非常放送設定 (P. 30) |
| 1-3-1 放送階選択方法設定 (P. 30) |
| 1-3-2 EL 設定 (P. 31) |
| 1-3-3 SW・EL 設定 (P. 33) |
| 1-3-3-1 本体 (P. 34) |
| 1-3-3-2 非常 RM (P. 36) |
| 1-3-4 出火階・連動階設定 (P. 38) |
| 1-3-5 音声警報設定 (P. 39) |
| 1-3-6 非常タイマー設定 (P. 41) |
| 1-3-7 回線初期値設定・点検 (P. 42) |
| 1-3-7-1 回線初期値取得 (P. 42) |
| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 (P. 44) |
| 1-3-7-3 回線初期値点検 (P. 47) |
| 1-3-7-4 パイロットトーン設定 (P. 50) |
| 1-3-8 回線グループ設定 (P. 50) |
| 1-3-9 EL 制御設定 (P. 52) |
| 1-3-9-1 EL モード設定 (P. 52) |
| 1-3-9-2 EL グループ割り当て設定 (P. 53) |
| 1-3-9-3 EL 設定確認 (P. 53) |
| 1-4 機器制御・通信設定 (P. 54) |
| 1-4-1 音声入力設定 (P. 54) |
| 1-4-1-1 外部放送音声入力設定 (P. 54) |
| 1-4-1-2 音声入力接続設定 (P. 55) |
| 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続 (P. 55) |
| 1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続 (P. 57) |
| 1-4-1-3 ミックスバス設定 (P. 58) |
| 1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定 (P. 58) |
| 1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定 (P. 59) |
| 1-4-1-4 ミュート設定 (P. 59) |

| |
|--|
| 1-4-2 SW 設定 (P. 60) |
| 1-4-2-1 スイッチ動作設定 (P. 61) |
| 1-4-2-2 本体 (P. 62) |
| 1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定 (P. 63) |
| 1-4-2-2-2 チャイム SW 設定 (P. 64) |
| 1-4-2-3 非常 RM (P. 65) |
| 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定 (P. 65) |
| 1-4-2-3-2 チャイム SW 設定 (P. 67) |
| 1-4-2-4 業務 RM (P. 68) |
| 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定 (P. 68) |
| 1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定 (P. 70) |
| 1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定 (P. 71) |
| 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定 (P. 72) |
| 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定 (P. 74) |
| 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定 (P. 76) |
| 1-4-3 EV 放送設定 (P. 77) |
| 1-4-4 ファンクション SW 設定 (P. 79) |
| 1-4-5 制御入力設定 (P. 81) |
| 1-4-6 制御出力設定 (P. 85) |
| 1-4-7 FS LAN 通信設定 (P. 87) |
| 1-5 業務放送設定 (P. 88) |
| 1-5-1 業務放送動作設定 (P. 89) |
| 1-5-1-1 音声レベル感度設定 (P. 90) |
| 1-5-2 優先度設定 (P. 91) |
| 1-5-3 同一優先度動作設定 (P. 92) |
| 1-5-4 非常断 24V 出力設定 (P. 93) |
| 1-5-5 EV 音源音量設定 (P. 95) |
| 1-5-6 音量・音質設定 (P. 98) |
| 1-5-6-1 音声入力設定 (P. 98) |
| 1-5-6-1-1 簡易設定 (P. 98) |
| 1-5-6-1-2 設定詳細表示 (P. 99) |
| 1-5-6-2 音声出力設定 (P. 99) |
| 1-5-6-2-1 音声出力設定詳細表示 (P. 101) |
| 1-5-7 作動表示灯設定 (P. 101) |
| 1-6 設定初期化 (P. 101) |
| 1-7 システム設定の終了 (P. 102) |
| 2 メンテナンス (P. 103) |
| 2-1 自己診断 (P. 104) |
| 2-2 定期点検設定 (P. 106) |
| 2-3 SD カード (P. 106) |
| 2-3-1 設定データ更新 (SD → EP) (P. 107) |
| 2-3-2 設定・音源データ更新 (SD → EP) (P. 108) |
| 2-3-3 設定データ保存 (EP → SD) (P. 111) |
| 2-3-4 設定・音源データ保存 (EP → SD) (P. 110) |
| 2-3-5 履歴データ保存 (EP → SD) (P. 111) |
| 2-3-6 設定データ比較 (SD ⇄ EP) (P. 112) |
| 2-4 ファームウェア更新 (P. 113) |
| 2-5 メンテナンスの終了 (P. 113) |

| |
|----------------------------|
| 3 システム状態確認 (P. 114) |
| 3-1 動作履歴 (P. 115) |
| 3-2 故障履歴 (P. 115) |
| 3-3 ユニットバージョン確認 (P. 116) |
| 3-4 制御入力状態 (P. 117) |
| 3-5 EM ユニット設定確認 (P. 117) |
| 3-6 システム状態確認の終了 (P. 118) |
| 4 総合点検 (P. 118) |
| 5 LCD コントラスト設定 (P. 121) |
| 6 業務放送状態表示設定 (P. 122) |
| 6-1 放送状態マトリクス表示設定 (P. 122) |
| 6-2 増設操作パネル作動状態表示 (P. 123) |
| 6-3 業務放送状態表示設定の終了 (P. 124) |
| 7 モニター選択 (P. 124) |

システム設定

■ システム設定を始める

別冊の設置説明書に従って機器の設置と接続、およびアドレススイッチなどの設定を完了し、電源を投入した後、システム設定をします。

メニュー

↓

動作選択メニュー

| | |
|----------------|----------------------------|
| 1 システム設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 メンテナンス | |
| 3 システム状態確認 | |
| 4 総合点検 | |
| 5 LCD コントラスト設定 | |
| 6 業務放送状態表示設定 | |
| 7 モニター選択 | |

↓ または + 決定

暗証番号入力

暗証番号を入力してください

| | |
|---|-----------------------------|
| <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> | [0-9] 直接入力 [戻る] 戻る |
|---|-----------------------------|

↓ ~ で4桁入力

1 システム設定

| | |
|-------------|----------------------------|
| 1 初期設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 機器構成設定 | |
| 3 非常放送設定 | |
| 4 機器制御・通信設定 | |
| 5 業務放送設定 | |
| 6 設定初期化 | |
| 7 システム設定の終了 | |

↓ または + 決定

各設定項目の参照先へ

1 メニューキーを押す。

2 「1 システム設定」を選択し、決定する。

3 4桁の暗証番号を入力する。

初期設定：5555

4 メニュー項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|-------------|--------------|
| 1 初期設定 | P. 15 (1-1) |
| 2 機器構成設定 | P. 17 (1-2) |
| 3 非常放送設定 | P. 30 (1-3) |
| 4 機器制御・通信設定 | P. 54 (1-4) |
| 5 業務放送設定 | P. 88 (1-5) |
| 6 設定初期化 | P. 101 (1-6) |
| 7 システム設定の終了 | P. 102 (1-7) |

この画面で戻るボタンを押すと、設定内容を保存せずに終了することができます。

■ 初期設定 (1-1)

| 1-1 初期設定 | |
|-------------------------------------|----------------------------|
| 1 時刻設定 2 暗証番号変更 3 システム動作モード設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



各設定項目の参照先へ

「1 システム設定」(P. 14) で「1 初期設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|---------------|---------------|
| 1 時刻設定 | 下記 (1-1-1) |
| 2 暗証番号変更 | P. 16 (1-1-2) |
| 3 システム動作モード設定 | P. 16 (1-1-3) |

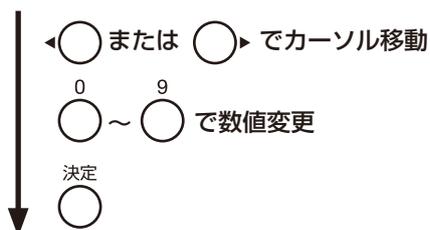
■ 時刻設定 (1-1-1)

機器に内蔵されている時計の時刻を合わせます。定期点検を実施したり、動作履歴・故障履歴の発生時刻を記録したりするために必要です。

| 1-1-1 時刻設定 | |
|---------------------|--------------------------|
| 2021/10/10 23:59 | [決定] 変更 [戻る] 戻る |



| 1-1-1 時刻設定 | |
|---------------------------------------|------------------------------|
| 現在の時刻を入力してください 2021/10/10 23:59 | [決定] セット [戻る] キャンセル |



時刻設定完了

「1-1 初期設定」(上記) で「1 時刻設定」決定時

1 決定キーを押す。

時刻を入力できるようになります。

2 左右シフトキーでカーソルを移動させ、数字キーを押して時刻を入力する。



- 設定する日時の年は、西暦の下 2 桁を入力してください。
- 時刻は 1 分単位で設定可能です。
- 数値の変更は上下シフトキーの操作でも可能です。

3 決定キーを押す。

入力した時刻が設定されます。

■ 暗証番号変更 (1-1-2)

システム設定およびメンテナンス時に必要な4桁の暗証番号を変更できます。(初期設定：5555)

| 1-1-2 暗証番号変更 | |
|------------------|-----------------------------|
| 新しい暗証番号を入力してください | [0-9] 数値入力 [戻る] 戻る |
| □ □ □ □ | |

↓ $\overset{0}{\bigcirc} \sim \overset{9}{\bigcirc}$ で4桁の数値を入力

| 1-1-2 暗証番号変更 | |
|------------------|--------------------------|
| 新しい暗証番号を入力してください | [決定] 変更 [戻る] 戻る |
| 1 2 3 4 | |

↓ 決定 \bigcirc

暗証番号変更完了

「1-1 初期設定」(P. 15) で「2 暗証番号変更」決定時

1 4桁の新しい暗証番号を入力する。

2 決定キーを押す。

入力した番号が新しい暗証番号に設定されます。

■ システム動作モード設定 (1-1-3)

システム動作モードの設定です。(初期設定：通常)

パワーアンプの接続方法を選択します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------|----------------|------------------|------|
| 動作モード | パワーアンプ接続方法を選択。 | 通常、アンプ拡張A、アンプ拡張B | 通常 |

各設定のパワーアンプ接続方法については、別冊の設置説明書「付録：アンプ拡張モード」および別冊のはじめにお読みください「アンプ拡張モード使用時」をお読みください。

| 1-1-3 システム動作モード設定 | |
|-------------------|--------------------------|
| 動作モード 通常 | [決定] 編集 [戻る] 戻る |

↓ 決定 \bigcirc

| 1-1-3 システム動作モード設定 | |
|-------------------|------------------------------|
| 動作モード ◀通常▶ | [決定] セット [戻る] キャンセル |

↓ ◀ \bigcirc または \bigcirc ▶ で設定変更

↓ 決定 \bigcirc で内容確定

システム動作モード設定完了

「1-1 初期設定」(P. 15) で「3 システム動作モード設定」決定時

1 決定キーを押す。

編集できるようになります。

2 左右シフトキーで設定を変更する。

3 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

■ 機器構成設定 (1-2)

設置したシステムの機器構成を登録します。

| 1-2 機器構成設定 | |
|----------------------|-------|
| 1 構成設定 (本体・PM・EX・EM) | [前/次] |
| 2 非常 RM 設定 | 改画面 |
| 3 業務 RM 設定 | [決定] |
| 4 本体・EX 電源パネル設定 | 項目決定 |
| 5 アンプ設定 | [戻る] |
| 6 ジャンクションパネル設定 | 戻る |
| 7 出力系統設定 | |

「1 システム設定」(P. 14) で「2 機器構成設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|----------------------|---------------|
| 1 構成設定 (本体・PM・EX・EM) | P. 17 (1-2-1) |
| 2 非常 RM 設定 | P. 18 (1-2-2) |
| 3 業務 RM 設定 | P. 19 (1-2-3) |
| 4 本体・EX 電源パネル設定 | P. 22 (1-2-4) |
| 5 アンプ設定 | P. 23 (1-2-5) |
| 6 ジャンクションパネル設定 | P. 27 (1-2-6) |
| 7 出力系統設定 | P. 28 (1-2-7) |



各設定項目の参照先へ

■ 構成設定 (本体・PM・EX・EM) (1-2-1)

FS-A2500 本体 (非常用操作パネル FS-A2500EP) に接続する構成機器の台数など、以下の項目を登録します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|----------------------------------|-------------|------|
| 増設操作パネル | 増設操作パネルの合計局数を登録。 | 10 ~ 500 局 | 20 局 |
| 業務停電 | 業務停電放送を行う (有効) か、行わない (無効) かを設定。 | 有効*、無効 | 無効 |
| PM | プリアンプマトリクスパネルの台数を登録。 | なし、1 ~ 3 台 | なし |
| EX | 非常系統拡張パネルの台数を登録。 | なし、1 ~ 13 台 | なし |
| EM | 非常断 24V 出力拡張パネルの台数を登録。 | なし、1 ~ 10 台 | なし |

* 業務停電放送をするときは、非常用電源パネル FS-2500DS (業務用として設定) の設置が必要です。(別冊の設置説明書「業務停電放送を行うときの接続と設定」)

| 1-2-1 構成設定 (本体・PM・EX・EM) | |
|--------------------------|------|
| 増設操作パネル | 20 局 |
| 業務停電 | 無効 |
| PM | 1 台 |
| EX | 5 台 |
| EM | なし |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

「1-2 機器構成設定」(上記) で「1 構成設定 (本体・PM・EX・EM 設定)」決定時

1 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

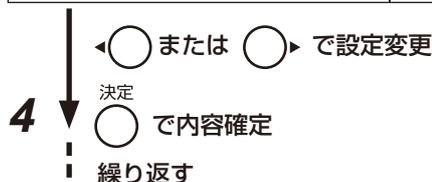
4 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。



| 1-2-1 構成設定 (本体・PM・EX・EM) | |
|--------------------------|----------|
| 増設操作パネル | ◀ 20 局 ▶ |
| 業務停電 | 無効 |
| PM | 1 台 |
| EX | 5 台 |
| EM | なし |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル



構成設定 (本体・PM・EX・EM) 完了

■ 非常 RM 設定 (1-2-2)

非常用リモコンを使用する場合のみ、以下の項目を設定します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|-------------------|---|-----------|
| 機種 | 非常用リモコンの機種を登録。 | FS-2500RM、FS-2500RX、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、- | FS-2500RM |
| 増設*1 | 増設操作パネルの局数を登録。 | なし、10～500局*2 | 20局 |
| 電源*1 | 電源パネルの「あり/なし」を登録。 | あり、なし | なし |

*1 FS-2500RM、FS-2500RX 使用時のみ。

*2 業務停電放送「有効」時、最大局数は480局になります。

| 1-2-2 非常 RM 設定 | | | | |
|----------------|-----------|----|------|------|
| No. | 機種 | ID | 増設 | 電源 |
| 1 | FS-2500RM | 00 | 10局 | なし |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

1 ↓ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ で項目選択

| 1-2-2 非常 RM 設定 | | | | |
|----------------|-----------|----|------|------|
| No. | 機種 | ID | 増設 | 電源 |
| 1 | FS-2500RM | 00 | 10局 | なし |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

↓ 決定 ○ で編集可能に

| 1-2-2 非常 RM 設定 | | | | |
|----------------|-----------|----|------|------|
| No. | 機種 | ID | 増設 | 電源 |
| 1 | FS-2500RM | 00 | 10局 | なし |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

↓ ○ または ○ で設定変更

| 1-2-2 非常 RM 設定 | | | | |
|----------------|-----------|----|------|------|
| No. | 機種 | ID | 増設 | 電源 |
| 1 | FS-2500RM | 00 | 10局 | なし |
| 2 | FS-1030RM | 01 | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |
| -- | ----- | -- | ---- | ---- |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

4 ↓ 決定 ○ で内容確定

⋮ 繰り返す

非常 RM 設定完了

[1-2 機器構成設定] (P. 17) で [2 非常 RM 設定] 決定時

1 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

× 毛

[ID] は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

2 決定キーを押す。

× 毛

バー表示部分は機種列の1つ目のみ選択可能です。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで変更する。

4 決定キーを押す。

5 手順1～4を繰り返し、必要な項目をすべて設定する。

■ 業務 RM 設定 (1-2-3)

業務用リモコン RM-500、RM-200F、または RM-200FW を使用する場合のみ、設定します。
接点式リモコン RM-1100 は含みません。接点式リモコン RM-1100 の設定については、「1-4-5 制御入力設定」(P. 81) をお読みください。

| 1-2-3 業務 RM 設定 | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 業務 RM 構成設定 2 業務 RM 機能設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-2 機器構成設定」(P. 17) で「3. 業務 RM 設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|--------------|-----------------|
| 1 業務 RM 構成設定 | 下記 (1-2-3-1) |
| 2 業務 RM 機能設定 | P. 20 (1-2-3-2) |



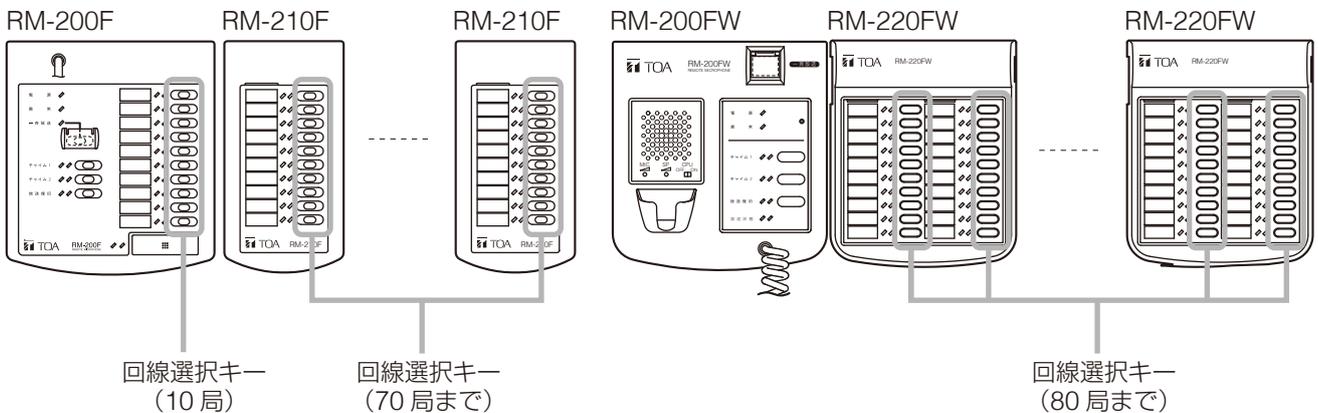
各設定項目の参照先へ

■ 業務 RM 構成設定 (1-2-3-1)

業務用リモコンの機種およびスイッチ数を設定します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------|-------------------|---|------------|
| 機種 | 業務用リモコンの機種を登録。 | RM-500、RM-200F、RM-200FW | RM-500 |
| スイッチ数 | 回線選択キーの数(局数)を登録。* | [機種]が「RM-500」または「RM-200F」の場合：10～80局 [機種]が「RM-200FW」の場合：なし、20～80局 ご注意 RM-200FW と組み合わせて使用する RM-220FW は、1 台につき 20 局備えていますので、20 局単位で設定してください。 | 10 局 なし |

* 業務用リモコンと拡張ユニットの組み合わせ



× モ

RM-500 に接続できる拡張ユニットはありません。スイッチ数の設定に応じて、80 局まで対応できます。

| 1-2-3-1 業務 RM 構成設定 | | | |
|--------------------|--------|----|-------|
| No. | 機種 | ID | スイッチ数 |
| 1 | RM-500 | 00 | 10 局 |
| 2 | RM-500 | 01 | 10 局 |
| 3 | RM-500 | 02 | 10 局 |
| 4 | RM-500 | 03 | 10 局 |

[前/次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] 戻る

「1-2-3 業務 RM 設定」(上記) で「1 業務 RM 構成設定」決定時

1 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

× モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。



次ページへ

前ページから



| 1-2-3-1 業務 RM 構成設定 | | | |
|--------------------|--------|----|-------|
| No. | 機種 | ID | スイッチ数 |
| 1 | RM-500 | 00 | 10局 |
| 2 | RM-500 | 01 | 10局 |
| 3 | RM-500 | 02 | 10局 |
| 4 | RM-500 | 03 | 10局 |

[前/次] 改画面
[決定]
[戻る] 戻る



決定
○ で編集可能に

| 1-2-3-1 業務 RM 構成設定 | | | |
|--------------------|------------|----|-------|
| No. | 機種 | ID | スイッチ数 |
| 1 | RM-500 | 00 | 10局 |
| 2 | ◀ RM-500 ▶ | 01 | 10局 |
| 3 | RM-500 | 02 | 10局 |
| 4 | RM-500 | 03 | 10局 |

[決定] セット
[戻る] キャンセル



◀ ○ または ○ ▶ で設定変更

| 1-2-3-1 業務 RM 構成設定 | | | |
|--------------------|-------------|----|-------|
| No. | 機種 | ID | スイッチ数 |
| 1 | RM-500 | 00 | 10局 |
| 2 | ◀ RM-200F ▶ | 01 | 10局 |
| 3 | RM-500 | 02 | 10局 |
| 4 | RM-500 | 03 | 10局 |

[決定] セット
[戻る] キャンセル



4 ↓ 決定
○ で内容確定



繰り返す

業務 RM 構成設定完了

■ 業務 RM 機能設定 (1-2-3-2)

業務用リモコン RM-500 を使用するときのみ、RM-500 固有の設定をします。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------------|--|----------------------------|-------|
| バックライト消灯時間 | RM-500 の操作をしていないときに、液晶画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定します。 バックライトを点灯させると、暗い所でも見やすくなりますが、点灯時間が長くなるほど、バックライトの寿命が短くなります。 | 常時 OFF、1分～15分 (1分間隔)、常時 ON | 3分 |
| 操作音 | RM-500 の各キーを押したときに操作確認音を鳴らすかどうかを設定します。 | ON、OFF | ON |
| マイク表示灯 | マイク使用中にマイク表示灯を点灯させるかどうかを設定します。 | ON、OFF | ON |
| キーロック | キーロック機能*を使用するかどうかを設定します。 | 使用する、使用しない | 使用しない |

* RM-500 操作面の各キーについて、キーロック解除以外の操作を無効にする機能。

| 1-2-3-2 業務 RM 機能設定 | |
|--------------------|-------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ |
| バックライト消灯時間 | 3分 |
| 操作音 | ON |
| マイク表示灯 | ON |
| キーロック | 使用しない |

[決定] 機能選択
[戻る] 戻る



1 ↓ ◀ ○ または ○ ▶ で番号選択



決定
○ で設定選択へ移動

次ページへ

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで変更する。

4 決定キーを押す。

5 手順 1～4 を繰り返し、必要な項目をすべて設定する。

「1-2-3 業務 RM 設定」(P. 19) で「2 業務 RM 機能設定」決定時

1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

ご注意

「機種」が「RM-500」に設定されている業務用リモコンしか選択できません。

2 決定キーを押す。

前ページから



| 1-2-3-2 業務 RM 機能設定 | | |
|--------------------|-------|------------------------------|
| 業務 RM | 1 | |
| バックライト消灯時間 | 3分 | [決定] 編集 [戻る] ユニット選択 |
| 操作音 | ON | |
| マイク表示灯 | ON | |
| キーロック | 使用しない | |

3 ↓ または で項目選択
決定 で編集可能に

| 1-2-3-2 業務 RM 機能設定 | | |
|--------------------|---------|------------------------------|
| 業務 RM | 1 | |
| バックライト消灯時間 | 3分 | [決定] セット [戻る] キャンセル |
| 操作音 | ON | |
| マイク表示灯 | ON | |
| キーロック | ←使用しない→ | |

6 ↓ または で設定変更
決定
3～6を繰り返す

| 1-2-3-2 業務 RM 機能設定 | | |
|--------------------|------|------------------------------|
| 業務 RM | 1 | |
| バックライト消灯時間 | 3分 | [決定] 編集 [戻る] ユニット選択 |
| 操作音 | ON | |
| マイク表示灯 | ON | |
| キーロック | 使用する | |

8 ↓ で業務 RM 番号選択に戻る

| 1-2-3-2 業務 RM 機能設定 | | |
|--------------------|-------|----------------------------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ | |
| バックライト消灯時間 | 3分 | [決定] 機能選択 [戻る] 戻る |
| 操作音 | ON | |
| マイク表示灯 | ON | |
| キーロック | 使用する | |

↓ 1～8を繰り返す

業務 RM 機能設定完了

カーソルが設定選択に移動します。

- 3** 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 4** 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

- 5** 左右シフトキーで設定内容を選択する。
- 6** 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

- 7** 手順3～6を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

- 8** 戻るキーを押す。

業務 RM 番号選択に戻ります。

- 9** 手順1～8を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。

■ 本体・EX 電源パネル設定 (1-2-4)

FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）および非常系統拡張パネルに接続する電源パネルを設定します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| ユニット | 電源パネルを接続するユニットを選択。 | EP *1、EX1 ~ 13 *2 | — |
| 機種 | 選択したユニットに接続する電源パネルの機種*3、*4を設定。 | (「業務停電放送」の設定により異なる)*5 | (「業務停電放送」の設定により異なる)*5 |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は1台目の非常系統拡張パネルを表します。

*4 FS-2500DS には以下の4種類があります。使用目的に合わせて設定してください。

| | |
|-----------------------|---|
| FS-2500DS [非常] | 制御部電源とパワーアンプ用で非常用の電源として設置している FS-2500DS。 |
| FS-2500DS [業務] | 業務停電放送を行うときに、制御部電源とパワーアンプ用で業務用の電源として設置している FS-2500DS。 |
| FS-2500DS [非常(アンプ専用)] | パワーアンプ用で非常用の電源として設置している FS-2500DS。 |
| FS-2500DS [業務(アンプ専用)] | 業務停電放送を行うときに、パワーアンプ用で業務用の電源として設置している FS-2500DS。 |

非常用と業務用では、FS-2500DS の電源用途設定スイッチの設定が異なります。(別冊の設置説明書「業務停電放送をするときの設定」)

*5 「業務停電放送」の設定により、設定範囲および初期設定は以下のようになります。

| 業務停電放送 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|---|----------------|
| 無効 | FS-2500DS [非常]、FS-2500DS [非常(アンプ専用)]、— | FS-2500DS [非常] |
| 有効 | FS-2500DS [非常]、FS-2500DS [業務]、FS-2500DS [非常(アンプ専用)]、FS-2500DS [業務(アンプ専用)]、— | FS-2500DS [非常] |

| 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定 | | | |
|---------------------|---------------|------|-----------------------------|
| ユニット | ◀ EP ▶ | 業務停電 | 有効 |
| No. | 機種 | ID | [決定] DS 選択 [戻る] 戻る |
| 1 | FS-2500DS[非常] | 00 | |
| 2 | FS-2500DS[非常] | 01 | |
| -- | ---- | -- | |
| -- | ---- | -- | |

1 ↓ ◯ または ◯ ▶ でユニット選択
決定
◯ で「機種」へ移動

| 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定 | | | |
|---------------------|---------------|------|------------------------------|
| ユニット | EX1 | 業務停電 | 有効 |
| No. | 機種 | ID | [決定] 編集 [戻る] ユニット選択 |
| 1 | FS-2500DS[非常] | 00 | |
| 2 | FS-2500DS[非常] | 01 | |
| -- | ---- | -- | |
| -- | ---- | -- | |

3 ↓ ◯ または ◯ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定 | | | |
|---------------------|---------------|------|------------------------------|
| ユニット | EX1 | 業務停電 | 有効 |
| No. | 機種 | ID | [決定] セット [戻る] キャンセル |
| 1 | FS-2500DS[非常] | 00 | |
| 2 | FS-2500DS[非常] | 01 | |
| -- | ◀ ---- ▶ | -- | |
| -- | ---- | -- | |

↓
次ページへ

「1-2 機器構成設定」(P. 17) で「4 本体・EX 電源パネル設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「機種」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

ID ごとに電源パネルの機種を設定します。

✕ モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

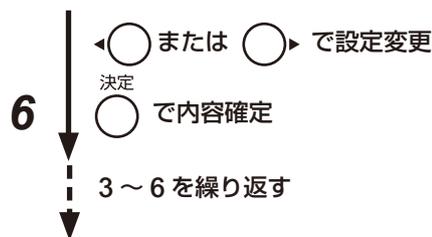
4 決定キーを押す。

✕ モ

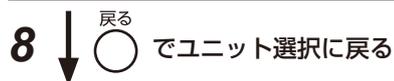
バー表示部分は機種列の1つ目のみ選択可能です。

「機種」が編集可能になります。

前ページから



| 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定 | | | |
|---------------------|----------------------|------|----|
| ユニット | EX1 | 業務停電 | 有効 |
| No. | 機種 | | ID |
| 1 | FS-2500DS[非常] | | 00 |
| 2 | FS-2500DS[業務] | | 01 |
| 3 | FS-2500DS[非常(アンプ専用)] | | 02 |
| 4 | FS-2500DS[業務(アンプ専用)] | | 03 |



| 1-2-4 本体・EX 電源パネル設定 | | | |
|---------------------|----------------------|------|----|
| ユニット | EX1 | 業務停電 | 有効 |
| No. | 機種 | | ID |
| 1 | FS-2500DS[非常] | | 00 |
| 2 | FS-2500DS[業務] | | 01 |
| 3 | FS-2500DS[非常(アンプ専用)] | | 02 |
| 4 | FS-2500DS[業務(アンプ専用)] | | 03 |

1～8を繰り返す

本体・EX 電源パネル設定完了

5 左右シフトキーで「機種」を選択する。

ご注意

業務停電無効時の No. 1 および業務停電有効時の No. 1 と No. 2 は「----」を選択することはできません。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

業務停電有効時は 2 台単位での追加、削除になります。1 台を追加または削除すると、自動的にもう 1 台追加または削除されます。

7 手順 3～6 を繰り返し、選択したユニットに接続するすべての電源パネルの機種を設定する。

8 戻るキーを押す。

カーソルが「ユニット」に移動します。

9 手順 1～8 を繰り返し、すべてのユニットに接続する電源パネルの機種を設定する。

■ アンプ設定 (1-2-5)

FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）および非常系統拡張パネルに接続するパワーアンプパネルの構成を登録します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|-----------------------------------|---------------|-----------|
| ユニット | パワーアンプフレームを接続するユニットを選択。 | EP*1、EX1～13*2 | — |
| 機種 | 選択したユニットに接続するパワーアンプフレームの機種と台数を設定。 | FS-2500DF、—*3 | FS-2500DF |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。

*3 一番下の出力系統のみ選択可。ただし、非常系統拡張パネルを使用するときは、非常用操作パネルのすべての出力系統に選択可能です。

| 1-2-5 アンプ設定 | | | |
|-------------|-----------|------|----|
| ユニット | EX1 | 業務停電 | 有効 |
| No. | 機種 | | ID |
| 1 | FS-2500DF | | 00 |
| 2 | FS-2500DF | | 01 |
| 3 | FS-2500DF | | 02 |
| 4 | FS-2500DF | | 03 |



次ページへ

「1-2 機器構成設定」(P. 17) で「5 アンプ設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

前ページから



| 1-2-5 アンプ設定 | | |
|-------------|-----------|----|
| ユニット | EX1 | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2500DF | 00 |
| 2 | FS-2500DF | 01 |
| 3 | FS-2500DF | 02 |
| 4 | FS-2500DF | 03 |

[前/次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] ユニット選択

3 または で項目選択
決定 で編集可能に

| 1-2-5 アンプ設定 | | |
|-------------|-----------|----|
| ユニット | EX1 | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2500DF | 00 |
| 2 | FS-2500DF | 01 |
| 3 | FS-2500DF | 02 |
| 4 | FS-2500DF | 03 |

[決定] DA 選択
[戻る] キャンセル

6 または で設定変更
決定 で内容確定
「FS-2500DF」を選択したときは「1-2-5-1 アンプモジュール設定」(次ページ)へ
3～6を繰り返す

| 1-2-5 アンプ設定 | | |
|-------------|-----------|----|
| ユニット | EX1 | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2500DF | 00 |
| 2 | FS-2500DF | 01 |
| 3 | FS-2500DF | 02 |
| 4 | ---- | -- |

[前/次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] ユニット選択

8 でユニット選択に戻る

| 1-2-5 アンプ設定 | | |
|-------------|-----------|----|
| ユニット | EX1 | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2500DF | 00 |
| 2 | FS-2500DF | 01 |
| 3 | FS-2500DF | 02 |
| 4 | ---- | -- |

[決定] DF 選択
[戻る] 戻る

1～8を繰り返す

アンプ設定完了

カーソルが「機種」に移動します。

- 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 決定キーを押す。

「機種」が編集可能になります。

- 左右シフトキーで「機種」を選択する。
- 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

ご注意

「FS-2500DF」を選択して決定キーを押したときは「1-2-5-1 アンプモジュール設定」(P. 25)が表示されるので、FS-2500DFのデジタルパワーアンプモジュールの構成および接続する出力システムを設定してください。

- 手順3～6を繰り返し、選択したユニットに接続するすべてのパワーアンプパネルの機種を設定する。

- 戻るキーを押す。

カーソルが「ユニット」に移動します。

- 手順1～8を繰り返し、すべてのユニットに接続するパワーアンプパネルの機種を設定する。

■ アンプモジュール設定 (1-2-5-1)

パワーアンプフレームに収納するデジタルパワーアンプモジュールの構成を登録します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|---|-------------------------------------|----------|
| 機種 | パワーアンプフレームのモジュールスロットに収納するデジタルパワーアンプモジュールの機種を選択。 | FS-006DA、FS-012DA、FS-024DA | FS-006DA |
| 出力系統 | デジタルパワーアンプモジュールを接続する非常用操作パネルおよび非常系統拡張パネルの出力系統を設定。*1 | 非常用操作パネル : 1 非常系統拡張パネル : 1 ~ 8*2 | 1 |

*1 並列運転をするデジタルパワーアンプモジュールは同じ出力系統を設定します。

*2 出力系統は自由に設定できますが、非常系統拡張パネル 1 台につき 1 から順に連番で割り付けられるようにしてください。

× モ

- 出力系統とは「DA LINK OUT」に接続されたパワーアンプの出力で、「DA LINK OUT」の番号で示されます。「1-1-3 システム動作モード設定」(P. 16) が「通常」の場合は 1 ~ 8 で表示され、「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「1-1」 ~ 「1-8」、「2-1」 ~ 「2-8」、…、「8-1」 ~ 「8-8」で表示されます。
- 機種の設定は、「1-1-3 システム動作モード設定」(P. 16) が「通常」の場合は出力系統 1 から順に設定し、「アンプ拡張 A」または「アンプ拡張 B」の場合は「1-1」、「2-1」、「3-1」、「4-1」、「5-1」、「6-1」、「7-1」、「8-1」から設定してください。
- 機種を削除するときは一番下から削除してください。
- アンプを増設または削除するときは、ジャンクションパネルや出力系統設定画面が自動的に調整されます。

| 1-2-5 アンプ設定 | | |
|-------------|-------------|----|
| ユニット | EX1 | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | ◀FS-2500DF▶ | 00 |
| 2 | FS-2500DF | 01 |
| 3 | FS-2500DF | 02 |
| 4 | FS-2500DF | 03 |

[決定]
DA 選択
[戻る]
キャンセル

「1-2-5 アンプ設定」(P. 23) の**手順 6** (前ページのご注意参照) で「機種：FS-2500DF」決定時

アンプ設定画面の機種選択 (左図の画面) で「FS-2500DF」に設定したときのみ、アンプモジュール設定画面に移動します。

決定
○ でアンプモジュール設定へ

| 1-2-5-1 アンプモジュール設定 | | |
|--------------------|----------|------|
| ユニット | EX1 | DF 1 |
| CH | 機種 | 出力系統 |
| 1 | FS-006DA | 1 |
| 2 | ---- | ---- |
| 3 | ---- | ---- |
| 4 | ---- | ---- |

[決定]
編集
[戻る]
DF 選択

1 上下左右シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

1 ○ ○ ○ ○ で項目選択
決定
○ で編集可能に

選択した部分が編集できるようになります。

| 1-2-5-1 アンプモジュール設定 | | |
|--------------------|------------|------|
| ユニット | EX1 | DF 1 |
| CH | 機種 | 出力系統 |
| 1 | ◀FS-006DA▶ | 1 |
| 2 | ---- | -- |
| 3 | ---- | -- |
| 4 | ---- | -- |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。
内容が確定します。

○ または ○ で設定変更

決定
○ で内容確定

次ページへ

前ページから



| 1-2-5-1 アンプモジュール設定 | | | |
|--------------------|----------|------|---------------|
| ユニット | EX1 | DF 1 | |
| CH | 機種 | 出力系統 | |
| 1 | FS-024DA | 1 | [決定] 編集 |
| 2 | ---- | -- | [戻る] DF 選択 |
| 3 | ---- | -- | |
| 4 | ---- | -- | |

○▶ で「出力系統」に移動

決定

○ で編集可能に

| 1-2-5-1 アンプモジュール設定 | | | |
|--------------------|----------|-------|---------------|
| ユニット | EX1 | DF 1 | |
| CH | 機種 | 出力系統 | |
| 1 | FS-024DA | ◀ 1 ▶ | [決定] セット |
| 2 | ---- | -- | [戻る] キャンセル |
| 3 | ---- | -- | |
| 4 | ---- | -- | |

◀○ または ○▶ で設定変更

決定

○ で内容確定

7

1～7を繰り返す

アンプモジュール設定完了

戻る



| 1-2-5 アンプ設定 | | | |
|-------------|-------------|----|---------------|
| ユニット | EX1 | | |
| No. | 機種 | ID | |
| 1 | ◀FS-2500DF▶ | 00 | [決定] DA 選択 |
| 2 | ---- | -- | [戻る] キャンセル |
| 3 | ---- | -- | |
| 4 | ---- | -- | |

5 右シフトキーを押す。

カーソルが「出力系統」に移動します。

6 左右シフトキーで設定を変更する。

7 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

8 手順 1～7 を繰り返し、使用するすべてのチャンネルに挿入するパワーアンプモジュールの機種を設定する。

9 戻るキーを押す。

「1-2-5 アンプ設定」(P. 23) の画面に戻ります。

■ ジャンクションパネル設定 (1-2-6)

FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）および非常系統拡張パネルに接続するジャンクションパネルの構成を登録します。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|--------------------------------|-------------------|-----------|
| ユニット | ジャンクションパネルを接続するユニットを選択。 | EP *1、EX1 ~ 13 *2 | — |
| 機種 | 選択したユニットに接続するジャンクションパネルの機種を設定。 | FS-2420JP、— *3 | FS-2420JP |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は1台目の非常系統拡張パネルを表します。

*3 一番下のジャンクションパネルのみ選択可。ただし、非常系統拡張パネルを使用するときは、非常用操作パネルの No. 1 のジャンクションパネルの機種に選択可能です。

ご注意

1つのユニットに対して設定できるジャンクションパネルの台数は8台まで、システムで使用できるジャンクションパネルの合計台数は32台までです。

EP、EX1 ~ 13 に設定する FS-2420JP の合計が 32 台を超えないようにしてください。

× モ

- 機種の設定は No. 1 から順に設定してください。
- 機種を削除するときは一番下から削除してください。
- ジャンクションパネルを増設または削除するときは、出力系統画面が自動的に調整されます。

| 1-2-6 ジャンクションパネル設定 | | |
|--------------------|-----------|----|
| ユニット | ◀ EP ▶ | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2420JP | 00 |
| 2 | FS-2420JP | 01 |
| 3 | FS-2420JP | 02 |
| 4 | FS-2420JP | 03 |

[決定]
JP 選択
[戻る]
戻る

- 1 ↓ ◀ または ▶ でユニット選択
決定
○ で「機種」へ移動

| 1-2-6 ジャンクションパネル設定 | | |
|--------------------|-----------|----|
| ユニット | EP | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2420JP | 00 |
| 2 | FS-2420JP | 01 |
| 3 | FS-2420JP | 02 |
| 4 | FS-2420JP | 03 |

[前/次]
改画面
[決定]
編集
[戻る]
ユニット選択

- 3 ↓ ○ または ○ で項目選択
決定
○ で編集可能に

| 1-2-6 ジャンクションパネル設定 | | |
|--------------------|---------------|----|
| ユニット | EP | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | ◀ FS-2420JP ▶ | 00 |
| 2 | FS-2420JP | 01 |
| 3 | FS-2420JP | 02 |
| 4 | FS-2420JP | 03 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 6 ↓ ◀ または ▶ で設定変更
決定
○ で内容確定

次ページへ

「1-2 機器構成設定」(P. 17) で「6 ジャンクションパネル設定」決定時

- 1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。
- 2 決定キーを押す。

カーソルが「機種」に移動します。

- 3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

× モ

「ID」は各機器のアドレススイッチで設定された番号を表します。

- 4 決定キーを押す。

「機種」が編集可能になります。

- 5 左右シフトキーで「機種」を選択する。
- 6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

前ページから

↓ 3～6を繰り返す

| 1-2-6 ジャンクシヨンパネル設定 | | |
|--------------------|-----------|----|
| ユニット | EP | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2420JP | 00 |
| 2 | FS-2420JP | 01 |
| 3 | FS-2420JP | 02 |
| 4 | FS-2420JP | 03 |

[前/次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] ユニツト選択

8 ↓ 戻る でユニツト選択に戻る

| 1-2-6 ジャンクシヨンパネル設定 | | |
|--------------------|-----------|----|
| ユニット | ◀EP▶ | |
| No. | 機種 | ID |
| 1 | FS-2420JP | 00 |
| 2 | FS-2420JP | 01 |
| 3 | FS-2420JP | 02 |
| 4 | FS-2420JP | 03 |

[決定] JP 選択
[戻る] 戻る

↓ 1～8を繰り返す

ジャンクシヨンパネル設定完了

7 手順3～6を繰り返し、選択したユニツトに接続するすべてのジャンクシヨンパネルの機種を設定する。

8 戻るキーを押す。

カーソルが「ユニット」に移動します。

9 手順1～8を繰り返し、すべてのユニツトに接続するジャンクシヨンパネルの機種を設定する。

■ 出力系統設定 (1-2-7)

FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）および非常系統拡張パネルの出力系統に回線番号を登録します。この設定により、非常用操作パネルおよび非常系統拡張パネルの音声出力をスピーカー回線に設定することができます。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|--------------------------------|-------------------|------|
| ユニット | スピーカー回線を接続するユニツトを選択。 | EP * 1、EX1～13 * 2 | — |
| JP | 選択したユニツトに接続されているジャンクシヨンパネルを選択。 | (設定された JP 番号) * 3 | — |
| 系統 | 接続する回線番号を設定。 | (選択、未選択) | — |

* 1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

* 2 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は1台目の非常系統拡張パネルを表します。

* 3 「1-2-6 ジャンクシヨンパネル設定」(P. 27) で表示されている「No.」です。「No. 1」はID (アドレス設定) 「00」、 「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。

× モ

「1-1-3 システム動作モード設定」(P. 16) が「通常」の場合は「1-2-5 アンブ設定」(P. 23) の「出力系統 1」～「出力系統 8」にスピーカー回線の割り付けを行い、「1-1-3 システム動作モード設定」(P. 16) が「アンブ拡張 A」または「アンブ拡張 B」の場合は「出力系統 1-1」～「出力系統 1-8」、…、「出力系統 8-1」～「出力系統 8-8」にスピーカー回線の割り付けを行います。

| 1-2-7 出力系統設定 | | | | |
|--------------|------|------|-------|-------|
| ユニット | ◀EP▶ | JP | 1 | |
| | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 |
| 系統 1 | ● | ● | ● | ● |
| ---- | | | | |
| ---- | | | | |

[決定] JP 選択
[戻る] 戻る

1 ↓ ◀ または ▶ でユニツト選択
決定
↓ ◯ で「JP」へ移動

次ページへ

「1-2 機器構成設定」(P. 17) で「7 出力系統設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

前ページから



| 1-2-7 出力系統設定 | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| ユニット | EX1 | JP | | |
| | 21-25 | 26-30 | 31-35 | 36-40 |
| 系統 1 | ● | ● | ● | ● |
| 系統 2 | | | | |
| ---- | | | | |
| ---- | | | | |

[決定]
出力系統選択
[戻る]
ユニット選択

3 ↓ ◯ または ◯▶ で JP 選択

決定
↓ ◯ で「出力系統選択」へ移動

回線番号

| 1-2-7 出力系統設定 | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| ユニット | EX1 | JP | 1 | |
| | 21-25 | 26-30 | 31-35 | 36-40 |
| 系統 1 | ● | ● | ● | ● |
| 系統 2 | ● | | | |
| ---- | | | | |
| ---- | | | | |

[決定]
セット
[戻る]
JP 選択

5 ↓ ◯ ◯ ◯▶ で項目選択

| 1-2-7 出力系統設定 | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| ユニット | EX1 | JP | 1 | |
| | 21-25 | 26-30 | 31-35 | 36-40 |
| 系統 1 | ● | ● | ● | ● |
| 系統 2 | ● | | | |
| ---- | | | | |
| ---- | | | | |

[決定]
セット
[戻る]
JP 選択

6 ↓ ◯ で出力系統選択

| 1-2-7 出力系統設定 | | | | |
|--------------|-------|-------|-------|-------|
| ユニット | EX1 | JP | 1 | |
| | 21-25 | 26-30 | 31-35 | 36-40 |
| 系統 1 | | ● | ● | ● |
| 系統 2 | ● | | | |
| ---- | | | | |
| ---- | | | | |

[決定]
セット
[戻る]
JP 選択

8 ↓ ◯ で JP 選択に戻る

3～8 を繰り返す

10 ↓ ◯ でユニット選択に戻る

1～10 を繰り返す

出力系統設定完了

カーソルが「JP」に移動します。

3 左右シフトキーで「JP」を選択する。

4 決定キーを押す。

系統選択が編集可能になります。

5 上下左右シフトキーで、追加したい回線にカーソルを移動させる。

6 決定キーを押す。

出力系統と回線の接続を表す「●」マークが追加されます。

7 手順 5 と 6 を繰り返して、必要なだけ回線を追加する。

8 戻るキーを押す。

JP 選択に戻ります。

9 手順 3～8 を繰り返して、すべてのジャンクションパネルについて設定する。

10 戻るキーを押す。

ユニット選択に戻ります。

11 手順 1～10 を繰り返して、すべてのユニットについて設定する。

× モ

- 各回線は 1 つの出力系統にしにつながりません。
- すでに別の出力系統に「●」マークが設定されている回線を選択し、決定キーを押したときは、別の出力系統に表示されていた「●」マークが削除され、新たに選択した出力系統に「●」マークが追加されます。
- 「●」マークが設定されている位置にカーソルを合わせて決定キーを押すと、クリアできます。
- 回線選択中に戻るキーを押すと、ジャンクションパネルの選択に戻ります。

■ 非常放送設定 (1-3)

| 1-3 非常放送設定 | |
|--------------|-------|
| 1 放送階選択方法設定 | [前/次] |
| 2 EL 設定 | 改画面 |
| 3 SW・EL 設定 | [決定] |
| 4 出火階・連動階設定 | 項目決定 |
| 5 音声警報設定 | [戻る] |
| 6 非常タイマー設定 | 戻る |
| 7 回線初期値設定・点検 | |

「1 システム設定」(P. 14) で「3 非常放送設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|--------------|---------------|
| 1 放送階選択方法設定 | P. 30 (1-3-1) |
| 2 EL 設定 | P. 31 (1-3-2) |
| 3 SW・EL 階設定 | P. 33 (1-3-3) |
| 4 出火階・連動階設定 | P. 38 (1-3-4) |
| 5 音声警報設定 | P. 39 (1-3-5) |
| 6 非常タイマー設定 | P. 41 (1-3-6) |
| 7 回線初期値設定・点検 | P. 42 (1-3-7) |
| 8 回線グループ設定 | P. 50 (1-3-8) |
| 9 EL 制御設定 | P. 52 (1-3-9) |



各設定項目の参照先へ

■ 放送階選択方法設定 (1-3-1)

非常放送が起動したときの放送階の選択のしかたを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* | 初期設定 |
|----------|--|-------|------|
| 自火報階選択連動 | 自動火災報知設備などから階別信号が入力されたときに、非常放送をする階の選択のしかたを設定。 | 連動、一斉 | 連動 |
| 手動階選択連動 | 手動で非常放送を起動したときに非常放送をする階の選択のしかたを設定。 | 階別、連動 | 階別 |
| 二度押し復旧 | 一度選択した放送階選択スイッチを再度押すことにより回線選択を解除できるようにするかどうかを設定。 | 禁止、許可 | 禁止 |

* 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|----------|------|---|
| 自火報階選択連動 | 連動 | 出火階(起動のあった階)と、その直上階などの連動階に放送されます。([連動]モード) |
| | 一斉 | すべての階に放送されます。([連動一斉]モード) |
| 手動階選択連動 | 階別 | 手動で選択した放送階のみに放送されます。 |
| | 連動 | 手動で選択した放送階と、その直上階などの連動階に放送されます。 |
| 二度押し復旧 | 禁止 | 二度押しによる回線選択の解除を禁止します。(二度押ししたときのスイッチ操作は無効となります。) |
| | 許可 | 二度押しによる回線選択の解除を許可します。 |

| 1-3-1 放送階選択方法設定 | |
|-----------------|--------------------------|
| 自火報階選択連動 | 連動 |
| 手動階選択連動 | 階別 |
| 二度押し復旧 | 禁止 |
| | [決定] 編集 [戻る] 戻る |

「1-3 非常放送設定」(P. 30) で「1 放送階選択方法設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。



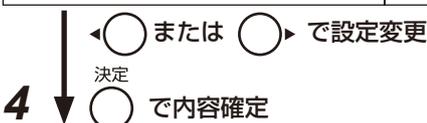
選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

| 1-3-1 放送階選択方法設定 | |
|-----------------|------------------------------|
| 自火報階選択連動 | ◀ 連動 ▶ |
| 手動階選択連動 | 階別 |
| 二度押し復旧 | 禁止 |
| | [決定] セット [戻る] キャンセル |



次ページへ

前ページから



放送階選択方法設定完了

5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ EL 設定 (1-3-2)

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) に階・区メッセージまたは注意喚起放送を設定します。階別信号入力端子がメイクしたときに、階・区情報を含んだ音声警報または注意喚起放送を出力できるようにするためです。

注意喚起放送の動作の詳細については、別冊の操作説明書「階別信号を使用した放送」をお読みください。設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|--|--|--|
| EL 番号 | ジャンクションパネルの階別信号入力端子の番号を選択。 | 1～最大 EL 数 | — |
| 用途 | ジャンクションパネルの階別信号入力端子の用途を選択。 | 非常、注意喚起、未使用 | 非常 |
| メッセージ 1 | 用途が「非常」の場合は階・区メッセージ番号*1を選択。 用途が「注意喚起」の場合は注意喚起放送番号*2を選択。 | 用途が「非常」の場合： 1～640、— (階情報なし) 用途が「注意喚起」の場合： 1、2 | 用途が「非常」の場合： EL1：6、EL2：7、…、EL75：80、EL76～：— 用途が「注意喚起」の場合：1 |

*1 工場出荷時は以下のとおり、階・区メッセージ 1～80 番までが登録されています。

| 番号 | 階・区名称 |
|----|--------|
| 1 | 地下 1 階 |
| 2 | 地下 2 階 |
| 3 | 地下 3 階 |
| 4 | 地下 4 階 |
| 5 | 地下 5 階 |
| 6 | 1 階 |
| 7 | 2 階 |
| 8 | 3 階 |
| 9 | 4 階 |
| 10 | 5 階 |
| 11 | 6 階 |
| 12 | 7 階 |
| 13 | 8 階 |
| 14 | 9 階 |
| 15 | 10 階 |
| 16 | 11 階 |
| 17 | 12 階 |
| 18 | 13 階 |
| 19 | 14 階 |
| 20 | 15 階 |
| 21 | 16 階 |
| 22 | 17 階 |
| 23 | 18 階 |
| 24 | 19 階 |
| 25 | 20 階 |
| 26 | 21 階 |
| 27 | 22 階 |
| 28 | 23 階 |
| 29 | 24 階 |
| 30 | 25 階 |

| 番号 | 階・区名称 |
|----|------------|
| 31 | 26 階 |
| 32 | 27 階 |
| 33 | 28 階 |
| 34 | 29 階 |
| 35 | 30 階 |
| 36 | 屋上 |
| 37 | 駐車場 |
| 38 | 地下駐車場 |
| 39 | 屋上駐車場 |
| 40 | バックヤード |
| 41 | エントランスホール |
| 42 | 体育館 |
| 43 | 体育館 1 階 |
| 44 | 体育館 2 階 |
| 45 | 講堂 |
| 46 | 階段 |
| 47 | 東階段 |
| 48 | 西階段 |
| 49 | 南階段 |
| 50 | 北階段 |
| 51 | 中央階段 |
| 52 | 塔屋 |
| 53 | エスカレーター |
| 54 | エレベーター |
| 55 | エレベーターシャフト |
| 56 | エレベーター機械室 |
| 57 | 機械室 |
| 58 | 風除室 |
| 59 | 本館地下 1 階 |
| 60 | 本館 1 階 |

| 番号 | 階・区名称 |
|----|----------|
| 61 | 本館 2 階 |
| 62 | 本館 3 階 |
| 63 | 本館 4 階 |
| 64 | 本館 5 階 |
| 65 | 本館 6 階 |
| 66 | 本館屋上 |
| 67 | 本館塔屋 |
| 68 | 本館階段 |
| 69 | 本館エレベーター |
| 70 | 新館地下 1 階 |
| 71 | 新館 1 階 |
| 72 | 新館 2 階 |
| 73 | 新館 3 階 |
| 74 | 新館 4 階 |
| 75 | 新館 5 階 |
| 76 | 新館 6 階 |
| 77 | 新館屋上 |
| 78 | 新館塔屋 |
| 79 | 新館階段 |
| 80 | 新館エレベーター |

※ 番号：階・区メッセージ番号

*2 注意喚起放送の音源は、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manger を使用して登録します。詳しくは別冊の FS-A2500 設定支援ソフトウェア取扱説明書「音源設定」をお読みください。

| 1-3-2 EL 設定 | |
|-------------|-------|
| EL 番号 | ◀ 1 ▶ |
| 用途 | 非常 |
| メッセージ 1 | 6 |

[0-9]
数値入力
[決定]
用途選択
[戻る]
戻る

- 1** ↓
- ◀ ○ または ○ ▶ で EL 番号選択
または ○⁰ ~ ○⁹ で数値入力
決定
○ で EL 番号確定

| 1-3-2 EL 設定 | |
|-------------|----|
| EL 番号 | 1 |
| 用途 | 非常 |
| メッセージ 1 | 6 |

[決定]
編集
[戻る]
EL 番号選択

- 決定
↓
○ で編集可能に

| 1-3-2 EL 設定 | |
|-------------|--------|
| EL 番号 | 1 |
| 用途 | ◀ 非常 ▶ |
| メッセージ 1 | 6 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- ↓
- ◀ ○ または ○ ▶ で用途選択
決定
○ で用途確定

| 1-3-2 EL 設定 | |
|-------------|------|
| EL 番号 | 1 |
| 用途 | 注意喚起 |
| メッセージ 1 | 1 |

[決定]
編集
[戻る]
EL 番号選択

- 6** ↓
- または ○ で項目選択

| 1-3-2 EL 設定 | |
|-------------|------|
| EL 番号 | 1 |
| 用途 | 注意喚起 |
| メッセージ 1 | 1 |

[0]
再生
[決定]
編集
[戻る]
戻る

- ↓
- (○ で再生/停止)
決定
○ で編集可能に

次ページへ

「1-3 非常放送設定」(P. 30) で「2 EL 設定」決定時

- 1** 左右シフトキーで「EL 番号」を選択するか、数字キーで番号を入力する。

- 2** 決定キーを押す。

EL 番号が確定し、カーソルが「用途」に移動します。

- 3** 用途を編集するときは、決定キーを押す。

「用途」が編集できるようになります。

- 4** 左右シフトキーで「用途」を選択する。

- 5** 決定キーを押す。

- 6** 上下シフトキーで「メッセージ 1」を選択する。

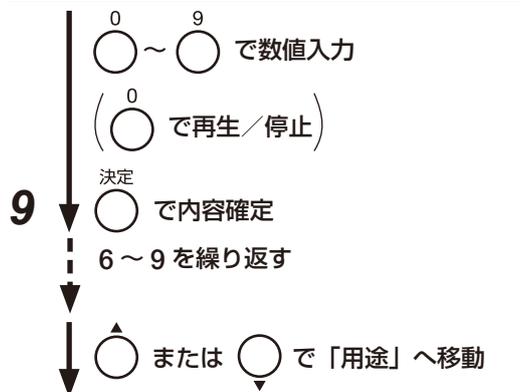
☒ ☒

[0] キーを押すと、表示されている番号の階・区メッセージまたは注意喚起放送を再生して確認できます。再生中は非常 RM の放送モニターが停止します。もう一度 [0] キーを押すと、再生を停止できます。

- 7** 決定キーを押す。

前ページから

| 1-3-2 EL 設定 | |
|----------------------------------|-------|
| EL 番号 | 1 |
| 用途 | 注意喚起 |
| メッセージ 1 | ◀ 1 ▶ |
| [0] 再生 [決定] セット [戻る] キャンセル | |



| 1-3-2 EL 設定 | |
|-------------------------|------|
| EL 番号 | 1 |
| 用途 | 注意喚起 |
| メッセージ 1 | 2 |
| [決定] 編集 [戻る] EL 番号選択 | |



| 1-3-2 EL 設定 | |
|----------------------|-------|
| EL 番号 | ◀ 1 ▶ |
| 用途 | 注意喚起 |
| メッセージ 1 | 2 |
| [決定] 用途選択 [戻る] 戻る | |

1 ~ 12 を繰り返す

EL 設定完了

「メッセージ」が編集できるようになります。

8 数字キーで番号を入力する。

× モ

[0] キーを押すと、表示されている番号の階・区メッセージまたは注意喚起放送を再生して確認できます。再生中は非常 RM の放送モニターが停止します。もう一度 [0] キーを押すと、再生を停止できます。

9 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

10 非常用途の場合は、手順 6 ~ 9 を繰り返して、「メッセージ 2」も設定する。

11 上下シフトキーで「用途」に移動する。

12 戻るキーを押す。

EL 番号選択に戻ります。

13 手順 1 ~ 12 を繰り返し、すべての EL 番号について設定する。

■ SW・EL 設定 (1-3-3)

FS-A2500 本体と非常用リモコンの放送階選択スイッチについて設定します。まず、設定するユニットを選択します。

| 1-3-3 SW・EL 設定 | |
|----------------|----------------------|
| 1 本体 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 非常 RM | |



「1-3 非常放送設定」(P. 30) で「3 SW・EL 設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|---------|-----------------|
| 1 本体 | P. 34 (1-3-3-1) |
| 2 非常 RM | P. 36 (1-3-3-2) |

■ 本体 (1-3-3-1)

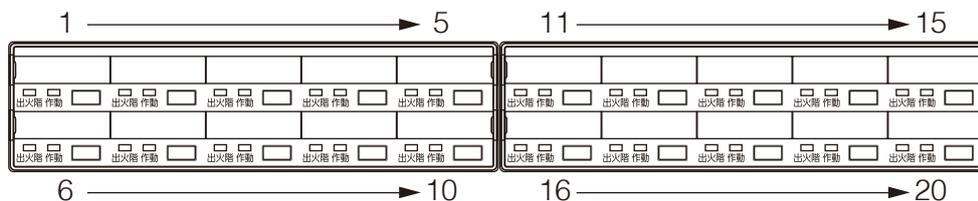
FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）に接続する増設操作パネルの放送階選択スイッチについて設定します。設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲*1 | 初期設定 |
|-------------------------|---|---|-----------------|
| SW 番号 | 放送階選択スイッチの番号*2 を選択。 | 1～ | — |
| 用途 | 放送階選択スイッチの用途を選択。 | 非常、業務、兼用、 非常マイク出力選択*3、 BGM1～4、未使用 | 兼用 |
| 業務緊急*4 | 放送階選択スイッチの用途を「業務」または「兼用」に設定したとき、スピーカー回線へ放送を出力するモードを通常放送／業務緊急のどちらかに設定。 | なし、あり | なし |
| 出力回線 | 放送階選択スイッチの回線登録を個別／グループのどちらかに設定。 | 個別、グループ | 個別 |
| 一括選択*3 | 放送階選択スイッチの用途を「非常マイク出力選択」に設定したとき、非常マイク放送の出力回線について、一括選択の有無を設定。 | なし、あり | なし |
| 回線番号または回線グループ番号 | 用途を「非常マイク出力選択」、「未使用」以外に設定したとき、放送階選択スイッチに回線番号または回線グループ番号*5 を登録。 | 1～ グループ1～ | スイッチ番号 と同じ番号 |
| 出力グループ番号*3 | 用途を「非常マイク出力選択」に設定したとき、放送階選択スイッチに非常マイク出力グループ番号を登録。 | 出力グループ1～105 | 出力グループ 1 |
| EL 番号または EL グループ番号*6、*7 | 放送階選択スイッチにジャンクションパネルの階別信号入力端子の番号または EL グループ番号*8 を登録。 | EL1～ EL グループ1～ | スイッチ番号 と同じ番号 |

*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|--------|-------------|---|
| 用途 | 非常*9 | 放送階選択スイッチを非常放送用途で使用します。注意喚起放送でも使用できます。注意喚起放送以外の業務放送では使用できません。 |
| | 業務 | 放送階選択スイッチを業務放送用途で使用します。ただし、業務放送のうち、注意喚起放送では使用できません。非常放送では使用できません。 |
| | 非常マイク出力選択*3 | 放送階選択スイッチを非常マイク放送用の出力先を選択する用途で使用します。非常放送開始後は放送階選択スイッチのうち、この用途のスイッチの操作のみ有効です。 |
| | 兼用*9 | 非常放送・業務放送の両方の用途で使用します。 |
| | BGM1～4*10 | ミックスバス（BGM）に割り付けた音声入力に接続された演奏機器から BGM 音源のみの放送を行うときに使用します。非常放送では使用できません。 |
| 業務緊急 | なし | 通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。 |
| | あり | 業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。 |
| 出力回線 | 個別 | 放送階選択スイッチについて、スピーカー回線を1つ登録します。 |
| | グループ | 放送階選択スイッチについて、回線グループを登録します。回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50)で行います。 |
| 一括選択*3 | なし | 非常マイク出力選択の対象を非常マイク出力グループから選択できます。 |
| | あり | 非常マイク出力選択の対象は、「非常マイク出力選択」用途かつ「一括選択」が「なし」に設定された放送階選択スイッチに設定されている非常マイク出力グループすべてになります。 |

*2 番号は次のとおりです。下図は FS-2520EP の操作部の例ですが、他の機種も同様です。



*3 多元非常放送有効時のみ設定が可能となります。多元非常放送動作を有効に設定して使用する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。

*4 用途の設定を「業務」または「兼用」にした場合のみ設定できます。

*5 回線グループを使用するときは「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50)であらかじめ設定しておいてください。

*6 用途の設定を「非常」または「兼用」にした場合のみ設定できます。

*7 注意喚起放送用途の EL 番号、またはその EL 番号を含む EL グループが設定されている場合の動作の詳細は、「1-3-9-1 EL モード設定」(P. 52) および別冊の操作説明書「階別信号を使用した放送」をお読みください。

*8 EL グループを使用するときは「1-3-9 EL 制御設定」(P. 52)であらかじめ設定しておいてください。

*9 注意喚起放送を使用するには、用途を「非常」または「兼用」に設定してください。

*10 用途の設定を「BGM1～4」にするときは「1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定」(P. 58)であらかじめ設定しておいてください。

| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|------|
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 兼用 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

↓ 決定
○ で編集可能に

| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|-------|
| SW 番号 | ◀ 1 ▶ |
| 用途 | 兼用 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[0-9]
数値入力
[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

2 ↓ ○ または ○ ▶ で番号選択
または ○ ~ ○ で数値入力
決定
○

| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|------|
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 兼用 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

4 ↓ ○ または ○ ▼ で項目選択

| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|------|
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 兼用 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

↓ 決定
○ で編集可能に

| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|--------|
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | ◀ 兼用 ▶ |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

7 ↓ ○ または ○ ▶ で設定変更
または ○ ~ ○ で数値入力
決定
○ で内容確定

次ページへ

「1-3-3 SW・EL 設定」(P. 33)で「1 本体」決定時

1 カーソルが「SW 番号」位置にある状態で、決定キーを押す。

編集可能になります。

2 左右シフトキーで「SW 番号」を選択するか、数字キーで番号を入力する。

3 決定キーを押す。

4 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

5 決定キーを押す。

編集可能になります。

6 左右シフトキーで設定内容を選択する。
回線番号と EL 番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

7 決定キーを押す。

前ページから



| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|------|
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 非常 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[決定]
 編集
 [戻る]
 戻る

4～7を繰り返す



9 または で SW 番号選択へ

| 1-3-3-1 本体 | |
|------------|------|
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 非常 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |
| EL 番号 | EL 1 |

[決定]
 編集
 [戻る]
 戻る

1～9を繰り返す



本体の設定完了

設定内容が決定されます。

8 手順4～7を繰り返し、手順3で決定した「SW 番号」の「用途」から「EL 番号」までで必要な設定をすべて行う。

9 上下シフトキーでカーソルを「SW 番号」位置に移動させる。

10 手順1～9を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 非常 RM (1-3-3-2)

非常用リモコンの放送階選択スイッチについて設定します。本体と同じ設定にするか個別に設定するかを選択できます。

個別に設定する場合の設定項目は本体と同じです。(P. 34)

ご注意

本体と同じ設定にする場合は、すべての非常用リモコンの放送階選択スイッチ数を本体と同じにしてください。

| 1-3-3-2 非常 RM | |
|---------------|-------|
| SW 設定 | 本体と同じ |

[決定]
 編集
 [戻る]
 戻る



| 1-3-3-2 非常 RM | |
|---------------|-----------|
| SW 設定 | ◀ 本体と同じ ▶ |

[決定]
 セット
 [戻る]
 キャンセル

または で設定変更



「本体と同じ」を選択した場合：
非常 RM 設定完了

「個別設定」を選択した場合：
次ページへ

「1-3-3 SW・EL 設定」(P. 33) で「2 非常 RM」決定時

1 決定キーを押す。

編集可能になります。

2 左右シフトキーで「本体と同じ」か「個別設定」を選択する。

3 決定キーを押す。

「本体と同じ」を選択した場合は、設定終了です。戻るキーで前の画面に戻ってください。

「個別設定」を選択した場合は、非常用リモコンの階選択スイッチを設定する画面が表示されます。手順4以降に進んでください。

| 1-3-3-2 非常 RM | | |
|---------------|------|-------------------|
| 非常 RM | ◀1▶ | |
| SW 番号 | 1 | [決定] SW 番号選択 |
| 用途 | 兼用 | |
| 業務緊急 | なし | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 1 | |
| EL 番号 | EL 1 | [戻る] 戻る |

- 4** ↓ ◯ または ◯▶ で番号選択
決定
◯ で「SW 番号」へ移動

| 1-3-3-2 非常 RM | | |
|---------------|------|--------------------|
| 非常 RM | 1 | |
| SW 番号 | 1 | [決定] 編集 |
| 用途 | 兼用 | |
| 業務緊急 | なし | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 1 | |
| EL 番号 | EL 1 | [戻る] 非常 RM 選択 |

- 6** ↓ ◯ または ◯▶ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-3-3-2 非常 RM | | |
|---------------|------|---------------|
| 非常 RM | 1 | |
| SW 番号 | ◀1▶ | [0-9] 数値入力 |
| 用途 | 兼用 | [決定] |
| 業務緊急 | なし | セット |
| 出力回線 | グループ | [戻る] |
| 回線番号 | 1 | キャンセル |
| EL 番号 | EL 1 | |

- ↓ ◯ または ◯▶ で設定変更
決定
9 ↓ ◯ で内容確定

| 1-3-3-2 非常 RM | | |
|---------------|------|--------------------|
| 非常 RM | 1 | |
| SW 番号 | 2 | [決定] 編集 |
| 用途 | 兼用 | |
| 業務緊急 | なし | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 1 | |
| EL 番号 | EL 1 | [戻る] 非常 RM 選択 |

↓ 6～9 を繰り返す

- 11** ↓ ◯ 戻る で非常 RM 選択に戻る

| 1-3-3-2 非常 RM | | |
|---------------|------|-------------------|
| 非常 RM | ◀1▶ | |
| SW 番号 | 2 | [決定] SW 番号選択 |
| 用途 | 兼用 | |
| 業務緊急 | なし | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 1 | |
| EL 番号 | EL 1 | [戻る] 戻る |

↓ 4～11 を繰り返す

非常 RM の設定完了

4 左右シフトキーで非常 RM を選択する。

5 決定キーを押す。

カーソルが「SW 番号」に移動します。

6 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

7 決定キーを押す。

編集可能になります。

8 左右シフトキーで設定内容を選択する。
回線番号と EL 番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

9 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

10 手順 6～9 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

11 戻るキーを押す。
「非常 RM」の選択に戻ります。

12 手順 4～11 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 出火階・連動階設定 (1-3-4)

出火階と連動階を結びつけます。ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) または EL グループ*がメイクされたときに連動する EL または EL グループ*を設定します。

1 つの出火階に最大 639 の連動階が設定できます。

* EL グループを使用するときは「1-3-9 EL 制御設定」(P. 52) であらかじめ設定しておいてください。

ご注意

- 出火階に対する連動階の階別信号が注意喚起放送用途の場合でも、その連動階は注意喚起放送ではなく非常放送となります。
- 以下の場合における連動階設定については、自治体により異なります。
所轄消防署にご確認のうえ、設定を行ってください。
 - (1) 地下階から起動があったときの 1 階への連動
 - (2) 各階から起動があったときのエレベーター、階段への連動
 - (3) エレベーター、階段から起動があったときの連動

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1-3-4 出火階・連動階設定 | |
| EL 番号 | ◀ 1 ▶ |
| 1 | 10 ▲ |
| 11 | 20 ▲ |
| 21 | 30 ▲ |
| 31 | 40 ▼ |
| [0-9] 数値入力 [決定] 連動階選択 [戻る] 戻る | |

- 1
- ◀ ○ または ○ ▶ で番号選択
または 0 ~ 9 で数値入力
決定
○ で「連動階選択」へ移動

| | |
|---------------------------------------|------|
| 1-3-4 出火階・連動階設定 | |
| EL 番号 | 1 |
| 1 | 10 ▲ |
| 11 | 20 ▲ |
| 21 | 30 ▲ |
| 31 | 40 ▼ |
| [前/次] 改画面 [決定] セット [戻る] EL 番号選択 | |

- 3
- ○ ○ ○ ○ ▶ で項目選択
決定
- 4
- で設定変更
3 と 4 を繰り返す

| | |
|---------------------------------------|------|
| 1-3-4 出火階・連動階設定 | |
| EL 番号 | 1 |
| 1 | 10 ▲ |
| 11 | 20 ▲ |
| 21 | 30 ▲ |
| 31 | 40 ▼ |
| [前/次] 改画面 [決定] セット [戻る] EL 番号選択 | |

- 6
- 戻る
○ で EL 選択に戻る

| | |
|-------------------------------------|-------|
| 1-3-4 出火階・連動階設定 | |
| EL 番号 | ◀ 1 ▶ |
| 1 | 10 ▲ |
| 11 | 20 ▲ |
| 21 | 30 ▲ |
| 31 | 40 ▼ |
| [0-9] 数値入力 [決定] 連動階選択 [戻る] 戻る | |

- 1 ~ 6 を繰り返す
- 出火階・連動階設定完了

「1-3 非常放送設定」(P. 30) で「4 出火階・連動階設定」決定時

- 1 左右シフトキーで「EL 番号」または「EL グループ番号」を選択するか、数字キーで番号を入力する。

- 2 決定キーを押す。

カーソルが「連動階選択」に移動します。

画面内に表示されている「◎」マークは出火階、「●」マークは連動階を表します。出火階は変更できません。

- 3 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

× 毛

左端のマスを選択すると、その行が一括選択できます。

- 4 決定キーを押す。

連動階を表す「●」マークが追加されます。
すでに「●」マークが設定されている場合は「●」マークが削除されます。

- 5 手順 3 と 4 を繰り返し、連動階をすべて設定する。

- 6 戻るキーを押す。

EL 選択に戻ります。

- 7 手順 1 ~ 6 を繰り返し、すべての EL 番号に連動階を設定する。

■ 音声警報設定 (1-3-5)

発信機起動時、感知器起動時などの非常放送の音声警報放送を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* ¹ | 初期設定 |
|--------------------------|--|--------------------|-------|
| 手動・発信機起動 | 発信機や非常電話、手動で非常放送を起動したときの音声警報放送を設定。 | 火災、発報 | 火災 |
| 感知器発報 | 感知器起動時の感知器発報放送を設定。 | 連動、連動停止 | 連動 |
| 発報放送回数* ² | 感知器発報放送の繰り返し回数を設定。 | 2～5回 | 2回 |
| 発報放送繰り返し設定* ² | 感知器発報放送の繰り返し方法を設定。 | なし、繰り返し、継続 | なし |
| 発報放送間隔* ³ | 感知器発報放送を連続で出力する時の間隔を設定。 | 0分00秒～5分59秒 | 2分00秒 |
| 警報言語 | 音声警報放送を行う言語を設定。日本語に加えて、任意の言語を選択でき、最大4言語の音声警報メッセージを放送することができます。* ¹ | 日本語、二ヶ国語、三ヶ国語、四ヶ国語 | 日本語 |

*¹ 設定範囲の詳細は以下のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。

| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|------------|------|---|
| 手動・発信機起動 | 火災 | 起動がかかると、感知器発報放送なしに、すぐに火災放送をします。〔「火災」モード〕 |
| | 発報 | 起動時に、感知器発報放送をします。〔「発報」モード〕 非常電話や発信機での起動のときは、感知器発報放送に続いて火災放送をします。 |
| 感知器発報 | 連動 | 感知器での起動時に、感知器発報放送をします。〔「発報連動」モード〕 |
| | 連動停止 | 感知器での起動時に、感知器発報放送をしません。〔「発報連動停止」モード〕 操作する人に対して、非常用操作パネルと非常用リモコンのモニタースピーカーから「火災音信号」と現場の確認と操作を指示する「音声メッセージ」が出ます。 |
| 発報放送繰り返し設定 | なし | 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送します。 |
| | 繰り返し | 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと「発報放送間隔」で設定された間隔をおいて、再び繰り返します。ただし、フロントマイクによる放送や放送復旧のあとは、発報放送は繰り返し放送されません。 |
| | 継続 | 感知器発報放送を「発報放送回数」で設定した回数だけ放送し、そのあと「発報放送間隔」で設定された間隔をおいて、再び繰り返します。フロントマイクによる放送や放送復旧のあとも繰り返し放送されます。 |
| 警報言語 | 日本語 | 日本語で音声警報メッセージが流れます。 |
| | 二ヶ国語 | 日本語・英語で音声警報メッセージが流れます。 |
| | 三ヶ国語 | 日本語・英語・中国語で音声警報メッセージが流れます。 |
| | 四ヶ国語 | 日本語・英語・中国語・韓国語で音声警報メッセージが流れます。 |

*² 手動・発信機起動を「火災」、感知器発報を「連動停止」に設定した場合は、設定不要です。

*³ 発報放送繰り返し設定を「なし」に設定した場合は、設定不要です。

ご注意

工場出荷時に搭載されたメッセージ以外を放送する場合は、所轄消防署の許可を得た上で、設定してください。

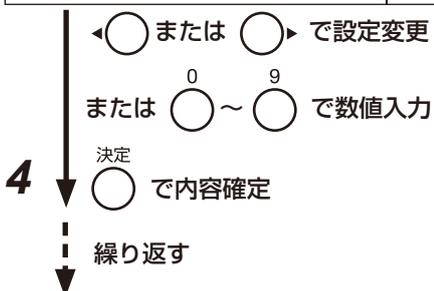
| 1-3-5 音声警報設定 | |
|--------------|------|
| 手動・発信機起動 | 火災 |
| 感知器発報 | 連動 |
| 発報放送回数 | 2回 |
| 発報放送繰り返し設定 | なし |
| 発報放送間隔 | ---- |
| 警報言語 | 日本語 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る



| 1-3-5 音声警報設定 | |
|--------------|------|
| 手動・発信機起動 | ◀火災▶ |
| 感知器発報 | 連動 |
| 発報放送回数 | 2回 |
| 発報放送繰り返し設定 | なし |
| 発報放送間隔 | --- |
| 警報言語 | 日本語 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

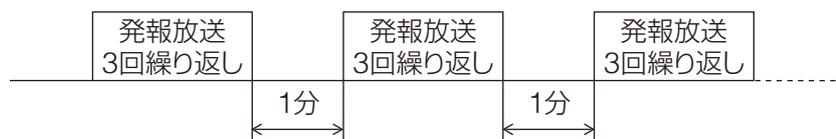


音声警報設定完了

【設定例】

発報放送の繰り返し方法を「繰り返し」または「継続」に設定したときは、発報放送回数や発報放送間隔の設定により次のように放送されます。

- (1) 発報放送 3 回を 1 分間隔で放送するとき
- ・ 発報放送回数を 3 回に設定します。
 - ・ 発報放送間隔を 1 分に設定します。



- (2) 発報放送を繰り返し連続で放送するとき
- ・ 発報放送回数を 2 回に設定します。
 - ・ 発報放送間隔を 0 秒に設定します。



「1-3 非常放送設定」(P. 30) で「5 音声警報設定」決定時

- 1 上下シフトキーで設定項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

- 3 左右シフトキーで設定を変更する。
発報放送間隔の場合のみ、数字キーで入力する。
- 4 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

- 5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 非常タイマー設定 (1-3-6)

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲*1 | 初期設定 |
|---------------|---|---------------------|-------|
| 火災移行タイマー*2 | 感知器起動や手動で非常放送を起動したときに、発報放送開始または火災音信号鳴動開始から、一定時間経過後に火災放送を開始させるための火災放送移行タイマーの時間を設定。 | 1秒～99分59秒 (1秒単位) | 2分00秒 |
| 一斉移行 | 火災放送開始または火災放送移行タイマーのタイムアップから、一定時間経過後に一斉火災放送を開始するための一斉移行タイマー機能のあり/なしを設定。 | あり、なし | あり |
| 一斉移行タイマー*2、*3 | 一斉移行タイマー機能「あり」のときのタイマーの時間を設定。 | 0秒～99分59秒 (1秒単位) | 2分00秒 |

*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|------|------|---|
| 一斉移行 | あり | 一斉移行タイマーの機能を使用します。 「一斉移行タイマー」で設定された時間の経過後に一斉の火災放送を開始します。 |
| | なし | 一斉移行タイマーの機能を使用しません。 自動的に一斉火災放送が開始することはありません。 |

*2 0秒または2～5分に設定するとき以外は、所轄の消防署にご確認のうえ、設定を行ってください。

*3 一斉移行の設定を「なし」に設定した場合は、設定不要です。

| 1-3-6 非常タイマー設定 | | |
|----------------|--------|--------------------------|
| 火災移行タイマー | 02分00秒 | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
| 一斉移行 | あり | |
| 一斉移行タイマー | 02分00秒 | |

[1-3 非常放送設定] (P. 30) で「6 非常タイマー設定」決定時

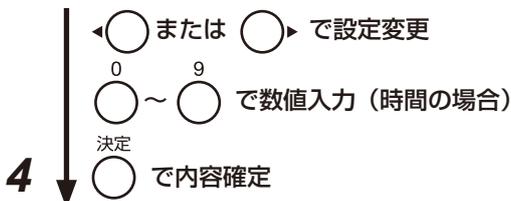
- 1 上下シフトキーで設定項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。



選択した部分が編集できるようになります。

| 1-3-6 非常タイマー設定 | | |
|----------------|--------|------------------------------|
| 火災移行タイマー | 02分00秒 | [決定] セット [戻る] キャンセル |
| 一斉移行 | あり | |
| 一斉移行タイマー | 02分00秒 | |

- 3 左右シフトキーで設定を変更する。
時間の場合は、数字キーで入力する。



- 4 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

| 1-3-6 非常タイマー設定 | | |
|----------------|--------|--------------------------|
| 火災移行タイマー | 02分00秒 | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
| 一斉移行 | あり | |
| 一斉移行タイマー | 02分30秒 | |

- 5 手順1～4を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

↓ 繰り返す
↓ タイマー設定完了

■ 回線初期値設定・点検 (1-3-7)

ジャンクションパネルに接続されている各スピーカー回線のインピーダンスを実測または設定します。スピーカーから音を出して良い場合は「1 回線初期値取得」(下記)で実測を行い、音声を出力できない場合は「2 回線初期値確認・編集」(P. 44)で手動で設定します。実測後に特定の回線のみ手動で変更することもできます。

| 1-3-7 回線初期値設定・点検 | |
|--|----------------------------|
| 1 回線初期値取得 2 回線初期値確認・編集 3 回線初期値点検 4 パイロットトーン設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-3 非常放送設定」(P. 30)で「7 回線初期値設定・点検」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|--------------|-----------------|
| 1 回線初期値取得 | 下記 (1-3-7-1) |
| 2 回線初期値確認・編集 | P. 44 (1-3-7-2) |
| 3 回線初期値点検 | P. 47 (1-3-7-3) |
| 4 パイロットトーン設定 | P. 50 (1-3-7-4) |



各設定項目の参照先へ

■ 回線初期値取得 (1-3-7-1)

ジャンクションパネルに接続されているスピーカー回線を選択してインピーダンスを実測します。スピーカーから測定用の音声が出力されます。この設定に入ったときは、すべてのスピーカー回線がインピーダンス測定対象になっています。

● すべてのスピーカー回線の測定を行う場合 (全スピーカーから音を出して良い場合)

すべてのスピーカー回線から音を出して良い場合は、以下の手順で回線インピーダンスの測定を行います。

| 1-3-7-1 回線初期値取得 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|
| ユニット ◀EP▶ JP 1 | [1] 全回線解除 [決定] JP 選択 [戻る] 戻る | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>● 1</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>● 11</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>20</td> </tr> </table> | ● 1 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 10 | ● 11 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 20 | |
| ● 1 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 10 | | | | | | | | | | | | |
| ● 11 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 20 | | | | | | | | | | | | |
| [0] 取得開始 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(上記)で「1 回線初期値取得」決定時

初期設定ではすべてのスピーカー回線が選択された状態になっています。

1 [0] キーを押す。

確認ダイアログが表示されます。

2 決定キーを押す。

| 1-3-7-1 回線初期値取得 | |
|--|---|
| ユ 確認 | [1] 全回線解除 [決定] JP 選択 [戻る] 戻る |
| 回線初期値取得中は全放送が停止します。 取得を開始しますか？ [決定]：測定開始 [戻る]：前ページに戻る | 10 20 |
| [0] 取得開始 | |

測定が開始されます。選択されているスピーカー回線について回線インピーダンスの初期値を取得します。

| 1-3-7-1 回線初期値取得 | | | |
|-----------------|-----|------|-----|
| 回線初期値を取得しています | | | |
| EP | 取得中 | EX5 | 完了 |
| EX1 | 取得中 | EX6 | 取得中 |
| EX2 | 完了 | EX7 | 取得中 |
| EX3 | 完了 | EX8 | 取得中 |
| EX4 | 取得中 | EX9 | 完了 |
| EX10 | 完了 | EX11 | 完了 |
| EX12 | 取得中 | EX13 | 取得中 |

回線インピーダンス測定完了

回線インピーダンスの取得が終わると回線を選択する画面に戻ります。

前ページから

1-3-7-1 回線初期値取得

| | | | | |
|---|----|----|---|--|
| ユニット | EP | JP | 1 | [1] |
| <input checked="" type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> 2 <input checked="" type="checkbox"/> 3 <input checked="" type="checkbox"/> 4 <input checked="" type="checkbox"/> 5 <input checked="" type="checkbox"/> 6 <input checked="" type="checkbox"/> 7 <input checked="" type="checkbox"/> 8 <input checked="" type="checkbox"/> 9 <input checked="" type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 17 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 19 <input type="checkbox"/> 20 | | | | 全回線解除 [決定] 一括選択 [戻る] JP 選択 |
| [0] 取得開始 | | | | |

8 [0] キーを押す。

確認ダイアログが表示されます。

1-3-7-1 回線初期値取得

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
| 確認 回線初期値取得中は全放送が停止します。取得を開始しますか？ [決定]: 測定開始 [戻る]: 前ページに戻る | | | | [1] |
| <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4 <input type="checkbox"/> 5 <input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 7 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 9 <input type="checkbox"/> 10 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 14 <input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 16 <input type="checkbox"/> 17 <input type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 19 <input type="checkbox"/> 20 | | | | 全回線解除 [決定] 一括選択 [戻る] JP 選択 |
| [0] 取得開始 | | | | |

9 決定キーを押す。

1-3-7-1 回線初期値取得

回線初期値を取得しています

| | | | | | |
|-----|-----|-----|----|------|---|
| EP | 取得中 | EX5 | 完了 | EX10 | - |
| EX1 | 取得中 | EX6 | - | EX11 | - |
| EX2 | 完了 | EX7 | - | EX12 | - |
| EX3 | 完了 | EX8 | - | EX13 | - |
| EX4 | 取得中 | EX9 | - | | |

測定が開始されます。
 選択されているスピーカー回線について回線インピーダンスの初期値を取得します。

回線インピーダンスの取得が終わると回線を選択する画面に戻ります。

回線インピーダンス測定完了

■ 回線初期値確認・編集 (1-3-7-2)

● 手で初期値を全消去するとき

手で回線インピーダンスの初期値を全消去することができます。スピーカーからの音声は出力されません。全消去後は、アンプ設定と出力系統設定により各回線に割り当てられたアンプに応じて、初期値欄の数値が変更されます。

1-3-7-2 回線初期値確認・編集

| | | | | |
|------|------|------|------|------------------------------------|
| ユニット | ◀EP▶ | JP | 1 | [1] |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | 全消去 [決定] JP 選択 [戻る] 戻る |
| 1 | 360W | 6 | 360W | |
| 2 | 360W | 7 | 360W | |
| 3 | 360W | 8 | 360W | |
| 4 | 360W | 9 | 360W | |
| 5 | 360W | 10 | 360W | |

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(P. 42) で「2 回線初期値確認・編集」決定時

手順: [1] キーを押す。

すべてのジャンクションパネルについて回線インピーダンスの初期値が全消去されます。全消去後は、初期値欄に「360W」と表示されます。

1-3-7-2 回線初期値確認・編集

回線初期値を全消去しています

| | | | |
|------|------|------|------|
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 |
| 1 | 360W | 6 | 360W |
| 2 | 360W | 7 | 360W |
| 3 | 360W | 8 | 360W |
| 4 | 360W | 9 | 360W |
| 5 | 360W | 10 | 360W |

回線インピーダンス初期値全消去完了

● 手動で初期値を編集するとき（スピーカーから音声を出力できない場合）

回線インピーダンスを編集し、接続されているスピーカーの公称インピーダンスを入力することで、スピーカーから音を出さずに、回線インピーダンスの初期値を手動で変更することができます。
回線インピーダンス測定後に特定の回線のみ手動で変更することもできます。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|--------------------------------|-----------------|---------|
| ユニット | スピーカー回線が接続されたユニットを選択。 | EP *1、EX1～13 *2 | — |
| JP | 選択したユニットに接続されているジャンクションパネルを選択。 | (設定された JP 番号*3) | — |
| 初期値 | 回線インピーダンスの初期値を設定。 | 0W (1W 未満)～360W | 360W *4 |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は1台目の非常系統拡張パネルを表します。

*3 「1-2-6 ジャンクションパネル設定」(P. 27) で表示されている「No.」です。「No. 1」はID (アドレス設定)「00」、
「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。

*4 工場出荷時は、機器構成の設定に関係なく、初期値欄に「360W」と表示されます。

| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 | | | | |
|--------------------|------|------|------|-------|
| ユニット | EP | JP | 1 | [1] |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | |
| 1 | 360W | 6 | 360W | 全消去 |
| 2 | 360W | 7 | 360W | [決定] |
| 3 | 360W | 8 | 360W | JP 選択 |
| 4 | 360W | 9 | 360W | [戻る] |
| 5 | 360W | 10 | 360W | 戻る |

←○または○▶でユニット選択
決定
○で「JP 選択」へ移動

| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 | | | | |
|--------------------|------|------|------|--------|
| ユニット | EP | JP | ◀1▶ | [1] |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | |
| 1 | 360W | 6 | 360W | 全消去 |
| 2 | 360W | 7 | 360W | [決定] |
| 3 | 360W | 8 | 360W | 回線選択 |
| 4 | 360W | 9 | 360W | [戻る] |
| 5 | 360W | 10 | 360W | ユニット選択 |

3 ←○または○▶で番号選択
決定
○

| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 | | | | |
|--------------------|------|------|------|-------|
| ユニット | EP | JP | 1 | [1] |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | |
| 1 | 360W | 6 | 360W | 全消去 |
| 2 | 360W | 7 | 360W | [決定] |
| 3 | 360W | 8 | 360W | 編集 |
| 4 | 360W | 9 | 360W | [戻る] |
| 5 | 360W | 10 | 360W | JP 選択 |

5 ↑○ ↓○ ←○ ○▶で項目選択
決定
○で編集可能に

次ページへ

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(P. 42) で「2 回線初期値確認・編集」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「JP 選択」に移動します。

3 左右シフトキーで JP 番号を選択する。

4 決定キーを押す。

カーソルが「回線番号選択」に移動します。

5 上下左右シフトキーで設定項目を選択する。

6 決定キーを押す。

前ページから



| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 | | | | |
|--------------------|------|------|------|---------------|
| ユニット | EP | JP | 1 | |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | [0-9] 数値入力 |
| 1 | 360W | 6 | 360W | [決定] |
| 2 | 360W | 7 | 360W | セット |
| 3 | 360W | 8 | 360W | [戻る] |
| 4 | 360W | 9 | 360W | キャンセル |
| 5 | 360W | 10 | 360W | |

◀○または○▶で初期値選択

または ○0~○9 で数値入力

8 決定 ○ で内容確定

5~8を繰り返す

10 戻る ○ で JP 選択に戻る

| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 | | | | |
|--------------------|------|------|------|--------|
| ユニット | EP | JP | ◀1▶ | [1] |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | 全消去 |
| 1 | 180W | 6 | 360W | [決定] |
| 2 | 360W | 7 | 360W | 回線選択 |
| 3 | 360W | 8 | 360W | [戻る] |
| 4 | 360W | 9 | 360W | ユニット選択 |
| 5 | 360W | 10 | 360W | |

3~10を繰り返す

12 戻る ○ でユニット選択に戻る

| 1-3-7-2 回線初期値確認・編集 | | | | |
|--------------------|------|------|------|-------|
| ユニット | ◀EP▶ | JP | 1 | [1] |
| 回線番号 | 初期値 | 回線番号 | 初期値 | 全消去 |
| 1 | 180W | 6 | 360W | [決定] |
| 2 | 360W | 7 | 360W | JP 選択 |
| 3 | 360W | 8 | 360W | [戻る] |
| 4 | 360W | 9 | 360W | 戻る |
| 5 | 360W | 10 | 360W | |

1~12を繰り返す

回線インピーダンス初期値編集完了

● 回線インピーダンスの初期値を確認するとき

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(P. 42) で「2 回線初期値確認・編集」決定時に前キーまたは次キーを押すか、編集の手順と同様の操作で画面を遷移させ、設定変更をしなければ、初期値の確認のみ行えます。

×モ

以下の状態のとき、初期値は次のように表示されます。

- 回線がオープン状態となっているとき：「1W 未満」
- 回線が過負荷状態となっているとき：「OVER」

初期値が編集できるようになります。

7 左右シフトキーで初期値を選択するか、数字キーで数値を入力する。

8 決定キーを押す。

9 手順5~8を必要なだけ繰り返す。

10 戻るキーを押す。

「JP 選択」に戻ります。

11 手順3~10を必要なだけ繰り返す。

12 戻るキーを押す。

「ユニット選択」に戻ります。

13 手順1~12を必要なだけ繰り返す。

■ 回線初期値点検 (1-3-7-3)

スピーカー回線のインピーダンス値が適切な値に設定されているか、テストトーンを出力して確認をします。5回線単位でスピーカー回線の指定ができます。

● すべてのスピーカー回線の点検を行う場合 (全スピーカーから音を出して良い場合)

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | | | | | | | | | |
|--|-------|--------|--------|-------|--------|--------|---|---|---|---|---|
| ユニット | ◀EP▶ | JP | 1 | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>1- 5</td> <td>6- 10</td> <td>11- 15</td> <td>16- 20</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table> | | | 1- 5 | 6- 10 | 11- 15 | 16- 20 | ● | ● | ● | ● | [1] 全回線解除 [決定] JP 選択 [戻る] 戻る |
| 1- 5 | 6- 10 | 11- 15 | 16- 20 | | | | | | | | |
| ● | ● | ● | ● | | | | | | | | |
| [0] 点検開始 | | | | | | | | | | | |



| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|--|--|--|----------------------------|
| 確認 回線初期値点検中は全放送が停止します。取得を開始しますか？ [決定]: 点検開始 [戻る]: 前ページに戻る | | | [決定] 点検開始 [戻る] 戻る |



| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|------------------|--|--|--|
| 確認 回線初期値点検中です | | | |



(異常がない場合)

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|-------------------------|--|--|------------|
| 確認 回線初期値点検が正常に終了しました | | | [戻る] 戻る |

(異常があった場合)

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|-------------------|----|----|------------|
| 以下の回線で短絡検知が動作しました | | | |
| ユニット | JP | 回線 | 取得値 |
| EP | 1 | 1 | 360W |
| EP | 1 | 2 | 0W |
| EP | 1 | 3 | 0W |
| EP | 1 | 4 | 0W |
| | | | [戻る] 戻る |

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(P. 42)で「3 回線初期値点検」決定時

初期設定ではすべてのスピーカー回線が選択された状態になっています。

1 [0] キーを押す。

確認ダイアログが表示されます。

2 決定キーを押す。

測定が開始されます。

すべてのスピーカー回線について点検します。

点検の結果、異常がなかったときは左に示す表示がされません。

異常があったときは、左のような表示がされますので回線インピーダンスが正しくなるように修正してください。

● スピーカー回線を選択して点検を行う場合（一部のスピーカーのみ音を出して良い場合）

一部のスピーカーのみ音を出して良い場合は、スピーカー回線を選択して点検できます。
 以下のように、スピーカー回線を選択した後で回線インピーダンスの点検を行ってください。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|--------------------------------|-----------------|------|
| ユニット | スピーカー回線が接続されたユニットを選択。 | EP*1、EX1～13*2 | — |
| JP | 選択したユニットに接続されているジャンクションパネルを選択。 | (設定された JP 番号*3) | — |
| 回線 | スピーカー回線の選択状態を設定。 | (選択、未選択) | (選択) |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は1台目の非常系統拡張パネルを表します。

*3 「1-2-6 ジャンクションパネル設定」(P. 27) で表示されている「No.」です。「No. 1」はID (アドレス設定)「00」、
 「No. 2」はアドレス設定「01」、…のようになっています。

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | | | | | | | | | |
|--|------|-------|-------|------|-------|-------|---|---|---|---|---|
| ユニット | ◀EP▶ | JP | 1 | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>1-5</td> <td>6-10</td> <td>11-15</td> <td>16-20</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table> | | | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | ● | ● | ● | ● | [1] 全回線解除 [決定] JP 選択 [戻る] 戻る |
| 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | | | | | | | | |
| ● | ● | ● | ● | | | | | | | | |
| [0] 点検開始 | | | | | | | | | | | |

1 ↓ ◯ または ◯▶ でユニット選択
 ↓ 決定
 ↓ ◯ で「JP 選択」へ移動

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | | | | | | | | | |
|--|------|-------|-------|------|-------|-------|---|---|---|---|--|
| ユニット | EP | JP | ◀1▶ | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>1-5</td> <td>6-10</td> <td>11-15</td> <td>16-20</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table> | | | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | ● | ● | ● | ● | [1] 全回線解除 [決定] 回線選択 [戻る] ユニット選択 |
| 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | | | | | | | | |
| ● | ● | ● | ● | | | | | | | | |
| [0] 点検開始 | | | | | | | | | | | |

3 ↓ ◯ または ◯▶ で番号選択
 ↓ 決定
 ↓ ◯

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | | | | | | | | | |
|--|------|-------|-------|------|-------|-------|---|---|---|---|---|
| ユニット | EP | JP | 1 | | | | | | | | |
| <table border="1"> <tr> <td>1-5</td> <td>6-10</td> <td>11-15</td> <td>16-20</td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </table> | | | 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | ● | ● | ● | ● | [1] 全回線解除 [決定] 回線選択 [戻る] JP 選択 |
| 1-5 | 6-10 | 11-15 | 16-20 | | | | | | | | |
| ● | ● | ● | ● | | | | | | | | |
| [0] 点検開始 | | | | | | | | | | | |

5 ↓ ◯ ◯▶ で項目選択

6 ↓ ◯

7 ↓ 5と6を繰り返す

↓ 次ページへ

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(P. 42) で「3 回線初期値点検」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「JP 選択」に移動します。

3 左右シフトキーで JP 番号を選択する。

4 決定キーを押す。

スピーカー回線が選択可能になります。

5 左右シフトキーで設定項目を選択する。

☒ ☐

[1] キーを押すとすべてのスピーカー回線を点検対象から外します。

6 決定キーを押す。

「●」マークが設定されている場合は「●」マークが削除され点検対象から外されます。

「●」マークが設定されていない場合は「●」マークが追加され点検対象になります。

7 手順5と6を必要なだけ繰り返す。

前ページから

戻る
○ で JP 選択に戻る

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|-----------------|-------|--------|--------|
| ユニット | EP | JP | ◀ 1 ▶ |
| 1- 5 | 6- 10 | 11- 15 | 16- 20 |
| | ● | ● | ● |
| [0] 点検開始 | | | |

[1]
 全回線解除
 [決定]
 回線選択
 [戻る]
 ユニット選択

3 ~ 7 を繰り返す

10 戻る
○ でユニット選択に戻る

1 ~ 10 を繰り返す

0
○

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|--|--|--|----------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 確認 回線初期値点検中は全放送が停止します。取得を開始しますか？ [決定]: 点検開始 [戻る]: 前ページに戻る </div> | | | [決定] 点検開始 [戻る] 戻る |
| [0] 点検開始 | | | |

決定
○

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|--|--|--|----------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 確認 回線初期値点検中です </div> | | | [決定] 点検開始 [戻る] 戻る |
| [0] 点検開始 | | | |

(異常がない場合)

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|---|--|--|------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 確認 回線初期値点検が正常に終了しました </div> | | | [戻る] 戻る |
| [0] 点検開始 | | | |

(異常があった場合)

| 1-3-7-3 回線初期値点検 | | | |
|-------------------|----|----|------------|
| 以下の回線で短絡検知が動作しました | | | |
| ユニット | JP | 回線 | 取得値 |
| EP | 1 | 1 | 360W |
| EP | 1 | 2 | 0W |
| EP | 1 | 3 | 0W |
| EP | 1 | 4 | 0W |
| | | | [戻る] 戻る |

8 戻るキーを押す。

「JP 選択」に戻ります。

9 手順 3 ~ 7 を必要なだけ繰り返す。

10 戻るキーを押す。

「ユニット選択」に戻ります。

11 手順 1 ~ 10 を必要なだけ繰り返す。

12 [0] キーを押す。

確認ダイアログが表示されます。

13 決定キーを押す。

測定が開始されます。

すべてのスピーカー回線について点検します。

点検の結果、異常がなかったときは左に示す表示がされます。

異常があったときは、左のような表示がされますので回線インピーダンスが正しくなるように修正してください。

詳細については、当社営業所へお問い合わせください。

■ パイロットトーン設定 (1-3-7-4)

スピーカー回線のインピーダンス取得時のパイロットトーンの周波数が選択できます。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|------------------|------------|-------|
| 周波数 | パイロットトーンの周波数を設定。 | 400Hz、1kHz | 400Hz |

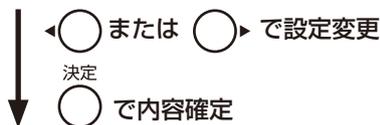
1-3-7-4 パイロットトーン設定

| | |
|--|---------------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between;"> 周波数 400Hz </div> | <p>[決定] 編集</p> <p>[戻る] 戻る</p> |
|--|---------------------------------------|



1-3-7-4 パイロットトーン設定

| | |
|--|---|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between;"> 周波数 ◀400Hz▶ </div> | <p>[決定] セット</p> <p>[戻る] キャンセル</p> |
|--|---|



パイロットトーン設定完了

「1-3-7 回線初期値設定・点検」(P. 42) で「4 パイロットトーン設定」決定時

1 決定キーを押す。

編集可能になります。

2 左右シフトキーで設定を変更する。

3 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

■ 回線グループ設定 (1-3-8)

複数のスピーカー回線および1つの制御出力を1つの回線グループとして登録します。スピーカー回線のみまたは制御出力のみ登録することもできます。500グループまで登録できます。

ここで設定したグループを放送階選択スイッチ、通常・緊急一斉スイッチなどに割り当てることによって、登録されている複数回線に一斉に放送したり、制御出力を起動したりすることができます。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|---|---|---------------|
| グループ番号 | 回線グループ番号を選択。 | 1～500*1 | — |
| 制御出力 | 非常用操作パネル、業務用リモコン RM-500、非常システム拡張パネル、またはプリアンプマトリクスパネルの制御出力を選択。 | 未使用、EP-1、EP-2、業務 RM1～業務 RM8、EX1-1～EX13-2、PM1-1～PM3-10*2 | 未使用 |
| 回線番号 | 回線番号を選択。 | 1～640 | グループ番号と同じ回線番号 |

*1 グループ番号 500 は、全回線選択で固定されており、変更できません。

*2 例えば「EP-1」は非常用操作パネルの制御出力端子1、「業務 RM1」は1台目(アドレススイッチの設定が「00」)の業務用リモコンの制御出力端子、「EX1-1」は1台目(アドレススイッチの設定が「00」)の非常システム拡張パネルの制御出力端子1、「PM1-1」は1台目(アドレススイッチの設定が「00」)のプリアンプマトリクスパネルの制御出力端子1を表します。

■ ご注意

制御出力のみを回線グループとして登録することはできますが、制御出力のみを割り当て、スピーカー回線を割り当てていない回線グループは、一斉 SW 設定「1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定」(P. 63)、「1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定」(P. 65)、「1-4-2-4-3 一斉 SW 設定」(P. 74)、および「1-4-5 制御入力設定」(P. 81)で各スイッチまたは制御入力に割り当てることはできません。

■ EL 制御設定 (1-3-9)

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) の制御についての設定および確認をします。

| 1-3-9 EL 制御設定 | |
|--|----------------------------|
| 1 EL モード設定 2 EL グループ割り当て設定 3 EL 設定確認 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-3 非常放送設定」(P. 30) で「9 EL 制御設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|-----------------|-----------------|
| 1 EL モード設定 | 下記 (1-3-9-1) |
| 2 EL グループ割り当て設定 | P. 53 (1-3-9-2) |
| 3 EL 設定確認 | P. 53 (1-3-9-3) |



各設定項目の参照先へ

■ EL モード設定 (1-3-9-1)

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) の制御についてのモードを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|--|---------|------|
| EL モード | ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) を個別で行うか、グループで行うかを選択。 | 個別、グループ | 個別 |

× モ

1つの階に対して音声警報の階情報を変えることなどを目的として複数の階別信号が接続されている場合に EL グループを使用します。

複数の階別信号を 1つの EL グループに割り付けると、非常放送用途に設定されたいすれかの階別信号が ON になると、同じ放送階選択スイッチの出火階表示灯が点灯し、それらの放送階選択スイッチに設定されたスピーカー回線に放送がされます。

EL グループ内の注意喚起放送用途に設定された階別信号が ON になった場合、その階の放送階選択スイッチの作動表示灯が点灯し、そのスイッチに設定されたスピーカー回線に放送がされます。

EL グループ内の非常放送用途に設定されたいすれかの階別信号が ON になった場合、同じ EL グループ内の注意喚起放送用途に設定された階別信号が ON になったとしても、非常放送を継続します。

| 1-3-9-1 EL モード設定 | |
|------------------|--------------------------|
| EL モード 個別 | [決定] 編集 [戻る] 戻る |

「1-3-9 EL 制御設定」(前項) で「1 EL モード設定」決定時

1 決定キーを押す。



編集可能になります。

2 左右シフトキーでモードを選択する。

| 1-3-9-1 EL モード設定 | |
|------------------|------------------------------|
| EL モード ◀ 個別 ▶ | [決定] セット [戻る] キャンセル |

3 決定キーを押す。

× モ

「グループ」を選択した場合は、戻るボタンを押して、「1-3-9 EL 制御設定」(前項)に戻り、「2 EL グループ割り当て設定」を選択して、EL グループを割り当ててください。



EL モード設定完了

■ EL グループ割り当て設定 (1-3-9-2)

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) に EL グループを割り当てます。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|---|-----------------|---|
| EL グループ | ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) に EL グループ番号を登録。 | EL グループ 1 ~ 640 | EL 番号 : 1 はグループ 1、 EL 番号 : 2 はグループ 2、... |

ご注意

「1-3-9-1 EL モード設定」(P. 52) が「個別」に設定されているときは、編集できません。閲覧のみ可能です。

1-3-9-2 EL グループ割り当て設定

| EL 番号 | EL グループ | |
|-------|-----------|-----------|
| 1 | EL グループ 1 | [前/次] 改画面 |
| 2 | EL グループ 2 | [決定] |
| 3 | EL グループ 3 | 編集 |
| 4 | EL グループ 4 | [戻る] |
| 5 | EL グループ 5 | 戻る |

1 ↓ または で EL 番号選択
決定 で編集可能に

1-3-9-2 EL グループ割り当て設定

| EL 番号 | EL グループ | |
|-------|---------------|----------|
| 1 | EL グループ 1 | |
| 2 | ◀ EL グループ 2 ▶ | [決定] セット |
| 3 | EL グループ 3 | [戻る] |
| 4 | EL グループ 4 | キャンセル |
| 5 | EL グループ 5 | |

4 ↓ または で EL グループ選択
決定 で設定変更

1-3-9-2 EL グループ割り当て設定

| EL 番号 | EL グループ | |
|-------|---------------|----------|
| 1 | EL グループ 1 | |
| 2 | ◀ EL グループ 1 ▶ | [決定] セット |
| 3 | EL グループ 3 | [戻る] |
| 4 | EL グループ 4 | キャンセル |
| 5 | EL グループ 5 | |

! 1 ~ 4 を繰り返す

EL グループ割り当て設定完了

■ EL 設定確認 (1-3-9-3)

ジャンクションパネルの各階別信号入力端子 (EL) への入力により選択されるスピーカー回線を確認できます。

1-3-9-3 EL 設定確認

| EL 回線 | EL 回線 | EL 回線 | EL 回線 |
|-------|-------|-------|-------|
| 1 1 | 6 6 | 11 11 | 16 16 |
| 2 2 | 7 7 | 12 12 | 17 17 |
| 3 3 | 8 8 | 13 13 | 18 18 |
| 4 4 | 9 9 | 14 14 | 19 19 |
| 5 5 | 10 10 | 15 15 | 20 20 |

「1-3-9 EL 制御設定」(P. 52) で「2 EL グループ割り当て設定」決定時

1 上下シフトキーで「EL 番号」を選択する。

2 決定キーを押す。

編集可能になります。

3 左右シフトキーで「EL グループ番号」を選択する。

4 決定キーを押す。

EL グループ番号が変更されます。

5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、すべての EL 番号に任意の EL グループ番号を割り当てる。

「1-3-9 EL 制御設定」(P. 52) で「3 EL 設定確認」決定時

手順 : 上下シフトキーで前画面または次画面に移動し、設定内容を確認する。

- 回線グループ割り当てになっている場合は、回線欄に「G1」のように表示されます。
- 1つの EL に複数のスピーカー回線が割り当てられている場合は、回線欄に「…」のように表示されます。
- スピーカー回線が割り当てられていない場合は、回線欄に「---」のように表示されます。

■ 機器制御・通信設定 (1-4)

1-4 機器制御・通信設定

- 1 音声入力設定
- 2 SW 設定
- 3 EV 放送設定
- 4 ファンクション SW 設定
- 5 制御入力設定
- 6 制御出力設定
- 7 FS LAN 通信設定

[決定]
項目決定
[戻る]
戻る



各設定項目の参照先へ

「1 システム設定」(P. 14) で「4 機器制御・通信設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|-----------------|---------------|
| 1 音声入力設定 | 下記 (1-4-1) |
| 2 SW 設定 | P. 60 (1-4-2) |
| 3 EV 放送設定 | P. 77 (1-4-3) |
| 4 ファンクション SW 設定 | P. 79 (1-4-4) |
| 5 制御入力設定 | P. 81 (1-4-5) |
| 6 制御出力設定 | P. 85 (1-4-6) |
| 7 FS LAN 通信設定 | P. 87 (1-4-7) |

■ 音声入力設定 (1-4-1)

1-4-1 音声入力設定

- 1 外部放送音声入力設定
- 2 音声入力接続設定
- 3 ミックスバス設定
- 4 ミュート設定

[決定]
項目決定
[戻る]
戻る



各設定項目の参照先へ

「1-4 機器制御・通信設定」(上記) で「1 音声入力設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|--------------|-----------------|
| 1 外部放送音声入力設定 | P. 54 (1-4-1-1) |
| 2 音声入力接続設定 | P. 55 (1-4-1-2) |
| 3 ミックスバス設定 | P. 58 (1-4-1-3) |
| 4 ミュート設定 | P. 59 (1-4-1-4) |

■ 外部放送音声入力設定 (1-4-1-1)

非常用操作パネルに設けられている外部放送音声入力の用途を設定します。設定項目は以下のとおりです。

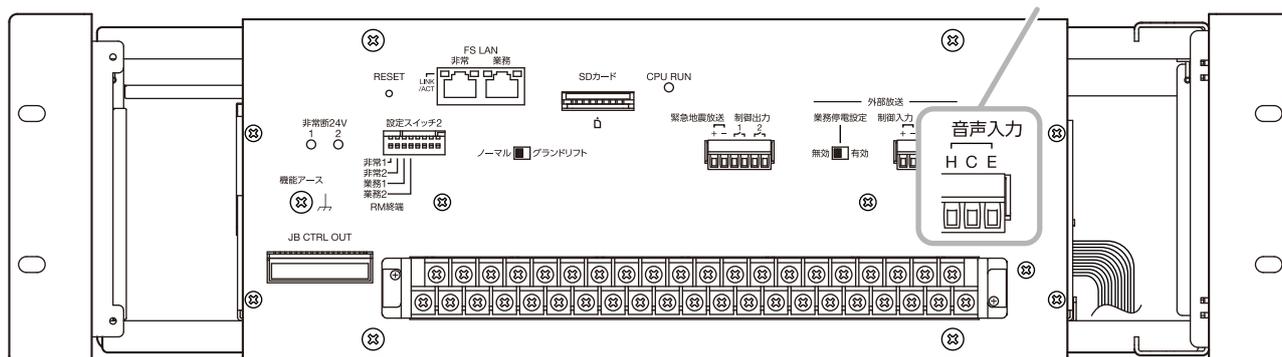
| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* | 初期設定 |
|------|-----------------|---------------------|------------|
| 用途 | 外部放送音声入力の用途を選択。 | 本体マイクとミックス、ミックスバス 4 | 本体マイクとミックス |

* 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|------------|---|
| 本体マイクとミックス | 外部放送入力は、常に本体マイクとミックスして放送されます。 |
| ミックスバス 4 | 外部放送入力とは独立した音声入力として放送されます。ミックスバス 4 は外部放送入力とプリアンプマトリクスパネルでの共用なので、この部分をミックスバス 4 に設定すると、プリアンプマトリクスパネルでミックスバス 4 は使用できません。 ミックスバスの詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送」をお読みください。 |

FS-A2500EP 端子部

外部放送音声入力端子



1-4-1-1 外部放送音声入力設定

| | |
|----------------------|--------------------------|
| 用途 本体マイクとミックス | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
|----------------------|--------------------------|

↓ 決定
○ で編集可能に

1-4-1-1 外部放送音声入力設定

| | |
|--------------------------|------------------------------|
| 用途 ◀ 本体マイクとミックス ▶ | [決定] セット [戻る] キャンセル |
|--------------------------|------------------------------|

← ○ または ○ ▶ で用途選択
↓ 決定
○

外部放送音声入力設定完了

「1-4-1 音声入力設定」(P. 54) で「1 外部放送音声入力設定」決定時

1 決定キーを押す。

「用途」が編集できるようになります。

2 左右シフトキーで用途を選択する。

3 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

■ 音声入力接続設定 (1-4-1-2)

1-4-1-2 音声入力接続設定

| | |
|-------------------------------|----------------------------|
| 1 PM 音声入力接続 2 業務 RM 音声入力接続 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
|-------------------------------|----------------------------|

↓ 決定
○ または ○ + ○

各設定項目の参照先へ

「1-4-1 音声入力設定」(P. 54) で「2 音声入力接続設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|----------------|-------------------|
| 1 PM 音声入力接続 | P. 55 (1-4-1-2-1) |
| 2 業務 RM 音声入力接続 | P. 57 (1-4-1-2-2) |

■ PM 音声入力接続 (1-4-1-2-1)

プリアンプマトリクスパネルの音声入力に何を接続するかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------------|------------------------------|-----------------------------|---|
| ユニット | プリアンプマトリクスパネルを選択。 | PM1 *1、PM2 *1、PM3 *1 | — |
| ミックスバス・個別*2 | 個別かミックスバスかを音声入力端子1～8それぞれに設定。 | 外部音源、接点式 RM、業務 RM、ミックスバス1～4 | PM1 入力：ミックスバス 1 PM2 入力：ミックスバス 2 PM3 入力：ミックスバス 3 |

*1 例えば「PM1」は1台目のプリアンプマトリクスパネルを表します。

*2 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|-----------|---|
| 外部音源 | 外部音源を接続します。 |
| 接点式 RM | 接点式リモコンを接続します。入力1～4に対してのみ設定可能です。 |
| 業務 RM | 業務用リモコンを接続します。入力1～4に対してのみ設定可能です。 |
| ミックスバス1～4 | プリアンプマトリクスパネルの入力1～8をミックスして出力します。1つのミックスバスに複数のプリアンプマトリクスパネルの音声入力や、プリアンプマトリクスパネルと FS-A2500EP の外部放送入力を割り付けることはできません。 |

| 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続 | |
|---------------------|-----------|
| ユニット | ◀PM1▶ |
| 入力 | ミックスバス・個別 |
| 1 | ミックスバス 1 |
| 2 | ミックスバス 1 |
| 3 | ミックスバス 1 |
| 4 | ミックスバス 1 |

[決定]
用途選択
[戻る]
戻る

1 ↓ ◯ または ◯▶ でユニット選択
決定
◯ で「用途選択」へ移動

| 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続 | |
|---------------------|-----------|
| ユニット | PM1 |
| 入力 | ミックスバス・個別 |
| 1 | ミックスバス 1 |
| 2 | ミックスバス 1 |
| 3 | ミックスバス 1 |
| 4 | ミックスバス 1 |

[前/次]
改画面
[決定]
編集
[戻る]
PM 選択

3 ↓ ◯ または ◯▶ で入力選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続 | |
|---------------------|------------|
| ユニット | PM1 |
| 入力 | ミックスバス・個別 |
| 1 | ◀ミックスバス 1▶ |
| 2 | ミックスバス 1 |
| 3 | ミックスバス 1 |
| 4 | ミックスバス 1 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

6 ↓ ◯ または ◯▶ で設定変更
決定
◯ で内容確定
3～6を繰り返す

| 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続 | |
|---------------------|-----------|
| ユニット | PM1 |
| 入力 | ミックスバス・個別 |
| 1 | 接点式 RM |
| 2 | 業務 RM |
| 3 | ミックスバス 1 |
| 4 | 外部音源 |

[前/次]
改画面
[決定]
編集
[戻る]
PM 選択

8 ↓ ◯^{戻る} でユニット選択に戻る

| 1-4-1-2-1 PM 音声入力接続 | |
|---------------------|-----------|
| ユニット | ◀PM1▶ |
| 入力 | ミックスバス・個別 |
| 1 | 接点式 RM |
| 2 | 業務 RM |
| 3 | ミックスバス 1 |
| 4 | 外部音源 |

[決定]
用途選択
[戻る]
戻る

1～8を繰り返す

PM 音声入力接続設定完了

「1-4-1-2 音声入力接続設定」(P. 55)で「1 PM 音声入力接続」決定時

1 左右シフトキーでユニットを選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「ミックスバス・個別 (用途選択)」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

用途が選択可能になります。

5 左右シフトキーで用途を選択する。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

7 手順3～6を繰り返し、すべての入力の用途を設定する。

8 戻るキーを押す。

ユニット選択に戻ります。

9 手順1～8を繰り返し、すべてのプリアンプマトリクスパネルの用途を設定する。

■ 業務 RM 音声入力接続 (1-4-1-2-2)

業務用リモコンの音声をどこに接続するかを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|-----------------|---|------------------------------|
| 接続先 | 業務用リモコンの接続先を選択。 | 本体*1、PM1 音声入力 1 ~ PM1 音声入力 4、PM2 音声入力 1 ~ PM2 音声入力 4、PM3 音声入力 1 ~ PM3 音声入力 4*2、なし | ID00 ~ 03：本体 ID04 ~ 07：なし |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 例えば「PM1 音声入力 1」は 1 台目のプリアンプマトリクスパネルの音声入力端子 1 を表します。
「1-4-1-2-1 PM 音声入力接続」(P. 55) で「業務 RM」に設定された音声入力のみ選択できます。

ご注意

- 業務用リモコンの音声入力接続先は、必ず本体またはプリアンプマトリクスパネルの音声入力端子に設定してください。
接続先が「なし」に設定された業務用リモコンがあると、設定を終了できません。
- 本体またはプリアンプマトリクスパネルの 1 つの音声入力端子に接続する業務用リモコンが 4 台以下となるように設定してください。
同じ接続先に設定された業務用リモコンが 5 台以上あると、設定を終了できません。
- 業務用リモコンを 5 台以上使用する場合に設定範囲に PM が表示されていないときは、「1-2-1 構成設定 (本体・PM・EX) (P. 17) で機器構成にプリアンプマトリクスパネルを追加した上、「1-4-1-2-1 PM 音声入力接続」(P. 55) で業務用リモコンを接続するプリアンプマトリクスパネルの音声入力端子を「業務 RM」に設定してください。

| 1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続 | | |
|------------------------|---------|-----|
| ID | 機種 | 接続先 |
| 00 | RM-200F | 本体 |
| 01 | RM-200F | 本体 |
| 02 | RM-200F | 本体 |
| 03 | RM-200F | 本体 |

[前/次] 改画面
[決定]
[編集]
[戻る]
戻る

- 1 ↓ ○ または ○ で業務 RM 選択
決定
○ で編集可能に

| 1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続 | | |
|------------------------|---------|--------|
| ID | 機種 | 接続先 |
| 04 | RM-200F | ◀ なし ▶ |
| 05 | RM-200F | なし |
| 06 | RM-200F | なし |
| 07 | RM-200F | なし |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 4 ↓ ◀ ○ または ○ ▶ で設定変更
決定
○
繰り返す
↓
業務 RM 音声入力接続設定完了

「1-4-1-2 音声入力接続設定」(P. 55) で「2 業務 RM 音声入力接続」決定時

- 1 上下シフトキーで項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。

「接続先」が編集できるようになります。

- 3 左右シフトキーで接続先を選択する。
- 4 決定キーを押す。

- 5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、すべての業務用リモコンの接続先を設定する。

■ ミックスバス設定 (1-4-1-3)

| 1-4-1-3 ミックスバス設定 | |
|------------------------------|----------------------------|
| 1 ミックスバス用途設定 2 ミックスバス制御設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-4-1 音声入力設定」(P. 54) で「1 ミックスバス設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|--------------|-------------------|
| 1 ミックスバス用途設定 | 下記 (1-4-1-3-1) |
| 2 ミックスバス制御設定 | P. 59 (1-4-1-3-2) |



各設定項目の参照先へ

■ ミックスバス用途設定 (1-4-1-3-1)

ミックスバス 1～4*1の用途を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲*2 | 初期設定 |
|------|---|--------|-----------|
| 用途 | ミックスバスの用途を選択。業務(放送階選択)、業務(制御入力)、BGM1～4、外部制御 | | 業務(放送階選択) |

*1 ミックスバスの詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送」をお読みください。

*2 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|-----------|--|
| 業務(放送階選択) | 用途を「業務」または「兼用」に設定した放送階選択スイッチから起動できます。 |
| 業務(制御入力) | 業務放送として、制御入力から起動できます。 |
| BGM1～4 | 用途を「BGM1～4」に設定した放送階選択スイッチまたは用途を「BGM放送」に設定した制御入力から起動できます。用途が同じBGM番号に設定されたミックスバス放送は、それらの優先度や業務放送動作設定に従ってミキシングして放送されます。 |
| 外部制御 | 外部通信制御により起動できます。 |

| 1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定 | | |
|----------------------|-----------|--------------------------|
| ミックスバス | 用途 | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
| 1 | 業務(放送階選択) | |
| 2 | 業務(放送階選択) | |
| 3 | 業務(放送階選択) | |
| 4 | 業務(放送階選択) | |

「1-4-1-3 ミックスバス設定」(上記) で「1 ミックスバス用途設定」決定時

1 上下シフトキーで項目を選択する。

2 決定キーを押す。

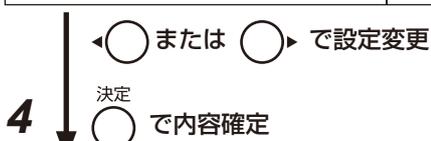


編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

| 1-4-1-3-1 ミックスバス用途設定 | | |
|----------------------|-------------|------------------------------|
| ミックスバス | 用途 | [決定] セット [戻る] キャンセル |
| 1 | ◀業務(放送階選択)▶ | |
| 2 | 業務(放送階選択) | |
| 3 | 業務(放送階選択) | |
| 4 | 業務(放送階選択) | |



5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

繰り返す

ミックスバス用途設定完了

■ ミックスバス制御設定 (1-4-1-3-2)

ミックスバスのミュート制御判定方法を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* | 初期設定 |
|------------|-----------------------|----------------|----------|
| ミュート制御判定方法 | ミックスバスのミュート制御判定方法を選択。 | ミュートトリガー、優先度のみ | ミュートトリガー |

* 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|----------|--|
| ミュートトリガー | ミュートトリガーによるミュート制御が行われている放送の中から、最も優先度が高い放送に従ってミュート制御が行われます。 |
| 優先度のみ | ミュートトリガーによるミュート制御の ON/OFF に関わらず、すべての起動中の放送の中から、最も優先度の高い放送に従ってミュート制御が行われます。 |

1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定

| | |
|--|------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between;"> ミュート制御判定方法 ミュートトリガー </div> | [決定] [編集] [戻る] [戻る] |
|--|------------------------------|

↓ 決定
○ で編集可能に

1-4-1-3-2 ミックスバス制御設定

| | |
|--|----------------------------------|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: flex; justify-content: space-between;"> ミュート制御判定方法 ◀ミュートトリガー▶ </div> | [決定] [セット] [戻る] [キャンセル] |
|--|----------------------------------|

↓ ◀○ または ○▶ でミュート制御判定方法選択
決定
○

ミックスバス制御設定完了

「1-4-1-3 ミックスバス設定」(P. 58) で「2 ミックスバス制御設定」決定時

1 決定キーを押す。

「ミュート制御判定方法」が編集できるようになります。

2 左右シフトキーでミュート制御判定方法を選択する。

3 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

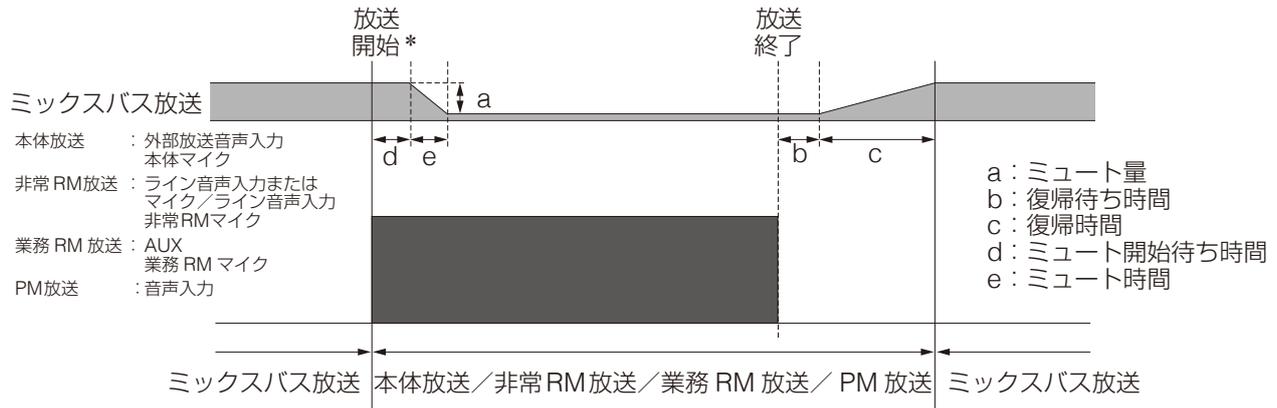
■ ミュート設定 (1-4-1-4)

ミックスバスの音声について、ミュート制御の詳細を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------------|--|-----------------|--------|
| ミックスバス番号 | ミックスバス番号を選択。 | 1 ~ 4 | — |
| ミュート開始待ち時間 | 放送開始から減衰が始まるまでの時間を設定。 | 0 ~ 10 秒 | 0 秒 |
| ミュート時間 | 元のレベルから「ミュート量」で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定。 | 0 ~ 10 秒 | 0 秒 |
| ミュート量 | 放送を開始*したときのミックスバスの減衰量を設定。 | -∞、-50 ~ -10 dB | -40 dB |
| 復帰待ち時間 | 入力信号がなくなった後にミックスバスが元のレベルへ復帰開始するまでの時間を設定。 | 1 ~ 10 秒 | 2 秒 |
| 復帰時間 | ミックスバスが元のレベルへ復帰するまでの時間を設定。 | 0 ~ 10 秒 | 1 秒 |

* 放送開始のタイミングは、各音源のミュートトリガー設定によります。(P. 89 「1-5-1 業務放送動作設定」)

ミュート制御の動作は下図のようになります。



* 放送開始のタイミングは、各音源のミュートトリガー設定によります。(P.89 「1-5-1 業務放送動作設定」)

ご注意

EV 放送および注意喚起放送の場合は、ミュート設定に関係なく、放送開始から終了まで、ミックスバス放送が常にカットされます。

| 1-4-1-4 ミュート設定 | |
|----------------|-------|
| ミックスバス番号 | 1 |
| ミュート開始待ち時間 | 0 秒 |
| ミュート時間 | 0 秒 |
| ミュート量 | -40dB |
| 復帰待ち時間 | 2 秒 |
| 復帰時間 | 1 秒 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

- 1 ↓ または で項目選択
決定
 で編集可能に

| 1-4-1-4 ミュート設定 | |
|----------------|-------|
| ミックスバス番号 | ◀ 1 ▶ |
| ミュート開始待ち時間 | 0 秒 |
| ミュート時間 | 0 秒 |
| ミュート量 | -40dB |
| 復帰待ち時間 | 2 秒 |
| 復帰時間 | 1 秒 |

[0-9]
数値入力
[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 4 ↓ または で設定変更
決定
 で内容確定
繰り返す

ミュート設定完了

SW 設定 (1-4-2)

| 1-4-2 SW 設定 | |
|-------------|----------------------------|
| 1 スイッチ動作設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 本体 | |
| 3 非常 RM | |
| 4 業務 RM | |

- ↓ または +

各設定項目の参照先へ

「1-4-1 音声入力設定」(P.54) で「4 ミュート設定」決定時

- 1 上下シフトキーで項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

- 3 左右シフトキーで設定を変更する。
- 4 決定キーを押す。

- 5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

「1-4 機器制御・通信設定」(P.54) で「2 SW 設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|------------|----------------|
| 1 スイッチ動作設定 | P.61 (1-4-2-1) |
| 2 本体 | P.62 (1-4-2-2) |
| 3 非常 RM | P.65 (1-4-2-3) |
| 4 業務 RM | P.68 (1-4-2-4) |

■ スイッチ動作設定 (1-4-2-1)

一斉スイッチおよび業務放送でグループ登録されている放送階選択スイッチを操作したときの回線制御方法を選択します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|------------|---------------|-------|
| 動作設定 | 回線制御方法を設定。 | 通常モード、独立制御モード | 通常モード |

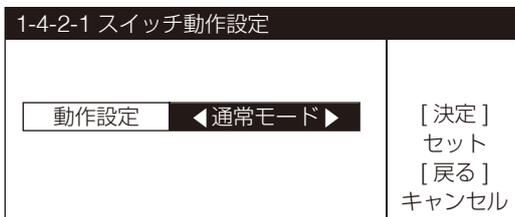
× モ

「通常モード」、「独立制御モード」でグループ登録されている放送階選択スイッチを操作したときの回線制御方法は次のようになります。

| | |
|---------|--|
| 通常モード | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作動表示灯が消灯している放送階選択スイッチを操作したとき その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオンになり、作動表示灯が点灯します。また、登録されているスピーカー回線がすべてオンになった放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。 ・ 作動表示灯が点灯している放送階選択スイッチを操作したとき その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオフになり、作動表示灯が消灯します。また、登録されているスピーカー回線が一部でもオフになった放送階選択スイッチの作動表示灯も消灯します。 <p>スピーカー回線がグループ登録された放送階選択スイッチ操作後に別の放送階選択スイッチを操作して、スピーカー回線の一部キャンセルも可能です。 通常一斉スイッチおよび緊急一斉スイッチもスピーカー回線の登録が可能で、それらの作動表示灯とともにスピーカー回線がグループ登録された放送階選択スイッチと同様に機能します。</p> |
| 独立制御モード | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作動表示灯が消灯している放送階選択スイッチを操作したとき その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオンになり、作動表示灯が点灯します。 「1-5-7 作動表示灯設定」(P. 101)が「通常」の場合は、同時に作動表示灯が点灯する放送階選択スイッチはありません。「回線動作中 ON」の場合は、オンになったスピーカー回線が個別登録されている放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。また、登録されているグループ内のスピーカー回線がすべてオンになった放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。 ・ 作動表示灯が点灯している放送階選択スイッチを操作したとき その放送階選択スイッチに登録されているスピーカー回線がオフになり、作動表示灯が消灯します。ただし、そのスピーカー回線の中で、作動表示灯が点灯している他の放送階選択スイッチにも登録されているものは、オンを継続します。 「1-5-7 作動表示灯設定」(P. 101)が「回線動作中 ON」の場合は、操作の結果、登録されているスピーカー回線がすべてオンである放送階選択スイッチの作動表示灯は点灯します。また、登録されているスピーカー回線が一部でもオフである放送階選択スイッチの作動表示灯は消灯します。 <p>各放送階選択スイッチは独立して制御されるため、通常モードのようなスピーカー回線の一部キャンセルは行えません。 通常一斉スイッチおよび緊急一斉スイッチは業務放送で使用可能な放送階選択スイッチを一度にオンにするスイッチとして働き、放送階選択スイッチに対してのスピーカー回線登録を行えません。また、「1-5-7 作動表示灯設定」(P. 101)が「回線動作中 ON」の場合は作動表示灯も点灯しません。</p> <p>ご注意 一斉選択状態は出力回線グループ番号 500 とは異なり、放送階選択スイッチのいずれかに割り当てられている回線／グループ番号がオンになります。異なる放送階選択スイッチで同じ回線に対する「緊急あり」「緊急なし」の設定が混在する場合は、「緊急あり」の設定が適用されます。</p> |



↓ 決定
○ で編集可能に



↓
スイッチ動作設定完了

■ 本体 (1-4-2-2)



↓ 決定
○ または ○ + ○
各設定項目の参照先へ

「1-4-2 SW 設定」(P. 60) で「1 スイッチ動作設定」決定時

1 決定キーを押す。

編集できるようになります。

2 左右シフトキーで設定を変更する。

3 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

「1-4-2 SW 設定」(P. 60) で「2 本体」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

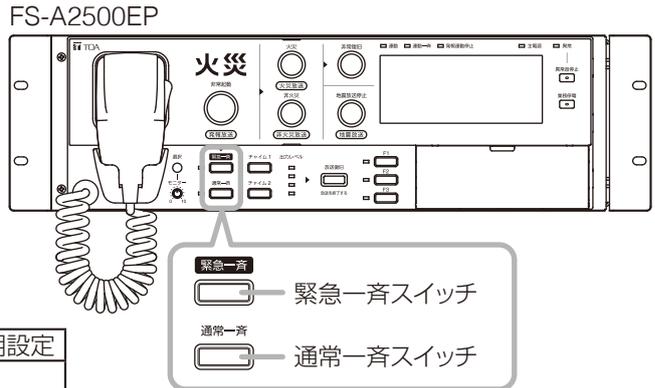
| 設定項目 | 参照先 |
|-----------------|-------------------|
| 1 緊急・通常一斉 SW 設定 | P. 63 (1-4-2-2-1) |
| 2 チャイム SW 設定 | P. 64 (1-4-2-2-2) |

ご注意

「スイッチ動作設定 (1-4-2-1)」(P. 61) で「独立制御モード」に設定した場合、回線は一斉選択に固定となり、「1 緊急・通常一斉 SW 設定」項目は設定できません。

■ 緊急・通常一斉 SW 設定 (1-4-2-2-1)

FS-A2500 本体の緊急一斉放送スイッチおよび通常一斉放送スイッチについて、回線グループ番号を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|---------------|-------|------|
| 回線グループ | 回線グループ番号*を選択。 | 1～500 | 500 |

*「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50) で登録した回線グループ番号のいずれか。

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 61) で「独立制御モード」に設定した場合は、右のように表示されます。回線は一斉選択に固定となり、この項目は設定できません。特定回線に放送したいときは、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」で「通常モード」に変更してください。

| 1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | |
|---|------------|
| 独立制御モード設定です。特定回線に放送する場合は、スイッチ動作設定を通常モードに変更してください。 | [戻る] 戻る |

| 1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | |
|-------------------------|--------|--------------------------|
| スイッチ | 回線グループ | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
| 緊急一斉 | 500 | |
| 通常一斉 | 500 | |

- 1
- または ○ で項目選択
- 決定
- で編集可能に

| 1-4-2-2-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | |
|-------------------------|--------|---|
| スイッチ | 回線グループ | [0-9] 数値入力 [決定] セット [戻る] キャンセル |
| 緊急一斉 | ◀500▶ | |
| 通常一斉 | 500 | |

- 4
- ◀○ または ○▶ で番号選択
- または ○⁰ ~ ○⁹ で数値入力
- 決定
-
- 繰り返す

通常・緊急一斉 SW 設定完了

「1-4-2-2 本体」(P. 62) で「1 緊急・通常一斉 SW 設定」決定時

1 上下シフトキーで項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで番号を選択するか、数字キーで番号を入力する。

ご注意

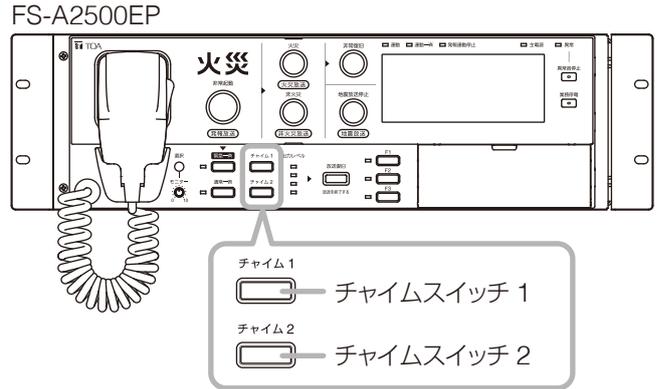
スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

4 決定キーを押す。

5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ チャイム SW 設定 (1-4-2-2-2)

FS-A2500 本体のチャイムスイッチ 1 または、チャイムスイッチ 2 について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|----------|---------------|--|
| 音源番号 | 音源番号を選択。 | 未使用、チャイム 1～4* | チャイムスイッチ 1:チャイム 1 チャイムスイッチ 2:チャイム 2 |

* チャイム音源は以下のとおりです。

| 音源番号 | 音源の内容 |
|--------|--------|
| チャイム 1 | 上り 4 音 |
| チャイム 2 | 下り 4 音 |
| チャイム 3 | 2 音 |
| チャイム 4 | ゴング |

| 1-4-2-2-2 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|--------|
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | チャイム 1 |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

1 または で項目選択
決定 で編集可能に

| 1-4-2-2-2 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|----------|
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | ◀チャイム 1▶ |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

4 または で設定変更
決定
繰り返す

チャイム SW 設定完了

「1-4-2-2 本体」(P.62) で「2 チャイム SW 設定」決定時

- 1 上下シフトキーで項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

- 3 左右シフトキーで設定を変更する。
- 4 決定キーを押す。

- 5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 非常 RM (1-4-2-3)

| 1-4-2-3 非常 RM | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1 緊急・通常一斉 SW 設定 2 チャイム SW 設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-4-2 SW 設定」(P. 60) で「3 非常 RM」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|-----------------|-------------------|
| 1 緊急・通常一斉 SW 設定 | 下記 (1-4-2-3-1) |
| 2 チャイム SW 設定 | P. 67 (1-4-2-3-2) |



各設定項目の参照先へ

ご注意

「スイッチ動作設定 (1-4-2-1)」(P. 61) で「独立制御モード」に設定した場合、回線は一斉選択に固定となり、「1 緊急・通常一斉 SW 設定」項目は設定できません。

■ 緊急・通常一斉 SW 設定 (1-4-2-3-1)

非常用リモコンの緊急一斉放送スイッチおよび通常一斉放送スイッチについて、回線グループ番号を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|-----------------|---------|------|
| 非常 RM 番号 | 非常 RM 番号*1 を選択。 | 1 ~ 16 | — |
| 回線グループ | 回線グループ番号*2 を選択。 | 1 ~ 500 | 500 |

*1 「1-2-2 非常 RM 設定」(P. 18) で登録した「非常 RM」の台数分のみ選択可。

非常 RM 番号は非常用リモコンのアドレススイッチで設定された以下の ID に対応します。

| 非常 RM 番号 | ID (アドレススイッチの設定) | 非常 RM 番号 | ID (アドレススイッチの設定) |
|----------|------------------|----------|------------------|
| 1 | 00 | 11 | 0A |
| 2 | 01 | 12 | 0B |
| ⋮ | ⋮ | ⋮ | ⋮ |
| 10 | 09 | 16 | 0F |

*2 「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50) で登録した回線グループ番号のいずれか。

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 61) で「独立制御モード」に設定した場合は、右のように表示されます。回線は一斉選択に固定となり、この項目は設定できません。特定回線に放送したいときは、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」で「通常モード」に変更してください。

1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定

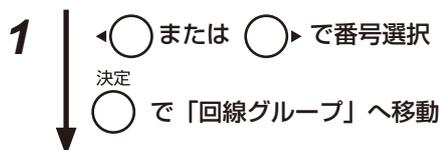
| | |
|---|------------|
| 独立制御モード設定です。特定回線に放送する場合は、スイッチ動作設定を通常モードに変更してください。 | [戻る] 戻る |
|---|------------|

| 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | | | | | | |
|--|------------------------------|--------|------|-----|------|-----|--|
| 非常 RM ◀ 1 ▶ | [決定] スイッチ選択 [戻る] 戻る | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>スイッチ</th> <th>回線グループ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急一斉</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>通常一斉</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> | スイッチ | 回線グループ | 緊急一斉 | 500 | 通常一斉 | 500 | |
| スイッチ | 回線グループ | | | | | | |
| 緊急一斉 | 500 | | | | | | |
| 通常一斉 | 500 | | | | | | |

「1-4-2-3 非常 RM」(上記) で「1 緊急・通常一斉 SW 設定」決定時

1 左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

2 決定キーを押す。



次ページへ

前ページから



| 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | |
|-------------------------|--------|------------|
| 非常 RM | 1 | |
| スイッチ | 回線グループ | [決定] 編集 |
| 緊急一斉 | 500 | [戻る] |
| 通常一斉 | 500 | 非常 RM 選択 |

3 ↓ または で項目選択
決定
 で編集可能に

| 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | |
|-------------------------|--------|------------------------------|
| 非常 RM | 1 | |
| スイッチ | 回線グループ | [0-9] 数値入力 [決定] セット |
| 緊急一斉 | ◀500▶ | [戻る] |
| 通常一斉 | 500 | キャンセル |

6 ↓ または で設定変更
または ~ で数値入力
決定
 で内容確定

3 ~ 6 を繰り返す

| 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | |
|-------------------------|--------|------------|
| 非常 RM | 1 | |
| スイッチ | 回線グループ | [決定] 編集 |
| 緊急一斉 | 200 | [戻る] |
| 通常一斉 | 200 | 非常 RM 選択 |

8 ↓ で非常 RM 番号選択に戻る

| 1-4-2-3-1 緊急・通常一斉 SW 設定 | | |
|-------------------------|--------|----------------|
| 非常 RM | ◀ 1 ▶ | |
| スイッチ | 回線グループ | [決定] スイッチ選択 |
| 緊急一斉 | 200 | [戻る] |
| 通常一斉 | 200 | 戻る |

1 ~ 8 を繰り返す

緊急・通常一斉 SW 設定完了

カーソルが「回線グループ」に移動します。

- 3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 4 決定キーを押す。

回線グループが選択可能になります。

- 5 左右シフトキーで回線グループ番号を選択するか数字キーで番号を入力する。

ご注意

スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

- 6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。
- 7 手順 3 ~ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

- 8 戻るキーを押す。

非常 RM 番号選択に戻ります。

- 9 手順 1 ~ 8 を繰り返し、すべての非常 RM のスイッチを設定する。

■ チャイム SW 設定 (1-4-2-3-2)

非常用リモコンのチャイムスイッチ 1 または、チャイムスイッチ 2 について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|-----------------|------------------|--|
| 非常 RM 番号 | 非常 RM 番号*1 を選択。 | 1 ~ 16 | — |
| 音源番号 | 音源番号を選択。 | 未使用、チャイム 1 ~ 4*2 | チャイムスイッチ 1:チャイム 1 チャイムスイッチ 2:チャイム 2 |

*1 「1-2-2 非常 RM 設定」(P. 18) で登録した「非常 RM」の台数分のみ選択可。

非常 RM 番号と ID の対応については、P. 65 を参照してください。

*2 チャイム音源は FS-A2500 本体と同様です。(P. 64)

| 1-4-2-3-2 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|--------|
| 非常 RM | ◀ 1 ▶ |
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | チャイム 1 |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
SW 番号選択
[戻る]
戻る

- 1** ◀ または ▶ で番号選択
または 0 ~ 9 で数値入力
決定
◯ でチャイム選択へ移動

| 1-4-2-3-2 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|--------|
| 非常 RM | 1 |
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | チャイム 1 |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
編集
[戻る]
非常 RM 選択

- 3** ◀ または ▶ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-4-2-3-2 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|------------|
| 非常 RM | 1 |
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | ◀ チャイム 1 ▶ |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 6** ◀ または ▶ で設定変更
決定
◯
3 ~ 6 を繰り返す

次ページへ

「1-4-2-3 非常 RM」(P. 65) で「2 チャイム SW 設定」決定時

1 左右シフトキーで非常 RM 番号を選択するか、数字キーで番号を入力する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「音源番号」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

音源番号が選択可能になります。

5 左右シフトキーで音源番号を選択する。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

7 手順 3 ~ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

前ページから

1-4-2-3-2 チャイム SW 設定

| | | | |
|-------|--------|--|--------------------------------|
| 非常 RM | 1 | | [決定] 編集 [戻る] 非常 RM 選択 |
| SW 番号 | 音源番号 | | |
| 1 | チャイム 3 | | |
| 2 | 未使用 | | |

8 ↓ で非常 RM 番号選択に戻る

1-4-2-3-2 チャイム SW 設定

| | | | |
|-------|--------|--|-------------------------------|
| 非常 RM | ◀ 1 ▶ | | [決定] SW 番号選択 [戻る] 戻る |
| SW 番号 | 音源番号 | | |
| 1 | チャイム 3 | | |
| 2 | 未使用 | | |

↓ 1～8 を繰り返す

チャイム SW 設定完了

■ 業務 RM(1-4-2-4)

1-4-2-4 業務 RM

| | |
|--|----------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 業務 RM 動作設定 2 回線選択 SW 設定 3 一斉 SW 設定 4 チャイム SW 設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
|--|----------------------------|

↓ または +

各設定項目の参照先へ

「1-4-2 SW 設定」(P. 60) で「4 業務 RM」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|--------------|-------------------|
| 1 業務 RM 動作設定 | 下記 (1-4-2-4-1) |
| 2 回線選択 SW 設定 | P. 72 (1-4-2-4-2) |
| 3 一斉 SW 設定 | P. 74 (1-4-2-4-3) |
| 4 チャイム SW 設定 | P. 76 (1-4-2-4-4) |

■ 業務 RM 動作設定 (1-4-2-4-1)

業務用リモコンの動作を設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|---|------------------|--|
| 業務 RM 番号 | 業務 RM 番号*1 を選択。 | 1～8 | — |
| PTT/LOCK | 業務用リモコンのトークキーを押したときの動作方式を選択。(RM-500、RM-200F のみ選択可) | PTT、LOCK*2 | RM-500、RM-200F：LOCK RM-200FW：PTT (固定) |
| タイムアウト | LOCK 動作設定時に、放送をタイムアウトさせる時間を選択。(PTT 動作設定時は設定不要) | 連続、 1～20 分 | 連続 |
| プリセレクト*3 | 放送開始時にプリセレクト機能を使用するか、使用しないかを選択。(RM-500 のみ設定可) | 使用しない、 使用する*4 | 使用しない |
| 自動復旧*3 | トークキーのオフにより放送を終了するかどうかを選択。(RM-500 のみ設定可) | あり、なし | あり |
| AUX | AUX 入力を使用するかどうかを選択。(RM-500、RM-200F のみ設定可) | 使用しない、 使用する*5 | 使用しない |
| AUX ミュート | AUX 入力を使用する場合、マイク使用時に AUX 入力をミュートするかどうかを設定。(RM-500 のみ設定可) | しない、する | しない |

*1 業務 RM 番号は業務用リモコンのアドレススイッチで設定された以下の ID に対応します。

| 業務 RM 番号 | ID (アドレススイッチの設定) |
|----------|------------------|
| 1 | 00 |
| 2 | 01 |
| 3 | 02 |
| 4 | 03 |

| 業務 RM 番号 | ID (アドレススイッチの設定) |
|----------|------------------|
| 5 | 04 |
| 6 | 05 |
| 7 | 06 |
| 8 | 07 |

*2 RM-500、RM-200F の場合のみ選択可。RM-200FW は PTT に固定。
それぞれの動作は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|------|---|
| PTT | トークキーを押している間だけ放送することができます。キーを離すと放送が終了します。 |
| LOCK | トークキーを押すと放送が開始され、もう一度押すと放送が終了します。 |

*3 RM-500 の場合のみ表示される設定項目。
それぞれの設定により、動作は以下のようになります。

| プリセレクト設定 | プリセレクトの動作 | 自動復旧設定 | 自動復旧の動作 |
|----------|--|--------|--|
| 使用しない | 放送階を選択した時点で放送を開始します。 | あり | トークキーをオフにした時点で放送を終了します。 |
| | | なし | トークキーをオフにしても放送を継続します。 |
| 使用する | 放送階の選択で予備選択状態に移行し、トークキーまたは AUX キーの操作で放送を開始します。 | あり | トークキーまたは AUX キーをオフにすると放送階の予備選択状態に戻ります。 |
| | | なし | トークキーまたは AUX キーをオフにしても放送を継続します。 |

*4 プリセレクトの設定は、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 61) で「独立制御モード」に設定したときは、「使用しない」に固定され、設定できません。先にプリセレクトを「使用する」に設定した上で「独立制御モード」に変更したときも、「使用しない」に書き換えられます。

*5 RM-500 の場合、「使用する」に設定したときは、「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」(P. 69) で詳細について設定できます。

| 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定 | |
|----------------------|-------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ |
| PTT/LOCK | LOCK |
| タイムアウト | 連続 |
| プリセレクト | 使用しない |
| 自動復旧 | あり |
| AUX | 使用する |
| AUX ミュート | する |

[決定]
設定選択
[戻る]
戻る

1 ◀ または ▶ で番号選択
決定
◯ で設定選択へ移動

| 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定 | |
|----------------------|-------|
| 業務 RM | 1 |
| PTT/LOCK | LOCK |
| タイムアウト | 連続 |
| プリセレクト | 使用しない |
| 自動復旧 | あり |
| AUX | 使用する |
| AUX ミュート | する |

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

3 ◯ または ◯ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定 | |
|----------------------|-------|
| 業務 RM | 1 |
| PTT/LOCK | LOCK |
| タイムアウト | 連続 |
| プリセレクト | 使用しない |
| 自動復旧 | あり |
| AUX | 使用する |
| AUX ミュート | する |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

◀ または ▶ で設定変更
決定
◯
6 3～6 を繰り返す

次ページへ

「1-4-2-4 業務 RM」(P. 68) で「1 業務 RM 動作設定」決定時

1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

5 左右シフトキーで設定内容を選択する。

6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

ご注意

RM-500 の場合に、「AUX ミュート」で「する」を選択して決定キーを押したときのみ「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」(P. 70) が表示されるので、AUX ミュートの詳細を設定してください。

7 手順 3～6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

前ページから



| 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定 | | |
|----------------------|-------|------------------------------------|
| 業務 RM | 1 | |
| PTT/LOCK | LOCK | [決定] 編集 [戻る] 業務 RM 選択 |
| タイムアウト | 5分 | |
| プリセレクト | 使用しない | |
| 自動復旧 | あり | |
| AUX | 使用する | |
| AUX ミュート | する | |

8 戻るキーを押す。

8 ↓  で業務 RM 番号選択に戻る

| 1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定 | | |
|----------------------|-------|--------------------------------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ | |
| PTT/LOCK | LOCK | [決定] 設定選択 [戻る] 戻る |
| タイムアウト | 5分 | |
| プリセレクト | 使用しない | |
| 自動復旧 | あり | |
| AUX | 使用する | |
| AUX ミュート | する | |

業務 RM 番号選択に戻ります。

9 手順 1～8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。

↓ 1～8 を繰り返す

業務 RM 動作設定完了

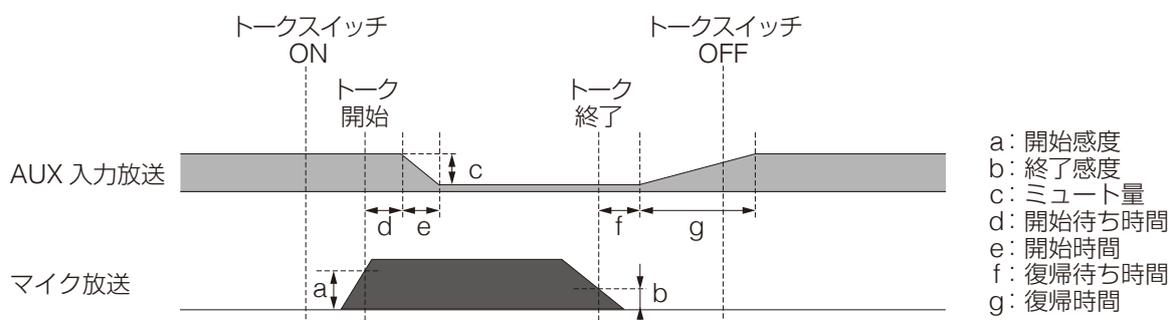
■ 業務 RM AUX ミュート設定 (1-4-2-4-1-1)

RM-500 の場合に AUX 入力を使用するときのみ、AUX ミュートの詳細について設定します。設定項目は以下のとおりです。

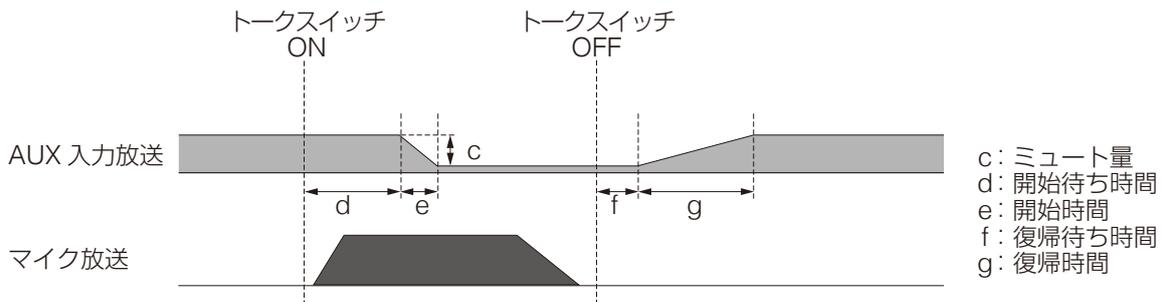
| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|--|---------------------------------|--------|
| トリガー | AUX 入力のミュートトリガーを選択。 | 音声レベル*、トークスイッチ | 音声レベル |
| ミュート量 | マイク放送を開始したときの AUX 入力の減衰量を設定。 | -10 dB ~ -50 dB (1 dB 間隔)、-∞ dB | -40 dB |
| 開始待ち時間 | マイク放送開始から減衰が始まるまでの時間を設定。 | 0 秒 ~ 10 秒 (1 秒間隔) | 0 秒 |
| 開始時間 | 元のレベルから「ミュート量」で設定されたレベルに低下するまでの時間を設定。 | 0 秒 ~ 10 秒 (1 秒間隔) | 0 秒 |
| 復帰待ち時間 | マイク放送が終了した後に AUX 入力の放送音量が元のレベルへ復帰開始するまでの時間を設定。 | 1 秒 ~ 10 秒 (1 秒間隔) | 2 秒 |
| 復帰時間 | AUX 入力の放送音量が元のレベルへ復帰するまでの時間を設定。 | 0 秒 ~ 10 秒 (1 秒間隔) | 1 秒 |

*「音声レベル」に設定したときは、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」(P. 71) で開始感度と終了感度を設定できます。

[ミュート制御の動作 (トリガー：音声レベルの場合)]



[ミュート制御の動作（トリガー：トークスイッチの場合）]



1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定

| | | |
|--------|-------|--------------------------|
| トリガー | 音声レベル | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
| ミュート量 | -40dB | |
| 開始待ち時間 | 0秒 | |
| 開始時間 | 0秒 | |
| 復帰待ち時間 | 2秒 | |
| 復帰時間 | 1秒 | |

[「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」(P. 68) で RM-500 について「AUX ミュート：する」決定時

- 1 上下シフトキーで項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。



選択した部分が編集できるようになります。

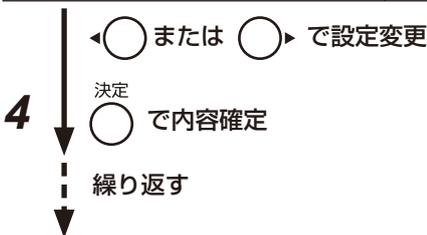
1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定

| | | |
|--------|---------|-------------------------------|
| トリガー | ◀音声レベル▶ | [決定] 感度選択 [戻る] キャンセル |
| ミュート量 | -40dB | |
| 開始待ち時間 | 0秒 | |
| 開始時間 | 0秒 | |
| 復帰待ち時間 | 2秒 | |
| 復帰時間 | 1秒 | |

- 3 左右シフトキーで設定を変更する。
- 4 決定キーを押す。

ご注意

「トリガー」で「音声レベル」に設定したときは感度も設定できます。「音声レベル」を選択して決定キーを押すと、「1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定」(下記)が表示されるので、感度を設定してください。



- 5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

業務 RM AUX ミュート設定完了

■ 業務 RM AUX ミュート感度設定 (1-4-2-4-1-2)

RM-500 の AUX 入力のトリガーが「音声レベル」のときにミュート制御が機能する AUX 入力信号のレベルを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|------------------------------|---------------------------|--------|
| 開始感度 | ミュート制御を開始する AUX 入力信号のレベルを設定。 | -40 dB ~ -1 dB (1 dB 間隔) | -30 dB |
| 終了感度 | ミュート制御を終了する AUX 入力信号のレベルを設定。 | -50 dB ~ -30 dB (1 dB 間隔) | -40 dB |
| 初期化 | 上記 2 つの設定を初期設定の値に戻す。 | 実行 | — |

1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定

| | | |
|------|-------|--------------------------|
| 開始感度 | -30dB | [決定] 編集 [戻る] 戻る |
| 終了感度 | -40dB | |
| 初期化 | 実行 | |

[「1-4-2-4-1-1 業務 RM AUX ミュート設定」(上記) で「ミュート：音声レベル」決定時

- 1 上下シフトキーで項目を選択する。
- 2 決定キーを押す。



次ページへ

前ページから



| 1-4-2-4-1-2 業務 RM AUX ミュート感度設定 | |
|--------------------------------|---------|
| 開始感度 | ◀-30dB▶ |
| 終了感度 | -40dB |
| 初期化 | 実行 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。



「初期化」で「実行」を選択して決定すると、「開始感度」と「終了感度」が初期設定に戻ります。

5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

◀○または○▶で設定変更

4 決定
○で内容確定

繰り返す

業務 RM AUX ミュート感度設定完了

■ 回線選択 SW 設定 (1-4-2-4-2)

業務用リモコンの各回線選択キーについて、用途や通常放送／業務緊急モードの選択、出力回線を設定します。設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲*1 | 初期設定 |
|----------|--------------------------------|-----------|---------------|
| 業務 RM 番号 | 業務 RM 番号*2 を選択。 | 1～8 | — |
| SW 番号 | 回線選択キーの番号*3 を選択。 | 1～最大スイッチ数 | — |
| 用途 | 回線選択キーの用途を選択。 | 業務、未使用 | 業務 |
| 業務緊急 | 通常放送／業務緊急モードを選択。(業務用途設定時のみ選択可) | なし、あり | なし |
| 出力回線 | 出力をする回線について個別／グループを選択。 | 個別、グループ | 個別 |
| 回線番号 | 回線番号または、回線グループの番号を選択。 | 1～最大回線数 | (スイッチ番号と同じ番号) |

*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

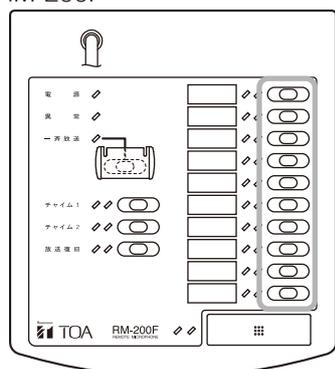
| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|------|------|---|
| 用途 | 業務 | 回線選択キーを業務放送用途で使用します。 |
| | 未使用 | 回線選択キーを使用しません。 |
| 業務緊急 | なし | 通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。 |
| | あり | 業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。 |
| 出力回線 | 個別 | 回線選択キーについて、スピーカー回線を1つ登録します。 |
| | グループ | 回線選択キーについて、回線グループを登録します。 回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50)で行います。 |

*2 業務 RM 番号と ID の対応については、P. 68 を参照してください。

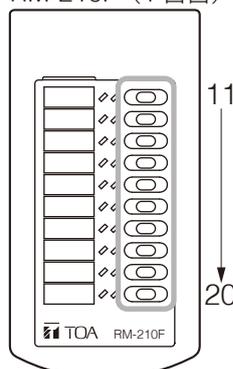
*3 回線選択キーの番号 (SW 番号) は下図のとおりです。

RM-500 の場合は、液晶画面の 1 ページ目がキー番号 1～10、2 ページ目がキー番号 11～20、…のようになります。

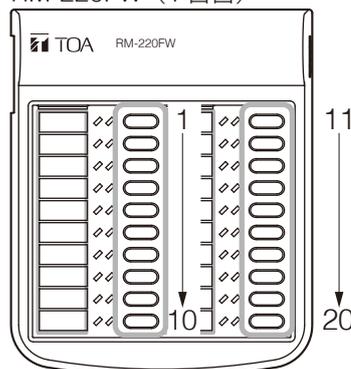
RM-200F



RM-210F (1 台目)



RM-220FW (1 台目)



RM-210F (2 台目) : 21～30 RM-220FW (2 台目) : 21～40
RM-210F (3 台目) : 31～40

| 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定 | |
|----------------------|-------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ |
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 業務 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |

[決定]
SW 番号選択
[戻る]
戻る

- 1 ↓ または で番号選択
決定
 でスイッチ選択へ移動

| 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定 | |
|----------------------|------|
| 業務 RM | 1 |
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 業務 |
| 業務緊急 | なし |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

- 3 ↓ または で項目選択
決定
 で編集可能に

| 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定 | |
|----------------------|--------|
| 業務 RM | 1 |
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 業務 |
| 業務緊急 | ◀ なし ▶ |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 6 ↓ または で設定変更
または ~ で数値入力
決定

3 ~ 6 を繰り返す

| 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定 | |
|----------------------|------|
| 業務 RM | 1 |
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 業務 |
| 業務緊急 | あり |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

- 8 ↓ で業務 RM 番号選択に戻る

| 1-4-2-4-2 回線選択 SW 設定 | |
|----------------------|-------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ |
| SW 番号 | 1 |
| 用途 | 業務 |
| 業務緊急 | あり |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 1 |

[決定]
SW 番号選択
[戻る]
戻る

1 ~ 8 を繰り返す

業務 RM 回線選択 SW 設定完了

「1-4-2-4 業務 RM」(P. 68) で「2 回線選択 SW 設定」決定時

- 1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。
- 2 決定キーを押す。

カーソルがスイッチ選択に移動します。

- 3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

- 5 左右シフトキーで設定内容を選択する。
SW 番号と回線番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

- 6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

- 7 手順 3 ~ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

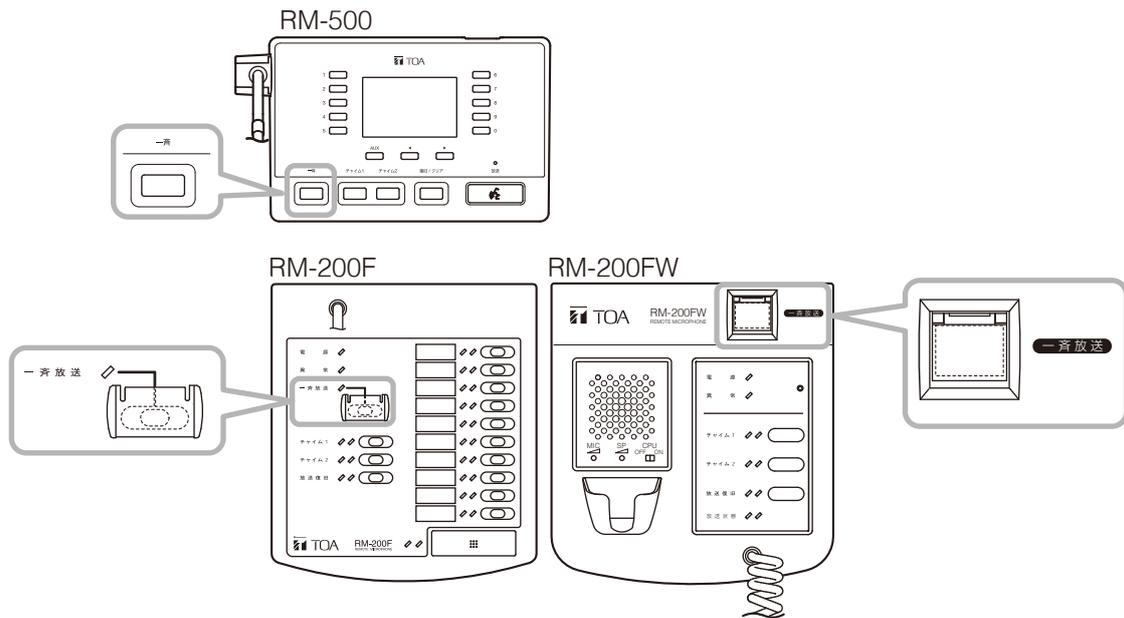
- 8 戻るキーを押す。

業務 RM 番号選択に戻ります。

- 9 手順 1 ~ 8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。

■ 一斉 SW 設定 (1-4-2-4-3)

業務用リモコンの一斉放送キーについて、通常放送／業務緊急モードの選択、回線グループ番号を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|------------------|---------|------|
| 業務 RM 番号 | 業務 RM 番号*1 を選択。 | 1 ~ 8 | — |
| 業務緊急 | 通常放送／業務緊急モードを選択。 | なし、あり*2 | なし |
| 回線グループ | 回線グループ番号*3 を選択。 | 1 ~ 500 | 500 |

*1 業務 RM 番号と ID の対応については、P. 68 を参照してください。

*2 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|------|--|
| なし | 通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。 |
| あり | 業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。 |

*3 「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50) で登録した回線グループ番号のいずれか。

ご注意

「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 61) で「独立制御モード」に設定した場合は、右のように表示されます。

回線は一斉選択に固定となり、この項目は設定できません。特定回線に放送したいときは、「1-4-2-1 スイッチ動作設定」で「通常モード」に変更してください。

1-4-2-4-3 一斉 SW 設定

独立制御モード設定です。
特定回線に放送する場合は、
スイッチ動作設定を
通常モードに変更してください。

[戻る]
戻る

| 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定 | |
|--------------------|-----|
| 業務 RM | ◀1▶ |
| 業務緊急 | なし |
| 回線グループ | 1 |

[決定]
設定選択
[戻る]
戻る

- 1 ↓ ◀ または ▶ で番号選択
決定
○ で設定選択へ移動

| 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定 | |
|--------------------|----|
| 業務 RM | 1 |
| 業務緊急 | なし |
| 回線グループ | 1 |

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

- 3 ↓ ○ または ○ で項目選択
決定
○ で編集可能に

| 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定 | |
|--------------------|------|
| 業務 RM | 1 |
| 業務緊急 | ◀なし▶ |
| 回線グループ | 1 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 6 ↓ ◀ または ▶ で設定変更
または 0 ~ 9 で数値入力
決定
○
3 ~ 6 を繰り返す

| 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定 | |
|--------------------|-----|
| 業務 RM | 1 |
| 業務緊急 | あり |
| 回線グループ | 200 |

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

- 8 ↓ ○ で業務 RM 番号選択に戻る

| 1-4-2-4-3 一斉 SW 設定 | |
|--------------------|-----|
| 業務 RM | ◀1▶ |
| 業務緊急 | あり |
| 回線グループ | 200 |

[決定]
設定選択
[戻る]
戻る

- 1 ~ 8 を繰り返す

業務 RM 一斉 SW 設定完了

「1-4-2-4 業務 RM」(P. 68) で「3 一斉 SW 設定」決定時

- 1 左右シフトキーで業務 RM 番号を選択する。
- 2 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

- 3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

- 5 左右シフトキーで設定内容を選択する。
回線グループは、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

ご注意

スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

- 6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

- 7 手順 3 ~ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

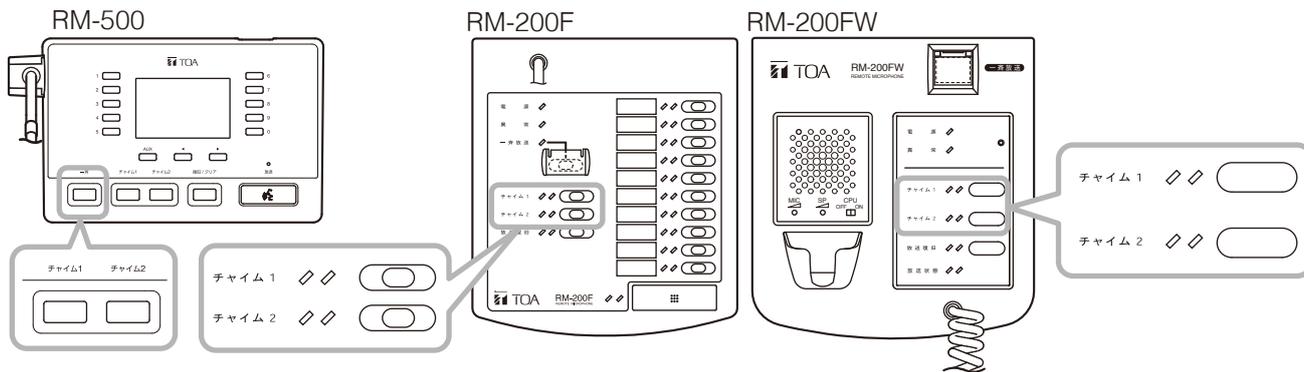
- 8 戻るキーを押す。

業務 RM 番号選択に戻ります。

- 9 手順 1 ~ 8 を繰り返し、すべての業務 RM について設定する。

■ チャイム SW 設定 (1-4-2-4-4)

業務用リモコンのチャイムスイッチ 1 または、チャイムスイッチ 2 について、スイッチを押したときに鳴る音源を設定します。



設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|-----------------|-------------------|--|
| 業務 RM 番号 | 業務 RM 番号*1 を選択。 | 1 ~ 8 | — |
| 音源番号 | 音源番号を選択。 | 未使用、チャイム 1 ~ 4 *2 | チャイムスイッチ 1: チャイム 1 チャイムスイッチ 2: チャイム 2 |

*1 「1-2-1 構成設定 (本体・PM・EX)」 (P. 17) で登録した「業務 RM」の台数分のみ選択可。
業務 RM 番号と ID の対応については、P. 68 を参照してください。

*2 チャイム音源は FS-A2500 本体と同様です。(P. 64)

| 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|--------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ |
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | チャイム 1 |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
SW 番号選択
[戻る]
戻る

1 ↓ ◯ または ◯ で番号選択
決定
◯ でチャイム選択へ移動

| 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|--------|
| 業務 RM | 1 |
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | チャイム 1 |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
編集
[戻る]
業務 RM 選択

3 ↓ ◯ または ◯ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定 | |
|----------------------|------------|
| 業務 RM | 1 |
| SW 番号 | 音源番号 |
| 1 | ◀ チャイム 1 ▶ |
| 2 | チャイム 2 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

6 ↓ ◯ または ◯ で設定変更
決定
◯
次ページへ

「1-4-2-4 業務 RM」 (P. 68) で「4 チャイム SW 設定」決定時

1 左右シフトキーで非常 RM 番号を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「音源番号」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

音源番号が選択可能になります。

5 左右シフトキーで音源番号を選択する。

6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

前ページから



3～6を繰り返す

| 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定 | | |
|----------------------|--------|----------|
| 業務 RM | 1 | |
| SW 番号 | 音源番号 | [決定] |
| 1 | チャイム 3 | 編集 |
| 2 | 未使用 | [戻る] |
| | | 業務 RM 選択 |

8 ↓ で業務 RM 番号選択に戻る

| 1-4-2-4-4 チャイム SW 設定 | | |
|----------------------|--------|---------|
| 業務 RM | ◀ 1 ▶ | |
| SW 番号 | 音源番号 | [決定] |
| 1 | チャイム 3 | SW 番号選択 |
| 2 | 未使用 | [戻る] |
| | | 戻る |

↓ 1～8を繰り返す

チャイム SW 設定完了

7 手順 3～6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

8 戻るキーを押す。

業務 RM 番号選択に戻ります。

9 手順 1～8 を繰り返し、すべての業務 RM のスイッチを設定する。

■ EV 放送設定 (1-4-3)

制御入力や非常用操作パネル、非常用リモコン、集中非常用リモコンのファンクションスイッチおよび緊急放送スイッチで起動する EV 放送の音源、放送先などを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲*1 | 初期設定 |
|-------|--|--------------------|------|
| EV 放送 | EV 放送の番号を選択。 | 1～10 | — |
| 用途 | 用途を選択。 | EV 放送、外部 EV 放送、未使用 | 未使用 |
| 音源 | 音源番号*2 を選択。(EV 放送、外部 EV 放送用途設定時のみ) | 1～10 | — |
| 業務緊急 | スピーカー回線へ放送を出力するモードを選択。(EV 放送用途設定時のみ) | なし、あり | — |
| 出力回線 | 出力をする回線について個別/グループを選択。(EV 放送用途設定時のみ) | 個別、グループ | — |
| 回線番号 | 回線番号または、回線グループの番号*3 を選択。(EV 放送用途設定時のみ) | 1～最大回線数 | — |

*1 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|------|----------|---|
| 用途 | EV 放送 | 制御入力または非常用操作パネル、非常用リモコン、集中非常用リモコンのファンクションスイッチおよび緊急放送スイッチで起動する EV 放送の用途で使用します。 |
| | 外部 EV 放送 | 外部通信制御による EV 放送の用途で使用します。 |
| | 未使用 | EV 放送を使用しません。 |
| 業務緊急 | なし | 通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。 |
| | あり | 業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。 |
| 出力回線 | 個別 | 出力先のスピーカー回線を 1 つ登録します。 |
| | グループ | 出力先の回線グループを登録します。回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50) で行います。 |

*2 工場出荷時の EV メッセージは以下のとおりです。

| 番号 | 名称 | 内容 |
|----|---------------|--|
| 1 | チャイム | ウエストミンスターの鐘 |
| 2 | 火災訓練 [男声] | 訓練放送です。【第 1 シグナル】 火事です、火事です、火災が発生しました。落ち着いて避難してください。【第 2 シグナル】 |
| 3 | 地震訓練 [男声] | 訓練放送です。【NHK チャイム音】 地震です。落ち着いて身を守ってください。(2 回繰り返し) |
| 4 | 防犯 (学校) [男声] | 【防犯警報音】 緊急事態が発生しました。先生の指示に従ってください。 |
| 5 | 放課後 (学校) [女声] | まもなく下校時間になります。校庭や教室に残っている人は、後片付けをして早く帰りましょう。 |
| 6 | 防犯 (一般) [男声] | 【防犯警報音】 緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従ってください。 |
| 7 | 蛍の光 | 蛍の光 |
| 8 | 開店 (店舗) [女声] | 本日はご来店いただき、誠にありがとうございます。お時間のお許しになる限り、どうぞゆっくりお買い物をお楽しみください。 |
| 9 | 閉店 (店舗) [女声] | 本日はご来店いただき、誠にありがとうございました。またのお越しを従業員一同、こころよりお待ち申し上げます。 |
| 10 | 省エネ (一般) [女声] | リフレッシュタイムの時間です。胸を大きく張って疲れをほぐしましょう。また、不要な電気は切って、職場の省エネにご協力ください。 |

*3 (P. 50) で登録した回線グループ番号のいずれか。

| 1-4-3 EV 放送設定 | |
|---------------|-------|
| EV 放送 | ◀ 1 ▶ |
| 用途 | 未使用 |
| 音源 | ---- |
| 業務緊急 | ---- |
| 出力回線 | ---- |
| 回線番号 | ---- |

[決定]
用途選択
[戻る]
戻る

1 ↓ ◀ または ▶ で番号選択
決定
○ で設定選択へ移動

| 1-4-3 EV 放送設定 | |
|---------------|------|
| EV 放送 | 1 |
| 用途 | 未使用 |
| 音源 | ---- |
| 業務緊急 | ---- |
| 出力回線 | ---- |
| 回線番号 | ---- |

[決定]
編集
[戻る]
EV 放送選択

3 ↓ ○ または ○ で項目選択
決定
○ で編集可能に

| 1-4-3 EV 放送設定 | |
|---------------|---------|
| EV 放送 | 1 |
| 用途 | ◀ 未使用 ▶ |
| 音源 | ---- |
| 業務緊急 | ---- |
| 出力回線 | ---- |
| 回線番号 | ---- |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

6 ↓ ◀ または ▶ で設定変更
または 0 ~ 9 で数値入力
決定
○
3 ~ 6 を繰り返す

次ページへ

「1-4 機器制御・通信設定」(P. 54) で「3 EV 放送設定」決定時

- 1 左右シフトキーで EV 放送の番号を選択する。
- 2 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

- 3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

- 5 左右シフトキーで設定内容を選択する。
回線番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。
- 6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

- 7 手順 3 ~ 6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

× モ

カーソルが「音源」にあるときに [0] キーを押すと、表示されている番号の音源を再生して確認できます。もう一度 [0] キーを押すと、再生を停止できます。

前ページから



| 1-4-3 EV 放送設定 | |
|---------------|-------|
| EV 放送 | 1 |
| 用途 | EV 放送 |
| 音源 | 1 |
| 業務緊急 | あり |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 500 |

[決定]
編集
[戻る]
EV 放送選択

8 戻るキーを押す。

8 ↓  でスイッチ番号選択に戻る

| 1-4-3 EV 放送設定 | |
|---------------|-------|
| EV 放送 | ◀ 1 ▶ |
| 用途 | EV 放送 |
| 音源 | 1 |
| 業務緊急 | あり |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 500 |

[決定]
用途選択
[戻る]
戻る

EV 放送番号選択に戻ります。

9 手順 1～8 を繰り返し、すべてのファンクションスイッチについて設定する。

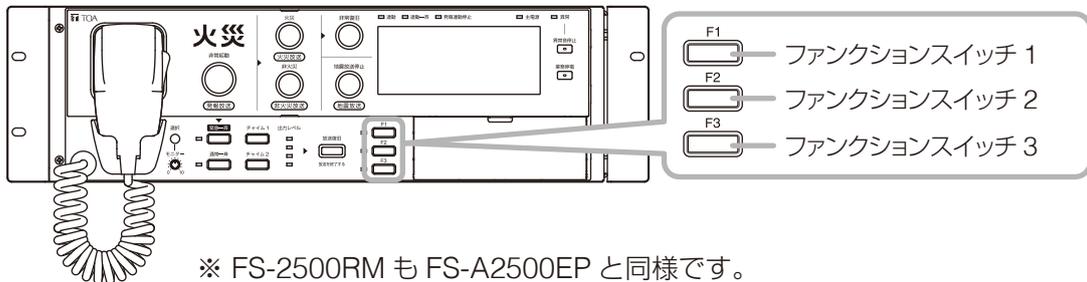
↓ 1～8 を繰り返す

EV 放送設定完了

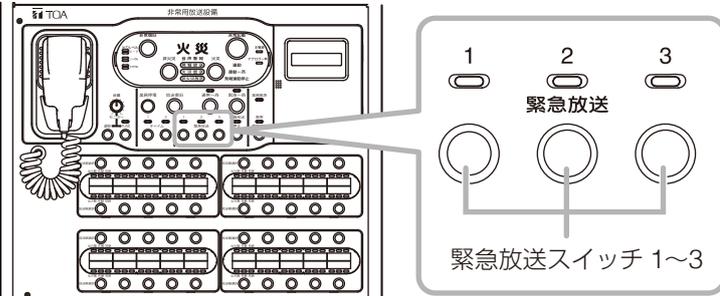
■ ファンクション SW 設定 (1-4-4)

非常用操作パネル、非常用リモコン、集中非常用リモコンのファンクションスイッチおよび緊急放送スイッチについて、EV 放送を設定します。

FS-A2500EP



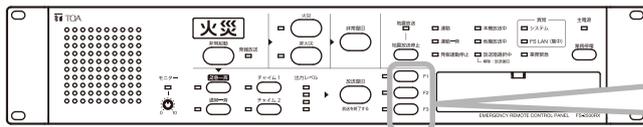
FS-1010RM/1020RM/1030RM 操作部



ご注意

非常用リモコン FS-1010RM/1020RM/1030RM を FS-A2500 システムで使用する場合、緊急放送スイッチ 1～3 が非常用操作パネル FS-A2500EP のファンクションスイッチ 1～3 と同じはたらきをします。緊急地震放送停止スイッチは地震放送停止用途に固定となり、緊急放送スイッチ 4 として使用することはできません。

FS-2500RX (操作部)



- F1 — ファンクションスイッチ 1
- F2 — ファンクションスイッチ 2
- F3 — ファンクションスイッチ 3

設定項目は以下のとおりです。システムで共通の設定となります。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|------------------------|-----------|------|
| ファンクション | ファンクションスイッチの番号を選択。 | F1 ~ F3 | — |
| 音源* | 音源番号*2を選択。 | 1 ~ 10 | — |
| 業務緊急* | スピーカー回線へ放送を出力するモードを選択。 | なし、あり | — |
| 出力回線* | 出力をする回線について個別/グループを選択。 | 個別、グループ | — |
| 回線番号* | 回線番号または、回線グループの番号を選択。 | 1 ~ 最大回線数 | — |

* F1 では EV 放送設定で設定した EV 放送 1、F2 では EV 放送設定で設定した EV 放送 2、F3 では EV 放送設定で設定した EV 放送 3 で設定されたものが表示されます。

EV 放送設定で用途が「EV 放送」の場合、各設定項目の変更が行えます。それ以外の場合は、各設定項目が「----」と表示され、変更できません。

ご注意

ファンクション SW 設定で音源、業務緊急、出力回線、回線番号を変更した場合、EV 放送設定も変更されます。

1-4-4 ファンクション SW 設定

| | | |
|---------|--------|----------------------------|
| ファンクション | ◀ F1 ▶ | |
| 音源 | 1 | [決定] 音源選択 [戻る] 戻る |
| 業務緊急 | あり | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 500 | |

- 1
- ◀ または ▶ で番号選択
 - 決定
 - で設定選択へ移動

1-4-4 ファンクション SW 設定

| | | |
|---------|------|--|
| ファンクション | F1 | |
| 音源 | 1 | [0] 再生 [決定] 編集 [戻る] SW 選択 |
| 業務緊急 | あり | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 500 | |

- 3
- または ○ で項目選択
 - 決定
 - で編集可能に

1-4-4 ファンクション SW 設定

| | | |
|---------|-------|---|
| ファンクション | F1 | |
| 音源 | ◀ 1 ▶ | [0] 再生 [決定] セット [戻る] キャンセル |
| 業務緊急 | あり | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 500 | |

- 6
- ◀ または ▶ で設定変更
 - または 0 ~ 9 で数値入力
 - 決定
 -

次ページへ

「1-4 機器制御・通信設定」(P. 54) で「4 ファンクション SW 設定」決定時

- 1 左右シフトキーでファンクションスイッチの番号を選択する。

- 2 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

- 3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

- 4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

- 5 左右シフトキーで設定内容を選択する。
回線番号は、左右シフトキーまたは数字キーで入力する。

× 毛

カーソルが「音源」にあるときに [0] キーを押すと、表示されている番号の音源を再生して確認できます。もう一度 [0] キーを押すと、再生を停止できます。

- 6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

前ページから

3～6を繰り返す

| 1-4-4 ファンクション SW 設定 | | |
|---------------------|------|-----------------------------|
| ファンクション | F1 | |
| 音源 | 2 | [決定] 編集 [戻る] SW 選択 |
| 業務緊急 | あり | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 300 | |

8 戻るキーを押す。でスイッチ番号選択に戻る

| 1-4-4 ファンクション SW 設定 | | |
|---------------------|--------|----------------------------|
| ファンクション | ◀ F1 ▶ | |
| 音源 | 2 | [決定] 音源選択 [戻る] 戻る |
| 業務緊急 | あり | |
| 出力回線 | グループ | |
| 回線番号 | 300 | |

1～8を繰り返す

ファンクション SW 設定完了

7 手順3～6を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

8 戻るキーを押す。

ファンクションスイッチ番号選択に戻ります。

9 手順1～8を繰り返し、すべてのファンクションスイッチについて設定する。

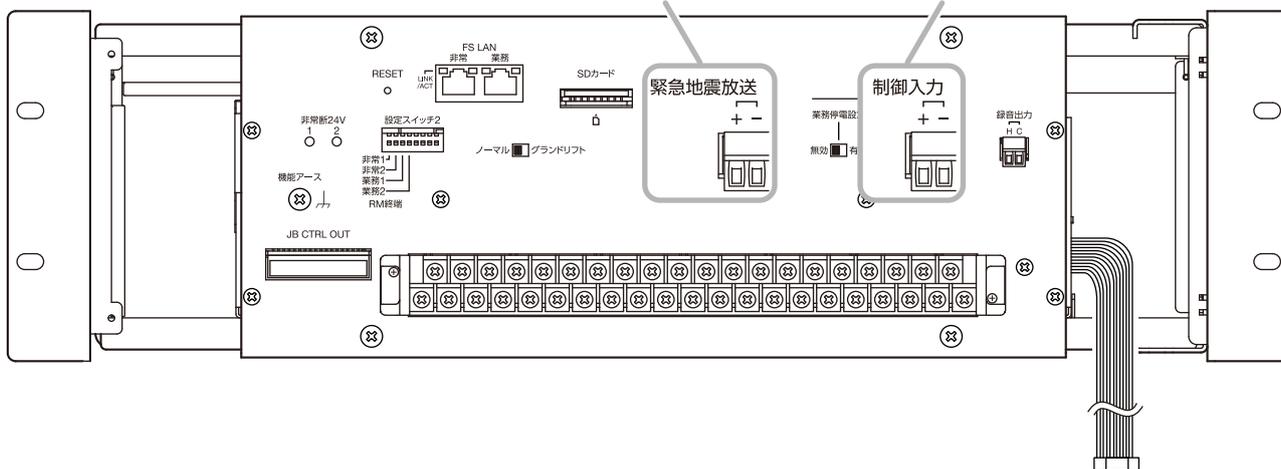
■ 制御入力設定 (1-4-5)

非常用操作パネルの外部放送制御入力端子と緊急地震接点入力端子、業務用リモコン RM-500 の制御入力端子、およびプリアンプマトリクスパネルの制御入力端子 1～20 について設定します。

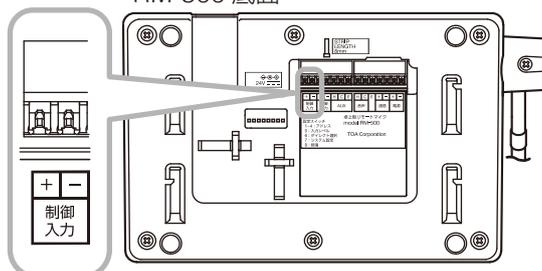
FS-A2500EP 端子部

緊急地震接点入力端子
(緊急地震入力)

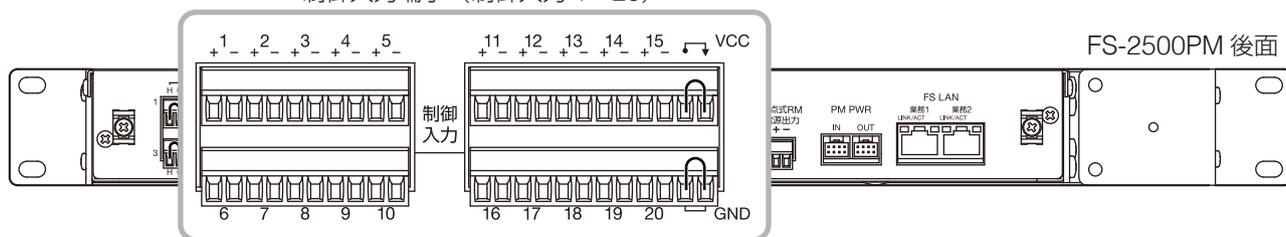
外部放送制御入力端子
(外部放送制御入力)



RM-500 底面



制御入力端子（制御入力 1～20）



設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|---------|---|--|----------------------------|
| ユニット | 制御入力を持つユニットを選択。 | EP *1、業務 RM1～8 *2、PM1～PM3 *3 | — |
| 名称 | 制御入力の種類または制御入力端子名称を選択。 | EP：緊急地震入力、外部放送 制御入力 業務 RM1～8 *2：制御入力 PM1～3 *3：制御入力 1～20 | — |
| 用途 | 用途を選択。 | (「名称」の設定により異なる) *4 | (「名称」の設定により異なる) *4 |
| PM 音声入力 | 音源として、プリアンプマトリクスパネルの音声入力を選択。(個別放送用途時のみ) | 1-1～3-8 *5 | 1-1 |
| 番号 | 用途で選択した内容に応じて、番号を選択。(緊急地震放送入力、EV 放送、EV 放送停止、接点式 RM チャイム、ミックスバス放送、注意喚起放送停止時のみ) | (「用途」の設定により異なる) *6 | 1 (「用途」の設定により番号の意味は異なる) *6 |
| 業務緊急 | スピーカー回線へ放送を出力するモードを選択。(個別放送、回線選択、回線選択操作、ミックスバス放送、接点式 RM 放送用途時のみ) | なし、あり *7 | なし |
| 出力回線 | 出力をする回線について個別/グループを選択。 | 個別、グループ *7 | 個別 |
| 回線番号 | 回線番号または、回線グループの番号を選択。 | 1～最大回線数 | 1 |

*1 非常用操作パネル FS-A2500EP。

*2 業務用リモコン RM-500。システム構成に応じて表示されます。

例えば「業務 RM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の RM-500 を表します。

*3 プリアンプマトリクスパネル FS-2500PM。システム構成に応じて表示されます。

例えば「PM1」は 1 台目のプリアンプマトリクスパネルを表します。

*4 「名称」の設定により設定範囲および初期設定の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 名称の設定 | 設定範囲 *6 | 初期設定 |
|------|-----------|---|--|
| 用途 | 緊急地震入力 | 緊急地震放送、未使用 | 緊急地震放送 |
| | 外部放送 制御入力 | EV 放送、EV 放送停止、PM 音声入力放送、ミックスバス放送、回線選択、BGM1～4 放送、時刻補正、未使用 | 未使用 |
| | 制御入力 | 回線選択操作、AUX 放送 *8、AUX スイッチ、未使用 | 未使用 |
| | 制御入力 1～20 | EV 放送、EV 放送停止、接点式 RM 放送、接点式 RM チャイム、PM 音声入力放送、ミックスバス放送、回線選択、BGM1～4 放送、時刻補正、注意喚起放送停止、未使用 | 制御入力 1～8：未使用、制御入力 9～19：接点式 RM 放送、制御入力 20：接点式 RM チャイム |

*5 例えば「1-1」は 1 台目のプリアンプマトリクスパネルの音声入力 1 を表します。

*6 設定範囲および初期設定の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 用途の設定 | 設定範囲 | 備考 |
|------|-------------|------|--|
| 番号 | 緊急地震放送 | 1、2 | 1：NHK チャイム音、2：REIC チャイム音 ※「緊急地震放送のシグナル音に関する基準」(次ページ) 参照 |
| | EV 放送 | 1～10 | EV 放送番号 ※「1-4-3 EV 放送設定」(P. 77) の用途が「EV 放送」の EV 放送番号のみ設定可 |
| | EV 放送停止 | 1～10 | EV 放送番号 ※「1-4-3 EV 放送設定」(P. 77) の用途が「EV 放送」の EV 放送番号のみ設定可 |
| | 接点式 RM チャイム | 1～4 | 1：上り 4 音、2：下り 4 音、3：2 音、4：ゴング |
| | ミックスバス放送 | 1～4 | ミックスバスの番号 |
| | 注意喚起放送停止 | 1、2 | 注意喚起メッセージ番号 |

*7 設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定範囲 | 説明 |
|-------------|------------------|--|
| 用途 | 緊急地震放送 | 緊急地震放送を行います。 |
| | EV 放送 | EV メッセージ放送を行います。 |
| | EV 放送停止 | EV メッセージ放送を停止します。 |
| | PM 音声入力放送 | プリアンプマトリクスパネルの音声入力端子に入力されている音源の放送を行います。 |
| | 接点式 RM 放送 | 接点式 RM 放送を行います。 |
| | 接点式 RM チャイム | 内蔵のチャイム音源を放送します。 |
| | ミックスバス放送 | ミックスバス放送を行います。 |
| | BGM1～4 放送 | 設定された番号の BGM 放送を行います。 |
| | 回線選択 | 回線選択を行います。 |
| | 時刻補正 | 時刻補正を行います。制御入力メイク時、FS-A2500EP に設定された時刻の秒が 0 秒～ 29 秒の場合は 0 秒に補正し、30 秒～ 59 秒の場合は 1 分進めた後で 0 秒に補正します。 |
| | 注意喚起放送停止 | 注意喚起放送を停止します。 |
| | 回線選択操作*8、*9 | RM-500 の回線選択操作を行います。 |
| | AUX 放送*8、*10 | RM-500 の AUX 放送を開始します。 |
| AUX スイッチ*10 | AUX キーと同じ動作をします。 | |
| 業務緊急 | なし | 通常放送モードで放送します。アッテネーターによる音量の調節が可能です。 |
| | あり | 業務緊急モードで放送します。アッテネーターの設定に関係なく最大音量で放送が出力されます。 |
| 出力回線 | 個別 | 設定対象の制御入力について、スピーカー回線を 1 つ登録します。 |
| | グループ | 設定対象の制御入力について、回線グループを登録します。 回線グループへのスピーカー回線の登録は、「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50)で行います。 |

*8 「1-4-2-1 スイッチ動作設定」(P. 61) で「独立制御モード」を選択したときは設定できません。

*9 画面表示上は「回線選択」と表示されます。

*10 「1-4-2-4-1 業務 RM 動作設定」(P. 68) で AUX 入力を「使用しない」に設定した場合は設定できません。

緊急地震放送のシグナル音に関する基準

緊急地震放送のシグナル音は、原則として、日本放送協会が作成した報知音（NHK チャイム音）を使用してください。

ただし、NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」*11 に整合している場合の使用に限定されるため、「緊急地震速報（警報）」*11 に整合していない場合や、騒音などで NHK チャイム音では聞き取りにくい条件下では、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）が作成したサイン音を使用してください。

ご注意

- 緊急地震放送の NHK チャイム音は、「緊急地震速報（警報）」*11 または、予測される震度 5 弱以上の「緊急地震速報（業）」*12 の場合以外は使用禁止です。
- NHK チャイム音の著作権は、日本放送協会に属します。
- REIC サイン音の著作権は、特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会に属します。

*11 最大震度 5 弱以上と予想した場合に、予想した震度が 4 以上の地域に対して気象庁が発表します。気象業務法に基づき、気象庁のみが発表します。

*12 許可事業者が提供する緊急地震速報。予報内容についての責任は、当該許可事業者が負います。

| 1-4-5 制御入力設定 | |
|--------------|--------|
| ユニット | ◀ EP ▶ |
| 名称 | 緊急地震入力 |
| 用途 | 緊急地震放送 |
| PM 音声入力 | ---- |
| 番号 | 1 |
| 業務緊急 | ---- |

[決定]
名称選択
[戻る]
戻る

- 1 ↓ ◯ または ◯▶ でユニット選択
決定
◯ で「名称選択」へ移動

| 1-4-5 制御入力設定 | |
|--------------|--------|
| ユニット | EP |
| 名称 | 緊急地震入力 |
| 用途 | 緊急地震放送 |
| PM 音声入力 | ---- |
| 番号 | 1 |
| 業務緊急 | ---- |

[前/次]
改画面
[決定]
編集
[戻る]
ユニット選択

- 3 ↓ ◯ または ◯▶ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-4-5 制御入力設定 | |
|--------------|------------|
| ユニット | EP |
| 名称 | ◀ 緊急地震入力 ▶ |
| 用途 | 緊急地震放送 |
| PM 音声入力 | ---- |
| 番号 | 1 |
| 業務緊急 | ---- |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

- 6 ↓ ◯ または ◯▶ で設定変更
決定
◯

3～6を繰り返す

| 1-4-5 制御入力設定 | |
|--------------|------|
| ユニット | EP |
| 出力回線 | グループ |
| 回線番号 | 2 |

[前/次]
改画面
[決定]
編集
[戻る]
ユニット選択

- 8 ↓ ◯^{戻る} でユニット選択に戻る

| 1-4-5 制御入力設定 | |
|--------------|-----------|
| ユニット | ◀ EP ▶ |
| 名称 | 外部放送 制御入力 |
| 用途 | PM 音声入力放送 |
| PM 音声入力 | 1-1 |
| 番号 | ---- |
| 業務緊急 | なし |

[決定]
名称選択
[戻る]
戻る

1～8を繰り返す

制御入力設定完了

「1-4 機器制御・通信設定」(P. 54) で「5 制御入力設定」決定時

1 左右シフトキーでユニットを選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「名称」に移動します。

3 上下シフトキーでカーソルを移動させる。

ご注意

名称、用途の設定により、設定可能な項目が変わりますので、設定項目の上から順番に設定してください。

4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

5 左右シフトキーで設定内容を選択する。

ご注意

出力回線をグループ番号で選択するとき、スピーカー回線が割り当てられていない回線グループ番号を選択することはできません。

6 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

7 手順3～6を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

8 戻るキーを押す。

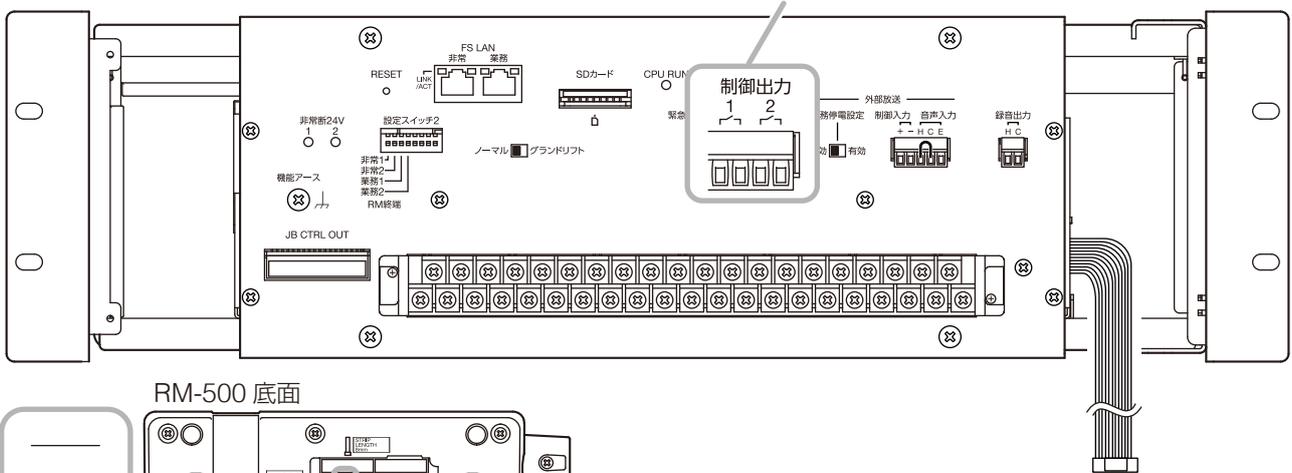
ユニット選択に戻ります。

9 手順1～8を繰り返し、すべての制御入力について設定する。

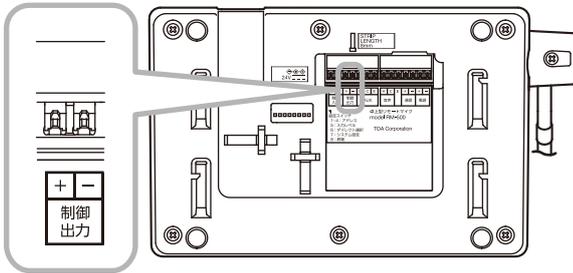
■ 制御出力設定 (1-4-6)

非常用操作パネルの制御出力端子 1～2、業務用リモコン RM-500 の制御出力端子、プリアンプマトリクスパネルの制御出力端子 1～10、および非常系統拡張パネルの制御出力端子 1～2 の機能について設定します。

FS-A2500EP 端子部

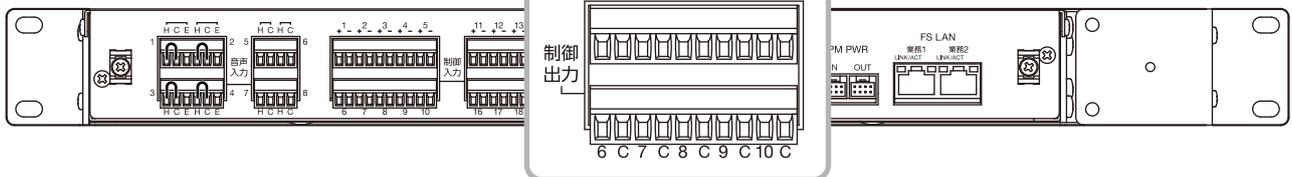


RM-500 底面

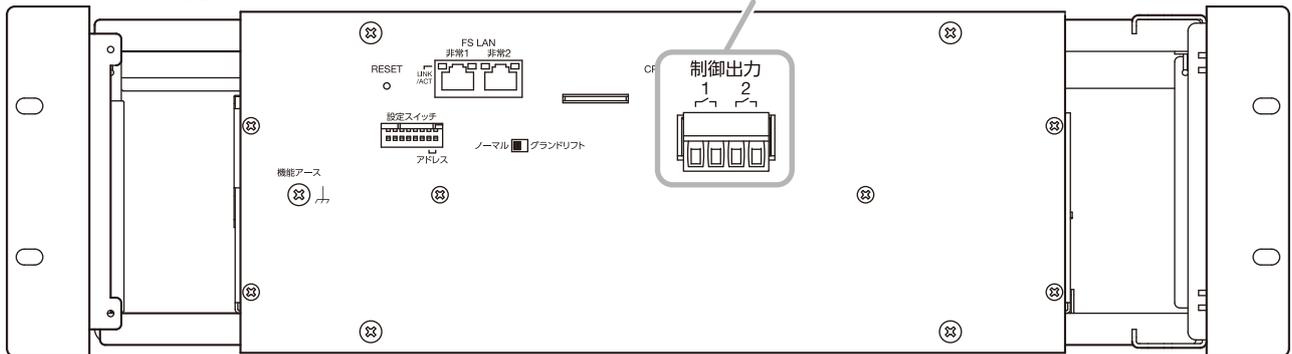


制御出力端子 (制御出力 1～10)

FS-2500PM 後面



FS-A2500EX 端子部



設定項目は以下のとおりです。ただし、RM-500 の場合は「自機放送中」、「業務放送中」、「業務緊急放送中」、「保守点検中」、「異常発生中」、「出力回線グループ連動」、「未使用」からの選択となります。また、RM-500 の制御出力は FS-A2500EP、FS-A2500EX、FS-2500PM の制御出力と比べて、1 秒程度遅れて出力されます。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|---|--|--------------------|
| ユニット | 制御出力を持つユニットを選択。 | EP *1、業務 RM1～8 *2、PM1～PM3 *3、EX1～13 *4 | — |
| 名称 | 制御出力端子の番号を選択。 | EP *1、EX1～13 *4 : 制御出力 1～2 業務 RM1～8 *2 : 制御出力 PM1～PM3 *3 : 制御出力 1～10 | — |
| 用途 | FS-A2500 システムがどの状態にあるときに制御出力をメイクするかを選択。 | 音声警報出力中、発報放送中、火災放送中、非火災放送中、非常マイク放送中、火災一斉移行、緊急地震放送中、自機放送中 *5、放送中 (接点式 RM) *6、リモコン (接点式 RM) *6、業務放送中、業務緊急放送中、保守点検中、EM1～10 異常発生中 *7、*8、異常発生中、出力回線グループ連動 *9、非常放送中 *8、段階鳴動移行 1 *8、段階鳴動移行 2 *8、段階鳴動移行 3 *8、注意喚起放送中 *8、日常点検中 *8、未使用 | (制御出力端子により異なる) *10 |

- *1 非常用操作パネル FS-A2500EP。
- *2 業務用リモコン RM-500。システム構成に応じて表示されます。
例えば「業務 RM1」は 1 台目（アドレススイッチの設定が「00」）の RM-500 を表します。
- *3 プリアンプマトリクスパネル FS-2500PM。システム構成に応じて表示されます。
例えば「PM1」は 1 台目のプリアンプマトリクスパネルを表します。
- *4 非常系統拡張パネル FS-A2500EX。システム構成に応じて表示されます。例えば「EX1」は 1 台目の非常系統拡張パネルを表します。
- *5 「ユニット」で「業務 RM1」～「業務 RM8」を選択したときのみ
- *6 「ユニット」で「PM1」「PM2」「PM3」を選択したときのみ
- *7 「EM」は非常断 24V 出力拡張パネルを表します。システム構成に応じて表示されます。例えば「EM1」は 1 台目の非常断 24V 出力拡張パネルを表します。
- *8 「ユニット」で「業務 RM1」～「業務 RM8」を選択したとき以外
- *9 「1-3-8 回線グループ設定」(P. 50) で制御出力先に設定している場合に、用途が自動的に「出力回線グループ連動」になります。用途変更を行うときは、回線グループ設定で制御出力先から外してください。
- *10 以下の制御出力以外は「未使用」が初期設定です。

| ユニット | 制御出力 | 初期設定 |
|---------|------|--------------|
| EP | 1 | 火災放送中 |
| EP | 2 | 非火災放送中 |
| PM1～PM3 | 9 | 放送中（接点式 RM） |
| PM1～PM3 | 10 | リモコン（接点式 RM） |
| EX1 | 1 | 音声警報出力中 |
| EX1 | 2 | 発報放送中 |
| EX2 | 1 | 火災一斉移行 |

| ユニット | 制御出力 | 初期設定 |
|------|------|----------|
| EX2 | 2 | 非常マイク放送中 |
| EX3 | 1 | 緊急地震放送中 |
| EX3 | 2 | 業務放送中 |
| EX4 | 1 | 業務緊急放送中 |
| EX4 | 2 | 保守点検中 |
| EX5 | 1 | 異常発生中 |

1-4-6 制御出力設定

ユニット ◀PM1▶

| | |
|----|--------|
| 名称 | 制御出力 1 |
| 用途 | 未使用 |

[決定]
 名称選択
 [戻る]
 戻る

1 ↓ ◀ または ▶ でユニット選択
 ↓ 決定
 ○ で「名称選択」へ移動

1-4-6 制御出力設定

ユニット PM1

| | |
|----|--------|
| 名称 | 制御出力 1 |
| 用途 | 未使用 |

[決定]
 編集
 [戻る]
 ユニット選択

3 ↓ ▲ または ▼ で項目選択
 ↓ 決定
 ○ で編集可能に

1-4-6 制御出力設定

ユニット PM1

| | |
|----|--------|
| 名称 | 制御出力 1 |
| 用途 | ◀未使用▶ |

[決定]
 セット
 [戻る]
 キャンセル

6 ↓ ◀ または ▶ で設定変更
 ↓ 決定
 ○

次ページへ

「1-4 機器制御・通信設定」(P. 54) で「6 制御出力設定」決定時

- 1** 左右シフトキーでユニットを選択する。
- 2** 決定キーを押す。

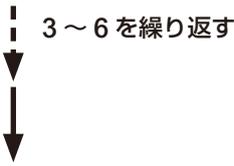
カーソルが「名称」に移動します。

- 3** 上下シフトキーでカーソルを移動させる。
- 4** 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

- 5** 左右シフトキーで設定内容を選択する。
- 6** 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

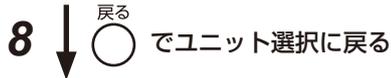
前ページから



7 手順 3～6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

| 1-4-6 制御出力設定 | | | |
|--------------|---------|--|------------------------------|
| ユニット | PM1 | | |
| 名称 | 制御出力 10 | | |
| 用途 | 異常発生中 | | |
| | | | [決定] 編集 [戻る] ユニット選択 |

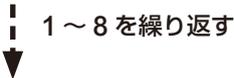
8 戻るキーを押す。



ユニット選択に戻ります。

| 1-4-6 制御出力設定 | | | |
|--------------|---------|--|------------------------------|
| ユニット | ◀PM1▶ | | |
| 名称 | 制御出力 10 | | |
| 用途 | 異常発生中 | | |
| | | | [決定] 接点番号選択 [戻る] 戻る |

9 手順 1～8 を繰り返し、すべての制御出力について設定する。



制御出力設定完了

■ FS LAN 通信設定 (1-4-7)

FS-A2500EP、FS-2500PM、FS-A2500EX の各機器の機器 ID に対する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはここで設定します。

初期設定は次のとおりです。

| 機器 | 画面表示 | IP アドレス | サブネットマスク | デフォルトゲートウェイ |
|--------------------------|----------|-------------------------------|---------------|-------------|
| FS-A2500EP | EP | 192.168.14.1 | 255.255.255.0 | 0.0.0.0 |
| FS-2500PM (ID : 0 ~ 2) | PM1 ~ 3 | 192.168.14.10 ~ 192.168.14.12 | | |
| FS-A2500EX (ID : 0 ~ 12) | EX1 ~ 13 | 192.168.14.20 ~ 192.168.14.32 | | |
| FS-A2500EM (ID : 0 ~ 9) | EM1 ~ 10 | 192.168.14.80 ~ 192.168.14.89 | | |

ご注意

各機器の設定スイッチの変更、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager による各機器の IP アドレスの設定が必要な場合があります。

特に、FS-A2500EX を 4 台以上使用する場合、システム内のすべての FS-A2500EX の設定スイッチを変更するとともに、任意の IP アドレスに変更しないと使用できません。

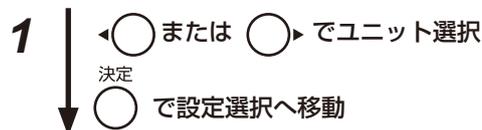
詳しくは、別冊の「はじめにお読みください」をお読みください。

| 1-4-7 FS LAN 通信設定 | | | | |
|-------------------|--------|-----|-----|------------------------------|
| ユニット | ◀ EP ▶ | | | |
| IP アドレス | 192 | 168 | 14 | 1 |
| サブネットマスク | 255 | 255 | 255 | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | | [決定] アドレス選択 [戻る] 戻る |

「1-4 機器制御・通信設定」(P. 54) で「7 FS LAN 通信設定」決定時

1 左右シフトキーでユニットを選択する。

2 決定キーを押す。



次ページへ

前ページから



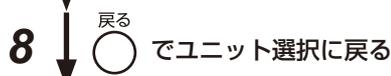
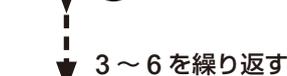
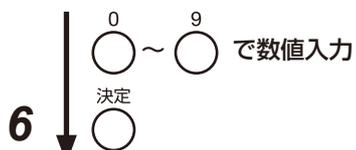
| 1-4-7 FS LAN 通信設定 | | | | |
|-------------------|-----|-----|-----|----|
| ユニット | PM1 | | | |
| IPアドレス | 192 | 168 | 14 | 10 |
| サブネットマスク | 255 | 255 | 255 | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | 0 | 0 | 0 | 0 |

[決定]
編集
[戻る]
ユニット選択



| 1-4-7 FS LAN 通信設定 | | | | |
|-------------------|-----|-----|-----|------|
| ユニット | PM1 | | | |
| IPアドレス | 192 | 168 | 14 | ◀10▶ |
| サブネットマスク | 255 | 255 | 255 | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | 0 | 0 | 0 | 0 |

[0-9]
数値入力
[決定]
セット
[戻る]
キャンセル



| 1-4-7 FS LAN 通信設定 | | | | |
|-------------------|-------|-----|-----|----|
| ユニット | ◀PM1▶ | | | |
| IPアドレス | 192 | 168 | 14 | 30 |
| サブネットマスク | 255 | 255 | 255 | 0 |
| デフォルトゲートウェイ | 0 | 0 | 0 | 0 |

[決定]
アドレス選択
[戻る]
戻る



FS LAN 通信設定完了

■ 業務放送設定 (1-5)

各放送の優先度や連動チャイムの設定など、業務放送について設定します。

| 1-5 業務放送設定 | |
|----------------|----------------------------|
| 1 業務放送動作設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 優先度設定 | |
| 3 同一優先度動作設定 | |
| 4 非常断 24V 出力設定 | |
| 5 EV 音源音量設定 | |
| 6 音量・音質設定 | |
| 7 作動表示灯設定 | |



各設定項目の参照先へ

カーソルが「IP アドレス」に移動します。

3 上下左右シフトキーでカーソルを移動させる。

4 決定キーを押す。

編集ができるようになります。

5 数字キーで数値を入力する。

6 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

7 手順 3 ~ 6 を繰り返して、ネットワーク設定をする。

8 戻るキーを押す。

ユニット選択に戻ります。

9 手順 1 ~ 8 を繰り返して、すべてのユニットについて設定する。

「1 システム設定」(P. 14) で「5 業務放送設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|----------------|----------------|
| 1 業務放送動作設定 | P. 89 (1-5-1) |
| 2 優先度設定 | P. 91 (1-5-2) |
| 3 同一優先度動作設定 | P. 92 (1-5-3) |
| 4 非常断 24V 出力設定 | P. 93 (1-5-4) |
| 5 EV 音源音量設定 | P. 95 (1-5-5) |
| 6 音量・音質設定 | P. 98 (1-5-6) |
| 7 作動表示灯設定 | P. 101 (1-5-7) |

■ 業務放送動作設定 (1-5-1)

業務放送について、放送の種類ごとに、ミックスバス放送ミュート制御のトリガーおよび連動チャイムを設定します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|---|--|---|
| 業務放送 | 業務放送の種類を選択。 | 本体マイク放送、非常 RM1 ~ 16、業務 RM1 ~ 8、接点式 RM1 ~ 3、PM1 ~ 3、音声入力 1 ~ 8、ミックスバス 1 ~ 4 | — |
| ミュートトリガー | ミックスバス放送と重なったときに、ミックスバス放送のミュート制御を開始するトリガー*1を設定。 | PM 音声入力、接点式 RM：制御入力、制御なし ミックスバス：制御入力、外部通信制御、音声レベル、放送階選択、制御なし PM 音声入力、ミックスバス以外：音声レベル、放送階選択、トークスイッチ、制御なし | PM 音声入力放送、接点式 RM：制御入力 ミックスバス：音声レベル PM 音声入力放送、ミックスバス以外：音声レベル |
| ミュート対象 | ミュート制御対象のミックスバス*2を設定。 | ミックスバス 1-4、ミックスバス 2-4、ミックスバス 3-4、ミックスバス 4、全てカット*3 | ミックスバス 1-4 |
| 開始チャイム*4 | 放送を開始するときに鳴らすチャイム音源を選択。 | チャイム 1 ~ 4*5、未使用 | 未使用 |
| 終了チャイム*4 | 放送を終了するときに鳴らすチャイム音源を選択。 | チャイム 1 ~ 4*5、未使用 | 未使用 |

*1 ミックスバス放送のミュート制御の動作説明図 (P. 60) の「放送開始」に該当します。設定範囲の詳細は以下のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|---------|--|
| 制御入力 | 制御入力 ON になると、ミックスバス放送のミュート制御が開始し、OFF になると終了します。 |
| 外部通信制御 | 外部システムから制御されると、ミックスバス放送のミュート制御が開始し、OFF になると終了します。 |
| 音声レベル | 音声レベルが開始感度になるとミックスバス放送のミュート制御が開始し、音声レベルが終了感度になると終了します。開始感度と終了感度は「1-5-1-1 音声レベル感度設定」(P. 90) で設定します。 |
| 放送階選択 | 放送階選択スイッチを押すとミックスバス放送のミュート制御が開始し、選択を解除すると終了します。 |
| トークスイッチ | トークスイッチを押している間、ミックスバス放送のミュート制御が行われます。 |
| 制御なし | ミックスバス放送のミュート制御はされません。ミックスして放送されます。 |

設定による動作の詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送ミュート制御とチャイム連動」を参照してください。

- *2 業務放送で選択されているミックスバス放送が制御対象のミックスバス放送に含まれるときは、業務放送で選択されているミックスバス放送はミュート制御されず、それ以外のミックスバス放送がミュート制御されます。
- *3 「全てカット」を選択した場合はミュート動作とならず、ミュートトリガーの発生で即座にカットされ、ミュートトリガーの解除で即座に復帰します。
設定による動作の詳細については、別冊の操作説明書「ミックスバス放送ミュート制御とチャイム連動」を参照してください。
- *4 業務放送の種類を「ミックスバス 1 ~ 4」に設定したときは、「開始チャイム」および「終了チャイム」は設定できません。
- *5 チャイム音源は FS-A2500 本体と同様です。(P. 64)

| 1-5-1 業務放送動作設定 | |
|----------------|------------|
| 業務放送 | 本体マイク放送 |
| ミュートトリガー | 音声レベル |
| ミュート対象 | ミックスバス 1-4 |
| 開始チャイム | チャイム 1 |
| 終了チャイム | 未使用 |

[決定]
[編集]
[戻る]

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「1 業務放送動作設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。



次ページへ

前ページから



| 1-5-1 業務放送動作設定 | |
|----------------|-------------|
| 業務放送 | ◀ 本体マイク放送 ▶ |
| ミュートトリガー | 音声レベル |
| ミュート対象 | ミックスバス 1-4 |
| 開始チャイム | チャイム 1 |
| 終了チャイム | 未使用 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

◀ ○ または ○ ▶ で設定変更

決定
○ で内容確定

4

繰り返す

業務放送動作設定完了

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

ご注意

「ミュートトリガー」で「音声レベル」を選択して決定キーを押したときのみ、「1-5-1-1 音声レベル感度設定」(P. 90)が表示されるので、音声レベル(次ページ)を設定してください。

5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 音声レベル感度設定 (1-5-1-1)

業務放送のミックスバス放送ミュートのミュートトリガーを「音声レベル」に設定したときのみ設定できます。設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|-------------------------|-------------|--------|
| 開始感度 | ミュート制御が機能する入力信号のレベルを設定。 | -40 ~ -1 dB | -30 dB |
| 終了感度 | ミュート制御が終了する入力信号のレベルを設定。 | -50 ~ 0 dB | -40 dB |
| 初期化 | 上記 2 つの設定を初期設定の値に戻す。 | 実行 | — |

| 1-5-1-1 音声レベル感度設定 | |
|-------------------|-------|
| 開始感度 | -30dB |
| 終了感度 | -40dB |
| 初期化 | 実行 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

1 ○ または ○ で項目選択
決定
○ で編集可能に

| 1-5-1-1 音声レベル感度設定 | |
|-------------------|-----------|
| 開始感度 | ◀ -30dB ▶ |
| 終了感度 | -40dB |
| 初期化 | 実行 |

[0 - 9]
数値入力
[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

◀ ○ または ○ ▶ で設定変更

または ○ ~ ○ で数値入力

決定
○ で内容確定

4

繰り返す

音声レベル感度設定完了

「1-5-1 業務放送動作設定」(P. 89)で「ミュートトリガー：音声レベル」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。
数値の場合は、数字キーで入力する。

ご注意

終了感度は「開始感度 + 0 ~ - 20 dB」の間で設定可能です。

上記範囲外の数値を入力すると、終了感度は自動的に「開始感度 - 10」の値になります。

4 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

× 0

「初期化」で「実行」を選択して決定すると、「開始感度」と「終了感度」が初期設定に戻ります。

5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 優先度設定 (1-5-2)

各放送 (BGM 放送、RM-1100 同士の放送を除く) について放送の優先度を設定します。

優先度は 1 (優先度高) ~ 99 (優先度低) の範囲で設定可能です。

複数の放送の優先度を同じに設定することも可能です。

優先度についての詳細は、別冊の操作説明書「放送の優先度」をお読みください。

ご注意

- BGM 放送には優先度はありません。ミックスバス制御設定に従います。
( 別冊の操作説明書「ミックスバス放送ミュート制御とチャイム連動」)
- RM-1100 同士の優先度については、別冊の設置説明書「複数台接続時の優先順位の設定」をお読みください。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|------------|--------|-----------------|
| 優先度 | 放送の優先度を選択。 | 1 ~ 99 | (放送の種類により異なる) * |

* 初期設定の詳細は下記のとおりです。

| 業務放送 | 優先度 | 業務放送 | 優先度 | 業務放送 | 優先度 | 業務放送 | 優先度 |
|------------|-----|------------|---------------|---------------|-----|----------|-----|
| 本体マイク放送 | 2 | 接点式 RM1 放送 | 27 | PM1 音声入力 1 放送 | 31 | ミックスバス 1 | 40 |
| 非常 RM1 放送 | 3 | 接点式 RM2 放送 | 28 | } | | ミックスバス 4 | 43 |
| 非常 RM2 放送 | 4 | 接点式 RM3 放送 | 29 | PM1 音声入力 8 放送 | | 注意喚起 1 | 1 |
| 非常 RM3 放送 | 5 | EV 放送 1 | 1 | PM2 音声入力 1 放送 | | | |
| } | ∴ | EV 放送 10 | | PM2 音声入力 8 放送 | | | |
| 非常 RM16 放送 | 18 | | | PM3 音声入力 1 放送 | | | |
| 業務 RM1 放送 | 19 | | PM3 音声入力 8 放送 | | | | |
| } | ∴ | | | | | | |
| 業務 RM8 放送 | 26 | | | | | | |

1-5-2 優先度設定

| No. | 業務放送 | 優先度 | |
|-----|---------|-----|--------------|
| 1 | 本体マイク放送 | 2 | [前/次] 改画面 |
| 2 | 非常 RM1 | 3 | [決定] 編集 |
| 3 | 非常 RM2 | 4 | [戻る] 戻る |
| 4 | 非常 RM3 | 5 | |
| 5 | 非常 RM4 | 6 | |

- 1  または  で項目選択
決定 
 で編集可能に

1-5-2 優先度設定

| No. | 業務放送 | 優先度 | |
|-----|---------|-----|---------------|
| 1 | 本体マイク放送 | 2 | [決定] セット |
| 2 | 非常 RM1 | 3 | [戻る] キャンセル |
| 3 | 非常 RM2 | 4 | |
| 4 | 非常 RM3 | 5 | |
| 5 | 非常 RM4 | 6 | |

- 4  または  で設定変更
決定 
 で内容確定
繰り返す 

優先度設定完了

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「2 優先度設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

5 手順 1 ~ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 同一優先度動作設定 (1-5-3)

同じ優先度の放送が複数同時に行われたときの動作を設定します。複数の放送を同じ優先度に設定していないときは、この設定は不要です。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* | 初期設定 |
|------|-------------------------------|-------------|-------|
| 動作 | 優先度ごとに、同一優先度の放送が重なったときの動作を選択。 | 後取り優先、先取り優先 | 後取り優先 |

* 設定範囲の詳細は下記のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|-------|--|
| 後取り優先 | 後に起動した方の放送が優先されます。 |
| 先取り優先 | 先に起動した方の放送が優先されます。 先に始めた放送が終了するまで、他の同一優先度の音源は放送できません。 |

× モ

同一優先度のミックスバス放送が同時に行われるときは、同一優先度動作設定に関わらずミキシングされて放送されます。

| 1-5-3 同一優先度動作設定 | |
|-----------------|-------|
| Lv. | 動作 |
| 1 | 後取り優先 |
| 2 | 後取り優先 |
| 3 | 後取り優先 |
| 4 | 後取り優先 |

[前/次] 改画面
[決定] 編集
[戻る] 戻る

1 ↓ または で項目選択
決定 で編集可能に

| 1-5-3 同一優先度動作設定 | |
|-----------------|-----------|
| Lv. | 動作 |
| 1 | ◀ 後取り優先 ▶ |
| 2 | 後取り優先 |
| 3 | 後取り優先 |
| 4 | 後取り優先 |

[決定] セット
[戻る] キャンセル

4 ↓ または で設定変更
決定 で内容確定
繰り返す

同一優先度動作設定完了

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「3 同一優先度動作設定」決定時

1 上下シフトキーで設定項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

3 左右シフトキーで設定を変更する。

4 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

5 手順 1～4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 非常断 24 V 出力設定 (1-5-4)

非常用操作パネルの非常断 24 V 出力端子 1 ~ 2、非常断 24V 出力拡張パネルの非常断 24 V 出力端子（非常断 24 V 設定時の出力端子）1 ~ 10 の放送中の動作を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* 1 | 初期設定 |
|----------|--------------------------|-------------------------|-------------------------------------|
| ユニット | 非常断 24 V 出力端子を持つユニットを選択。 | EP、EM1 ~ 10 | — |
| 端子 | 出力端子を選択。 | EP : 1~2 EM : 1 ~ 10 | — |
| 業務中動作 | 放送中の動作を選択。 | 継続、カット、緊急カット、 放送種別指定 | 継続 |
| 出力端子グループ | 総合点検時の出力端子グループを選択。* 2 | #1、#2 | EP-1 : #1、EP-2 : #2、 EM : すべて #1 |

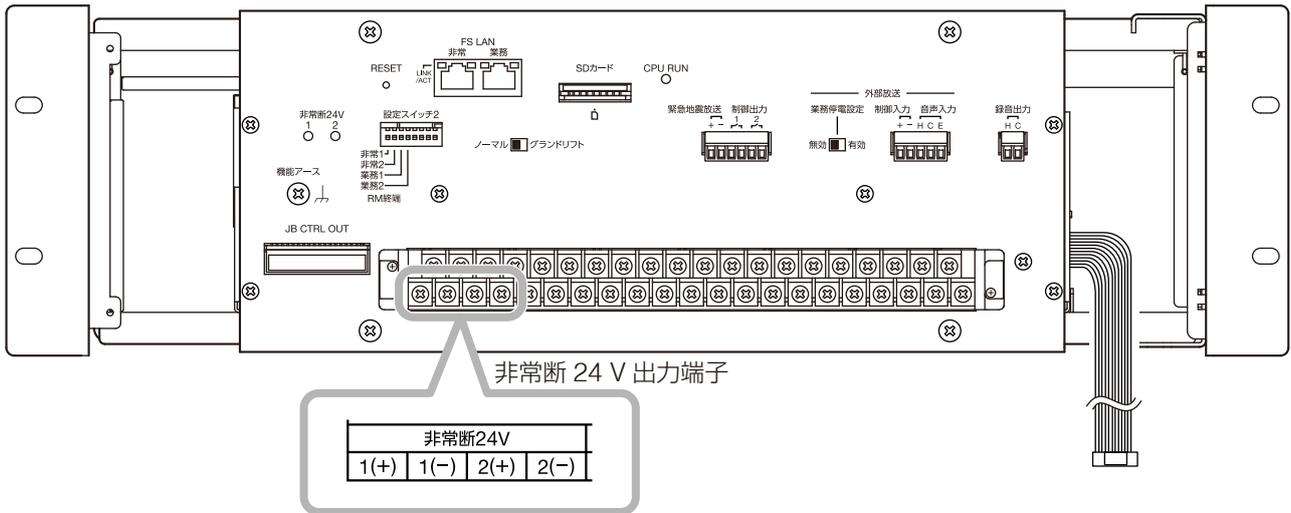
* 1 設定範囲の詳細は下記のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|--------|--|
| 継続 | 業務放送中、業務緊急放送中は、DC24 V が出力されます。 |
| カット | 業務放送中、業務緊急放送中でも DC24 V が出力されません。 |
| 緊急カット | 業務放送中は DC24 V が出力され、業務緊急放送中は DC24 V が出力されません。 |
| 放送種別指定 | 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager の「非常断 24 V 出力設定」で指定した動作を行います。 詳しくは、別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「非常断 24 V 出力設定」をお読みください。 |

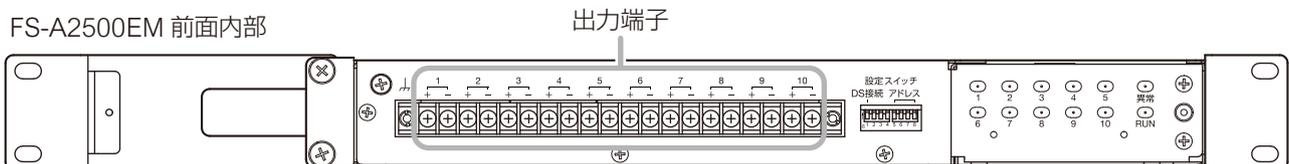
* 2 非常断 24 V 出力端子を出力端子グループ (#1、#2) に割り当てることができます。

総合点検時は、出力端子グループごとに、制御するかしないかが設定できます。(P. 118 「総合点検」)

FS-A2500EP 端子部



FS-A2500EM 前面内部



※ FS-A2500EM 後面の設定切換コネクタが装着状態のとき、非常断 24 V 設定となり、出力端子は非常断 24 V 出力端子として動作します。

| 1-5-4 非常断 24 V 出力設定 | | | |
|---------------------|------|----|---|
| ユニット | ◀EP▶ | 端子 | 1 |
| 業務中動作 | 継続 | | |
| 出力端子グループ | #1 | | |

[決定]
端子選択
[戻る]
戻る

1 ↓ ◯ または ◯▶
決定
◯ で「端子」へ移動

| 1-5-4 非常断 24 V 出力設定 | | | |
|---------------------|----|----|------|
| ユニット | EP | 端子 | ◀▶1▶ |
| 業務中動作 | 継続 | | |
| 出力端子グループ | #1 | | |

[決定]
詳細選択
[戻る]
ユニット選択

3 ↓ ◯ または ◯▶
決定
◯ で詳細選択へ移動

| 1-5-4 非常断 24 V 出力設定 | | | |
|---------------------|----|----|---|
| ユニット | EP | 端子 | 1 |
| 業務中動作 | 継続 | | |
| 出力端子グループ | #1 | | |

[決定]
編集
[戻る]
端子選択

5 ↓ ◯ または ◯▶
決定
◯ で編集可能に

| 1-5-4 非常断 24 V 出力設定 | | | |
|---------------------|------|----|---|
| ユニット | EP | 端子 | 1 |
| 業務中動作 | ◀継続▶ | | |
| 出力端子グループ | #1 | | |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

8 ↓ ◯ または ◯▶ で設定変更
決定
◯ で内容確定

5～8を繰り返す

10 ↓ ◯▶ で端子選択に戻る

3～10を繰り返す

12 ↓ ◯▶ でユニット選択に戻る

1～12を繰り返す

非常断 24 V 出力設定完了

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「4 非常断 24 V 出力設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「端子」に移動します。

3 左右シフトキーで「端子」を選択する。

4 決定キーを押す。

カーソルが詳細選択に移動します。

5 上下シフトキーで設定項目を選択する。

6 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

7 左右シフトキーで設定値を選択する。

8 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

9 必要に応じて、手順 5～8 を繰り返す。

10 戻るキーを押す。

端子選択に戻ります。

11 手順 3～10 を繰り返して、すべての端子について設定する。

12 戻るキーを押す。

ユニット選択に戻ります。

13 手順 1～12 を繰り返して、すべてのユニットについて設定する。

■ EV 音源音量設定 (1-5-5)

EV 放送、チャイム、点検音源、注意喚起メッセージの再生時の音量を設定します。

種別ごとに個別または一括で設定できます。

音量を設定した後に、モニタースピーカーで試聴することもできます。試聴中は非常 RM の放送モニターが停止します。

設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------|---------------|----------------------|--------------|
| 種別 | 音源の種別を選択。 | EV 放送、チャイム、点検音源、注意喚起 | EV 放送 |
| 音量 | 音源の再生時の音量を設定。 | -30 ~ 0 dB | (音源により異なる) * |

* 初期設定の詳細は下記のとおりです。

| 種別 | 音源番号 | 内容 | 初期設定 |
|-------|--------|---------------|--------|
| EV 放送 | 1 ~ 10 | ※ P. 78 の表を参照 | 0 dB |
| チャイム | 1 | 上り 4 音 | -10 dB |
| | 2 | 下り 4 音 | |
| | 3 | 2 音 | |
| | 4 | ゴング | |
| 点検音源 | 1 | 点検開始 (アナウンス) | -10 dB |
| | 2 | 点検中 (環境音) | -20 dB |
| 注意喚起 | 1 | 注意喚起メッセージ 1 | 0 dB |
| | 2 | 注意喚起メッセージ 2 | |

【一括設定と音量確認のしかた (「種別」が「EV 放送」または「チャイム」のときのみ)】

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-----|--|
| 種別 | 音源 | 音量 | |
| ◀ EV 放送 ▶ | 1 | 0dB | [1] 一括設定 [2] 個別設定 [戻る] 戻る |
| | 2 | 0dB | |
| | 3 | 0dB | |
| | 4 | 0dB | |
| | 5 | 0dB | |

1 ↓ ◯ または ◯ ▶ で種別選択
↓
1 ◯ で一括設定へ

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-----|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | 0dB | ▶ |
| | 2 | 0dB | ▶ |
| 全音量 | 3 | 0dB | ▶ |
| 0dB | 4 | 0dB | ▶ |
| | 5 | 0dB | ▶ |

[決定]
編集
[戻る]
種別選択

↓ 決定 ◯ で編集可能に

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-----|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | 0dB | ▶ |
| | 2 | 0dB | ▶ |
| 全音量 | 3 | 0dB | ▶ |
| ◀ 0dB ▶ | 4 | 0dB | ▶ |
| | 5 | 0dB | ▶ |

[0 - 9]
数値入力
[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

↓ 0 ◯ ~ 9 ◯ で数値入力
↓ 決定 ◯ で数値確定

音量確認は
次ページへ

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「5 EV 音源音量設定」決定時

1 左右シフトキーで種別を選択する。

2 数字キー「1」を押す。

ご注意

「種別」が「点検音源」のときは、個別設定のみです。「1」を押しても無効になります。

全音量設定欄が表示されます。

3 決定キーを押す。

全音量が変更できるようになります。

4 数字キーで数値を入力する。

5 決定キーを押す。

すべての音源の音量が変更されます。

前ページから

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-------|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | -10dB | ▶ |
| | 2 | -10dB | ▶ |
| | 3 | -10dB | ▶ |
| | 4 | -10dB | ▶ |
| | 5 | -10dB | ▶ |

全音量
-10dB

[決定]
編集
[戻る]
種別選択

◀○または○▶でカーソル移動

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-------|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | -10dB | ▶ |
| | 2 | -10dB | ▶ |
| | 3 | -10dB | ▶ |
| | 4 | -10dB | ▶ |
| | 5 | -10dB | ▶ |

全音量
-10dB

[前/次]
改画面
[決定]
音源再生
[戻る]
種別選択

- 6 ▲ ○ または ▼ ○ で音源選択
決定 ○ で音源再生
- 8 決定 ○ で音源停止
- 6～8を繰り返す
- 10 戻る ○ で種別選択に戻る
- 1～10を繰り返す

EV 音源音量設定完了

[個別設定と音量確認のしかた]

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-----|--|
| 種別 | 音源 | 音量 | |
| ◀EV 放送▶ | 1 | 0dB | |
| | 2 | 0dB | |
| | 3 | 0dB | |
| | 4 | 0dB | |
| | 5 | 0dB | |

[1]
一括設定
[2]
個別設定
[戻る]
戻る

- 1 ▲ ○ または ▼ ○ で種別選択
2 ○ で個別設定へ

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-----|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | 0dB | ▶ |
| | 2 | 0dB | ▶ |
| | 3 | 0dB | ▶ |
| | 4 | 0dB | ▶ |
| | 5 | 0dB | ▶ |

[前/次]
改画面
[決定]
編集
[戻る]
種別選択

- 3 ▲ ○ または ▼ ○ で音源選択
決定 ○ で編集可能に
次ページへ

5 音量を確認したいときは、左右シフトキーを押す。

カーソルが再生欄に移動します。

6 上下シフトキーで、再生したい音源を選択する。

7 決定キーを押す。

再生中はアイコンが■に変わります。
再生はエンドレスで行います。

8 決定キーを押す。

再生が停止します。

9 必要に応じて、手順6～8を繰り返す。

10 戻るキーを押す。
種別選択に戻ります。

11 手順1～10を繰り返す。

「1-5 業務放送設定」(P. 88)で「5 EV 音源音量設定」決定時

1 左右シフトキーで種別を選択する。

2 数字キー「2」を押す。

個別音量にカーソルが移動します。

3 上下シフトキーで音源を選択する。

4 決定キーを押す。

前ページから



| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-------|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | ◀0dB▶ | ▶ |
| | 2 | 0dB | ▶ |
| | 3 | 0dB | ▶ |
| | 4 | 0dB | ▶ |
| | 5 | 0dB | ▶ |

[0-9]
 数値入力
 [決定]
 セット
 [戻る]
 キャンセル



6

○ ~ ○ で数値入力
 決定
 ○ で数値確定

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-------|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | -10dB | ▶ |
| | 2 | 0dB | ▶ |
| | 3 | 0dB | ▶ |
| | 4 | 0dB | ▶ |
| | 5 | 0dB | ▶ |

[前/次]
 改画面
 [決定]
 編集
 [戻る]
 種別選択



3 ~ 6 を繰り返す

◀○ または ○▶ でカーソル移動

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-------|----|
| 種別 | 音源 | 音量 | 再生 |
| EV 放送 | 1 | -10dB | ▶ |
| | 2 | 0dB | ▶ |
| | 3 | 0dB | ▶ |
| | 4 | 0dB | ▶ |
| | 5 | 0dB | ▶ |

[前/次]
 改画面
 [決定]
 音源再生
 [戻る]
 種別選択

9

○ または ○ で音源選択
 決定

11

○ で音源再生
 決定
 ○ で音源停止



9 ~ 11 を繰り返す

13

戻る
 ○ で種別選択に戻る

| 1-5-5 EV 音源音量設定 | | | |
|-----------------|----|-------|--|
| 種別 | 音源 | 音量 | |
| ◀EV 放送▶ | 1 | -10dB | |
| | 2 | 0dB | |
| | 3 | 0dB | |
| | 4 | 0dB | |
| | 5 | 0dB | |

[1]
 一括設定
 [2]
 個別設定
 [戻る]
 戻る



1 ~ 13 を繰り返す

EV 音源音量設定完了

音量が変更できるようになります。

5 数字キーで数値を入力する。

6 決定キーを押す。

音量が変更されます。

7 必要に応じて、手順 3 ~ 6 を繰り返す。

8 音量を確認したいときは、左右シフトキーを押す。

カーソルが再生欄に移動します。

9 上下シフトキーで、再生したい音源を選択する。

10 決定キーを押す。

再生中はアイコンが■に変わります。
 再生はエンドレスで行います。

11 決定キーを押す。

再生が停止します。

12 必要に応じて、手順 9 ~ 11 を繰り返す。

13 戻るキーを押す。

種別選択に戻ります。

14 手順 1 ~ 13 を繰り返す。

■ 音量・音質設定 (1-5-6)

音声入出力の音量、音質などを設定します。

| 1-5-6 音量・音質設定 | |
|----------------------|----------------------------|
| 1 音声入力設定 2 音声出力設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「6 音量・音質設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|----------|-----------------|
| 1 音声入力設定 | 下記 (1-5-6-1) |
| 2 音声出力設定 | P. 99 (1-5-6-2) |



各設定項目の参照先へ

■ 音声入力設定 (1-5-6-1)

音声入力の音量、音質などを設定します。

| 1-5-6-1 音声入力設定 | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 簡易設定 2 設定詳細表示 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

「1-5-6 音量・音質設定」(上記) で「1 音声入力設定」決定時

手順：設定したい項目を選択し、決定する。

| 設定項目 | 参照先 |
|----------|-------------------|
| 1 簡易設定 | 下記 (1-5-6-1-1) |
| 2 設定詳細表示 | P. 99 (1-5-6-1-2) |



各設定項目の参照先へ

■ 簡易設定 (1-5-6-1-1)

各放送入力について音量や低域・高域ゲインなどの設定をします。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------|--|--|--------|
| 音声入力 | 入力音源を選択。 | 本体マイク、外部放送入力、非常 RM *1、業務 RM *2、PM1 音声入力 1～8 *3,4、PM2 音声入力 1～8 *3,4、PM3 音声入力 1～8 *3,4、ミックスバス 1～4 *5,6 | — |
| 音量 | 音源ごとに入力音量を設定。 設定できるのは以下の音源のみ。*7 業務 RM、PM1 音声入力 1～4、PM2 音声入力 1～4、PM3 音声入力 1～4 | 0～+12 dB、3 dB ステップ | 0 dB |
| 低域ゲイン | 低域のゲインを設定。 | -15.0～+15.0 dB、0.5 dB ステップ | 0.0 dB |
| 高域ゲイン | 高域のゲインを設定。 | -15.0～+15.0 dB、0.5 dB ステップ | 0.0 dB |
| Comp. | コンプレッサーの ON/OFF を設定。 | ON、OFF | OFF |
| しきい値 | コンプレッサー使用時のしきい値を設定。 | -20～0 dB、1 dB ステップ | -6 dB |

*1 非常用リモコンが 1 台以上設定されている場合のみ表示されます。

*2 業務用リモコンが 1 台以上設定されている場合のみ表示されます。

*3 機器構成で設定された FS-2500PM の台数の中から、設定可能な音声入力のみ表示されます。

*4 ミックスバスに設定された PM 音声入力 5～8 は表示されません。

*5 FS-2500PM の音声入力が割り当てられていないミックスバスは表示されません。

*6 「1-4-1-1 外部放送音声入力設定」(P. 54) で FS-A2500EP の外部放送をミックスバス 4 として使用している場合、ミックスバス 4 は表示されません。音声入力の項目で「外部放送入力」を選択して設定してください。

*7 ここで「業務 RM」と表示される音源は、業務用リモコンのうち、音声入力を非常用操作パネル FS-A2500EP に接続するもののみです。音声入力をプリアンプマトリクスパネル FS-2500PM に接続する業務用リモコンの音量は「PM 音声入力」の音源の方で設定します。ここで設定できない音源の音量は各機器の音量調節器で調節してください。

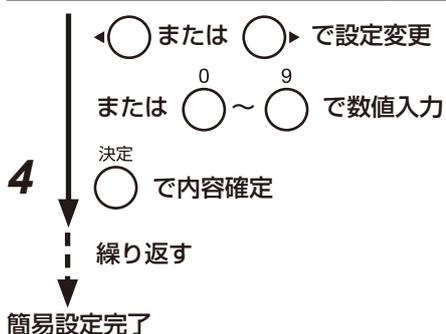
| 1-5-6-1-1 簡易設定 | |
|----------------|-------|
| 音声入力 | 本体マイク |
| 音量 | --- |
| 低域ゲイン | 0.0dB |
| 高域ゲイン | 0.0dB |
| Comp. | OFF |
| しきい値 | --- |

[決定]
編集
[戻る]
戻る



| 1-5-6-1-1 簡易設定 | |
|----------------|---------|
| 音声入力 | ◀本体マイク▶ |
| 音量 | --- |
| 低域ゲイン | 0.0dB |
| 高域ゲイン | 0.0dB |
| Comp. | OFF |
| しきい値 | --- |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル



- 1** 上下シフトキーで設定項目を選択する。
- 2** 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

- 3** 左右シフトキーで設定を変更するか数字キーで数値を入力する。
- 4** 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

- 5** 手順 1 ~ 4 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

■ 設定詳細表示 (1-5-6-1-2)

使用しません。

■ 音声出力設定 (1-5-6-2)

音声出力の音量、音質などを設定します。
設定項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|-------|-----------------|--|------|
| ユニット | 出力系統を持つユニットを選択。 | EP、EX1 ~ 13 | — |
| 出力系統 | 出力系統を選択。 | EP : 1 EX1 ~ 13 : 1 ~ 8 | — |
| 音量 | 出力音量を設定。 | -30 ~ 0 dB、1 dB ステップ | 0 dB |
| プリセット | 使用するプリセット*を選択。 | なし、CM-1230、CM-1830A、CM-2330A、PC-2238、BS-34、SC-710AM、CS-153、CS-63、ユーザー設定 9 ~ 25 * | なし |

* プリセットとして、以下のスピーカーに最適な音質設定を選択することができます。

| 名称 | プリセットに適合するスピーカー |
|----------|-------------------------------|
| CM-1230 | 小型天井埋込スピーカー CM-1230、CM-1230T |
| CM-1830A | 天井埋込型スピーカー CM-1830A、CM-1830AT |
| CM-2330A | 天井埋込型スピーカー CM-2330A、CM-2330AT |
| PC-2238 | 露出型スピーカー PC-2238、PC-2238T |
| BS-34 | 木製壁掛型スピーカー BS-34、BS-34T |
| SC-710AM | ホーンスピーカー SC-710AM |
| CS-153 | ワイドホーンスピーカー CS-153 |
| CS-63 | ワイドホーンスピーカー CS-63 |

ユーザー設定 9 ~ 25 は使用しません。
詳しくは当社営業所へお問い合わせください。

| 1-5-6-2 音声出力設定 | | | |
|----------------|------|------|---|
| ユニット | ◀EP▶ | 出力系統 | 1 |
| 音量 | 0dB | | |
| プリセット | なし | | |

[決定]
出力系統選択
[戻る]
戻る

1 ↓ ◯ または ◯
決定
◯ で「出力系統」へ移動

| 1-5-6-2 音声出力設定 | | | |
|----------------|-----|------|-------|
| ユニット | EX1 | 出力系統 | ◀ 1 ▶ |
| 音量 | 0dB | | |
| プリセット | なし | | |

[決定]
詳細選択
[戻る]
ユニット選択

3 ↓ ◯ または ◯
決定
◯ で設定選択へ移動

| 1-5-6-2 音声出力設定 | | | |
|----------------|-----|------|---|
| ユニット | EX1 | 出力系統 | 1 |
| 音量 | 0dB | | |
| プリセット | なし | | |

[決定]
編集
[戻る]
出力系統選択

5 ↓ ◯ または ◯ で項目選択
決定
◯ で編集可能に

| 1-5-6-2 音声出力設定 | | | |
|----------------|-------|------|---|
| ユニット | EX1 | 出力系統 | 1 |
| 音量 | ◀0dB▶ | | |
| プリセット | なし | | |

[0-9]
数値入力
[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

↓ ◯ または ◯ で設定変更
または ◯⁰ ~ ◯⁹ で数値入力
8 ↓ ◯
決定

5 ~ 8 を繰り返す

10 ↓ ◯
戻る
◯ で出力系統選択に戻る
3 ~ 10 を繰り返す

12 ↓ ◯
戻る
◯ でユニット選択に戻る
1 ~ 12 を繰り返す

音声出力設定完了

「1-5-6 音量・音質設定」(P. 98) で「2 音声出力設定」決定時

1 左右シフトキーで「ユニット」を選択する。

2 決定キーを押す。

カーソルが「出力系統」に移動します。

3 左右シフトキーで「出力系統」を選択する。

4 決定キーを押す。

カーソルが設定選択に移動します。

5 上下シフトキーで設定項目を選択する。

6 決定キーを押す。

選択した部分が編集できるようになります。

7 左右シフトキーで設定値を選択するか、数字キーで数値を入力する。

8 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

9 必要に応じて、手順 5 ~ 8 を繰り返す。

10 戻るキーを押す。

出力系統選択に戻ります。

11 (ユニットが EX1 ~ 13 の場合のみ) 手順 3 ~ 10 を繰り返して、すべての出力系統について設定する。

12 戻るキーを押す。

ユニット選択に戻ります。

13 (ユニットが EX1 ~ 13 の場合のみ) 手順 1 ~ 12 を繰り返して、すべてのユニットについて設定する。

■ 音声出力設定詳細表示 (1-5-6-2-1)

使用しません。

■ 作動表示灯設定 (1-5-7)

放送階選択スイッチの作動表示灯の点灯方法を設定します。
設定項目は以下のとおりです。

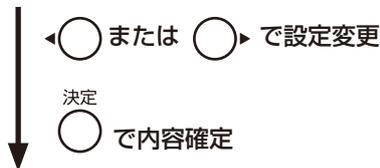
| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|--------|----------------|-------------|----------|
| 表示モード* | 作動表示灯の点灯方法を設定。 | 回線動作中 ON、通常 | 回線動作中 ON |

* 表示モードの設定による具体的な動作の違いについては、別冊の操作説明書「グループ放送」をお読みください。

| 1-5-7 作動表示灯設定 | |
|----------------|--------------------------|
| 表示モード 回線動作中 ON | [決定] 編集 [戻る] 戻る |



| 1-5-7 作動表示灯設定 | |
|------------------|------------------------------|
| 表示モード ◀回線動作中 ON▶ | [決定] セット [戻る] キャンセル |



作動表示灯設定完了

「1-5 業務放送設定」(P. 88) で「7 作動表示灯設定」決定時

1 決定キーを押す。

編集できるようになります。

2 左右シフトキーで設定を変更する。

3 決定キーを押す。
設定内容が決定されます。

■ 設定初期化 (1-6)

FS-A2500 本体の設定データを初期設定に戻すことができます。

| 1 システム設定 | |
|--|----------------------------|
| ！確認 すべてのシステム設定を 工場出荷時の設定に初期化しますか？ [決定]: 初期化する [戻る]: システム設定メニューに戻る | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



設定初期化完了

「1 システム設定」(P. 14) で「6 設定初期化」決定時

確認画面が表示されます。

手順：決定キーを押す。

システム設定のすべての設定内容が初期設定になります。

【ご注意】

決定キーを押すとすぐに初期設定に変わり、放送中の場合は放送が停止します。

■ システム設定の終了 (1-7)

システム設定が完了したら、設定した内容を保存して終了します。

ご注意

設定した内容を保存する、しないに関わらず、以下のシステム設定終了の操作を行って、「業務 RM 音声入力接続先が正しくありません。」と表示されたときは、「1-4-1-2-2 業務 RM 音声入力接続」(P. 57)に戻って、接続先を設定し直してください。

【編集内容を保存してシステム設定を終了する】

| 1 システム設定 | |
|---|----------------------------|
| ！保存確認 現在の業務放送状態を変更します 設定を保存してシステム設定を終了しますか？ [決定]: 保存して終了 [戻る]: システム設定メニューに戻る | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



設定を保存してシステム設定を終了

「1 システム設定」(P. 14) で「7 システム設定の終了」決定時

保存確認画面が表示されます。

手順：決定キーを押す。

システム設定の編集内容を保存してシステム設定を終了します。

ご注意

業務放送に関わる設定の変更を保存すると、放送中の業務放送が停止します。

設定が終わったら…

- 「2-1 自己診断」(P. 104) を行い、異常がないか、確認してください。
- 「2-3-4 設定・音源データ保存 (EP → SD)」(P. 110) を行い、非常用操作パネル FS-A2500EP に挿入された SD カードに FS-A2500EP の設定データ、音源データを保存してください。

【編集内容を保存せずにシステム設定を終了するには…】

「1 システム設定」(P. 14) で「7 システム設定の終了」を選択した後、決定キーを押さずに、次のように操作します。

| 1 システム設定 | |
|---|----------------------------|
| 1 初期設定 2 機器構成設定 3 機器制御設定 4 非常放送設定 5 業務放送設定 6 設定初期化 7 システム設定の終了 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



| 1 システム設定 | |
|--|----------------------------|
| ！終了確認 設定を保存せずにシステム設定を終了しますか？ [決定]: 保存せずに終了 [戻る]: システム設定メニューに戻る | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



設定を保存せずにシステム設定を終了

1 戻るキーを押す。

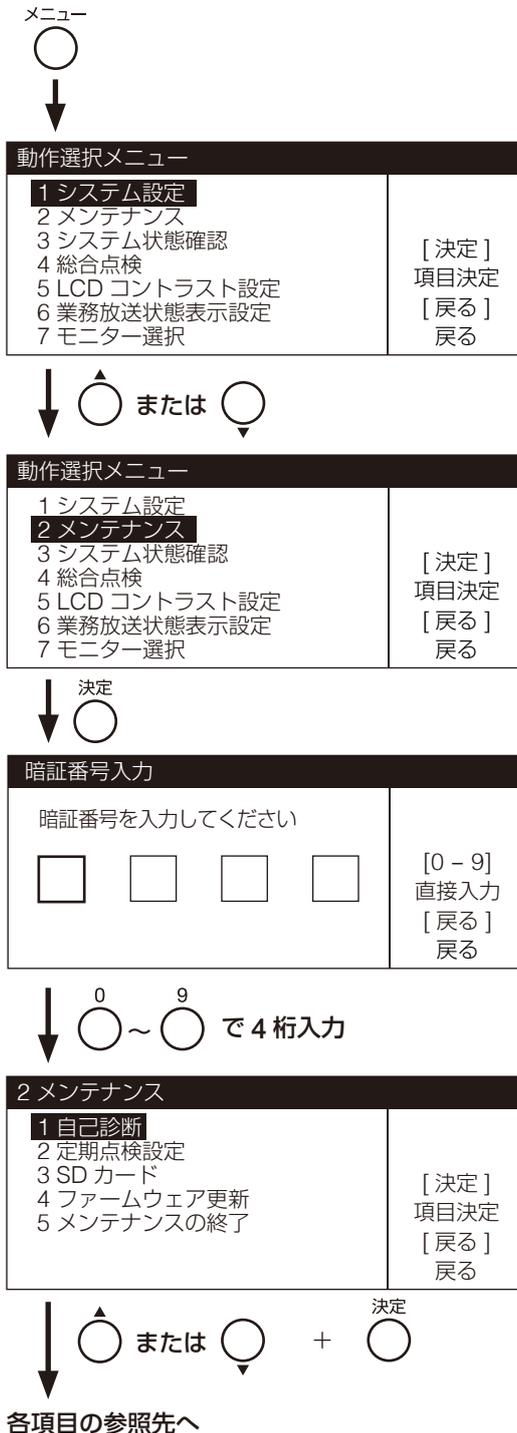
終了確認画面が表示されます。

2 決定キーを押す。

システム設定の編集内容を保存せずに、システム設定を終了します。

メンテナンス

■ メンテナンスモードに入る



1 メニューキーを押す。

2 「2 メンテナンス」を選択し、決定する。

3 4桁の暗証番号を入力する。
初期設定：5555

4 メニュー項目を選択し、決定する。

| 項目 | 参照先 |
|-------------|--------------|
| 1 自己診断 | P. 104 (2-1) |
| 2 定期点検設定 | P. 106 (2-2) |
| 3 SD カード | P. 106 (2-3) |
| 4 ファームウェア更新 | P. 113 (2-4) |
| 5 メンテナンスの終了 | P. 113 (2-5) |

■ 自己診断 (2-1)

蓄電池点検やアンブ点検など、1日1回の定期点検で行う内容を個別に確認できます。また、定期点検の開始時刻を設定します。

設定項目および点検項目は以下のとおりです。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲* | 初期設定 |
|------|--------------------|---------|------|
| 自己診断 | 自己診断を自動で行うかどうかを設定。 | 通常、手動のみ | 通常 |

* 設定範囲の詳細は下記のとおりです。

| 設定範囲 | 説明 |
|------|-----------------------------------|
| 通常 | 起動時の構成確認と定期点検開始時刻経過による定期点検を行います。 |
| 手動のみ | 起動時の構成確認と定期点検開始時刻経過による定期点検は行いません。 |

| 点検項目 | 点検内容 |
|-------|---------------------|
| 全体確認 | システムに異常がないか確認。 |
| 接続確認 | 機器の接続が正常に行われているか確認。 |
| 蓄電池点検 | 電源パネルの蓄電池の確認。 |
| アンブ点検 | アンブに異常がないか確認。 |

● 自己診断の設定

自己診断を自動で行うかどうかを設定します。「通常」に設定したときは、「2-2 定期点検設定」(P. 106)で定期点検時刻を設定してください。

| 2-1 自己診断 | |
|----------|----|
| 自己診断 | 通常 |
| 全体確認 | 正常 |
| 接続確認 | 正常 |
| 蓄電池点検 | 正常 |
| アンブ点検 | 正常 |

[決定]
[編集]
[戻る]
戻る



| 2-1 自己診断 | |
|----------|------|
| 自己診断 | ◀通常▶ |
| 全体確認 | 正常 |
| 接続確認 | 正常 |
| 蓄電池点検 | 正常 |
| アンブ点検 | 正常 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル



| 2-1 自己診断 | |
|----------|------|
| 自己診断 | 手動のみ |
| 全体確認 | 正常 |
| 接続確認 | 正常 |
| 蓄電池点検 | 正常 |
| アンブ点検 | 正常 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

「2 メンテナンス」(P. 103)で「1 自己診断」決定時

- 1 上下シフトキーで「自己診断」を選択する。
- 2 決定キーを押す。

編集できるようになります。

- 2 左右シフトキーで設定を変更する。
- 3 決定キーを押す。

設定内容が決定されます。

● 点検のしかた

以下の操作により、定期点検で行う内容を手動で個別に確認できます。

ご注意

点検は放送停止中に行ってください。

| 2-1 自己診断 | |
|----------|----|
| 自己診断 | 通常 |
| 全体確認 | 正常 |
| 接続確認 | 正常 |
| 蓄電池点検 | 正常 |
| アンブ点検 | 正常 |

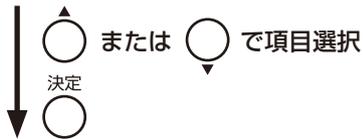
[決定]
開始
[戻る]
戻る

「2 メンテナンス」(P. 103) で「1 自己診断」決定時

1 上下シフトキーで点検項目を選択する。

2 決定キーを押す。

選択した項目の点検が開始されます。



点検開始

● 異常があったとき

- 点検の結果、異常があったときは異常表示灯が点滅し、異常警告音が鳴ります。
- CPU に異常があったときは RUN 表示灯が点灯または消灯し続けます。
- 異常警告音を停止させるには、異常音停止スイッチを押します。
- 異常音停止スイッチを押すと、異常表示灯の点滅が停止し、液晶画面に異常の内容が表示されます。ただし、異常が複数発生したときは、最新の異常のみ表示されます。

重要

機器がいつでも正常に動作するように、点検を必ず実施してください。
異常が発生したときは、直ちに販売店または保守契約店にご連絡ください。

ご注意

蓄電池の寿命は4年です。使用状態にかかわらず、これを過ぎると停電中の放送に問題を起こす恐れがあります。点検時のエラー発生の有無にかかわらず、すみやかに販売店または保守契約店へ連絡してください。蓄電池の交換およびリサイクルについては別冊の設置説明書または操作説明書の「ニカド電池の交換について」「ニカド電池のリサイクルについて」をお読みください。

■ 定期点検設定 (2-2)

1日1回行う定期点検の開始時刻を設定します。

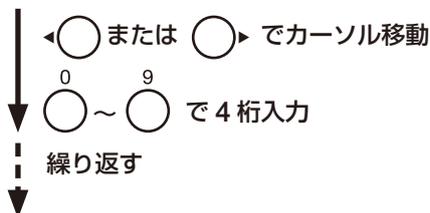
「2-1 自己診断」(P. 104)で「自己診断」を「通常」に設定したときのみ、設定できます。

| 設定項目 | 設定内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|----------|---------------------|----------------------|-------|
| 定期点検開始時刻 | 1日1回行う定期点検の開始時刻を設定。 | 00:00 ~ 23:59 (1分単位) | 00:00 |

ご注意

- 「1-1-1 時刻設定」(P. 15)で、時刻を正しく設定してください。
- 放送中に定期点検開始時刻になった場合は、放送停止後に定期点検を行います。
- 定期点検中に放送が開始された場合は、即座に点検が中止され、正確な点検が行えません。定期点検開始時刻は放送を行わない時刻に設定してください。

| 2-2 定期点検設定 | |
|------------|---|
| 定期点検開始時刻 | 00:00 |
| | [0-9] 時刻修正 [決定] セット [戻る] キャンセル |



| 2-2 定期点検設定 | |
|------------|---|
| 定期点検開始時刻 | 22:00 |
| | [0-9] 時刻修正 [決定] セット [戻る] キャンセル |



定期点検時刻設定完了

「2 メンテナンス」(P. 103)で「2 定期点検設定」決定時

1 左右シフトキーでカーソルを移動させ、数字キーで時刻を入力する。

ご注意

無効な数値は入力できません。

2 手順1を繰り返し、変更が必要な部分すべてに数値を入力する。

3 決定キーを押す。

入力した定期点検時刻が設定されます。

■ SD カード (2-3)

SDカードを使用して各種データの読み込み/保存を行います。また、FS-A2500本体(非常用操作パネルFS-A2500EP)とSDカード間での設定データの内容を比較します。

実施できる項目は以下のとおりです。

| 実施項目 | 実施内容 |
|----------------------|--|
| 設定データ更新 (SD → EP) | SDカードからFS-A2500EPへ設定データを読み込みます。 |
| 設定・音源データ更新 (SD → EP) | SDカードからFS-A2500EPへ設定データと音源データを読み込みます。 |
| 設定データ保存 (EP → SD) | FS-A2500EPの設定データをSDカードに保存します。 |
| 設定・音源データ保存 (EP → SD) | FS-A2500EPの設定データと音源データをSDカードに保存します。 |
| 履歴データ保存 (EP → SD) | FS-A2500EPの履歴データをSDカードに保存します。 |
| 設定データ比較 (SD ↔ EP) | FS-A2500EPとSDカードの設定データと音源情報データの内容を比較します。 |

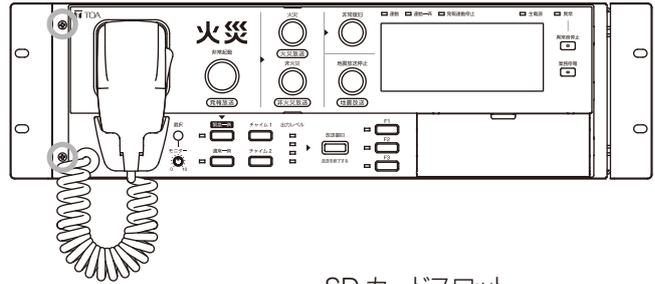
ご注意

- SDカード内には本操作で扱う以外のデータは保存しないでください。容量不足となる恐れがあります。
- SDカードのアクセス中にリセットやSDカードの挿抜をしないでください。故障の原因となる恐れがあります。
- 付属のSDカードを使用してください。

● SD カードの挿入のしかた

- 1 FS-A2500EP 前面のねじ 2 本を外して、扉を開く。

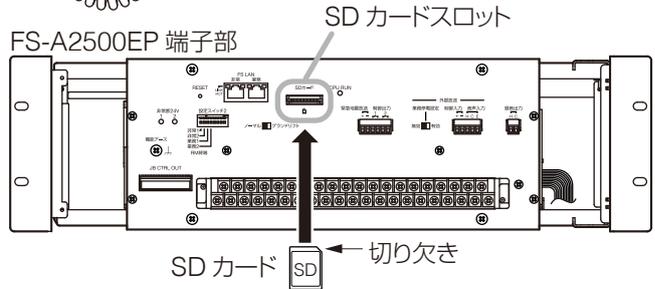
FS-A2500EP 前面



- 2 FS-A2500EP 端子部の SD カードスロットに SD カードを挿入する。

SD カードのラベル面を上にし、切り欠きを右にして挿入してください。

FS-A2500EP 端子部



■ 設定データ更新 (SD → EP) (2-3-1)

SD カード内から FS-A2500 本体 (非常用操作パネル FS-A2500EP) へ設定データを読み込みます。

| 2-3 SD カード | |
|----------------------|------------------------------|
| 1 設定データ更新 (SD→EP) | [決定] 更新 [戻る] 戻る |
| 2 設定・音源データ更新 (SD→EP) | |
| 3 設定データ保存 (EP→SD) | |
| 4 設定・音源データ保存 (EP→SD) | |
| 5 履歴データ保存 (EP→SD) | |
| 6 設定データ比較 (SD⇄EP) | |



| 2-3-1 設定データ更新 (SD→EP) |
|---|
| <p>! 確認</p> <p>すべての業務放送が停止します よろしいですか?</p> <p>決定: 実行 戻る: メニューに戻る</p> |



| 2-3-1 設定データ更新 (SD→EP) | |
|-----------------------|---------------|
| 設定データの更新が完了しました | [戻る] 閉じる |

[2 メンテナンス] (P. 103) で「3 SD カード」決定時

- 1 上下シフトキーで「1 設定データ更新 (SD → EP)」を選択する。

- 2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

- 3 決定キーを押す。

設定データの更新が始まります。

更新が完了すると、更新完了画面が表示されます。

■ 設定・音源データ更新 (SD → EP) (2-3-2)

SD カード内から FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）へ設定データと音源データを読み込みます。

ご注意

- 設定・音源データ更新はシステム構成により 10 分～数時間程度かかります。その間は非常放送を含む放送が一切行えません。また、非常用リモコンおよび業務用リモコンとのデータ通信が停止するため、両リモコンに通信異常の表示がされます。
- 更新する設定データ上の FS-A2500EX の機器構成と、実際に接続されている FS-A2500EX の機器構成を合わせた状態で設定・音源データ更新を行ってください。FS-A2500EX の機器構成が合っていないと、音源データの更新が正しく行えません。

| 2-3 SD カード | |
|----------------------------|--------------------------|
| 1 設定データ更新 (SD→EP) | [決定] 更新 [戻る] 戻る |
| 2 設定・音源データ更新(SD→EP) | |
| 3 設定データ保存 (EP→SD) | |
| 4 設定・音源データ保存(EP→SD) | |
| 5 履歴データ保存 (EP→SD) | |
| 6 設定データ比較 (SD⇄EP) | |



| 2-3-2 設定・音源データ更新 (SD→EP) |
|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>！確認</p> <p>すべての放送が一時停止します。よろしいですか？</p> <p>決定：実行 戻る：メニューに戻る</p> </div> |



| 2-3-2 設定・音源データ更新 (SD→EP) |
|--|
| ファイル転送中 (1 / 3) <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-top: 10px;"></div> |



| 2-3-2 設定・音源データ更新 (SD→EP) | |
|---|-------------|
| 設定・音源データの更新が完了しました <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px; margin-top: 10px;"></div> | [戻る] 閉じる |

「2 メンテナンス」(P. 103) で「3 SD カード」決定時

- 1 上下シフトキーで「2 設定・音源データ更新 (SD → EP)」を選択する。
- 2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

- 3 決定キーを押す。

ファイル転送が開始されます。

更新が完了すると、更新完了画面が表示されます。

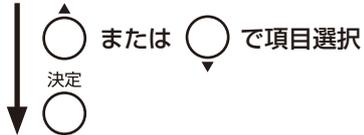
※ エラーメッセージが表示された場合は、以下のように対応してください。

| | エラーメッセージ | 対応方法 |
|---|------------------|---|
| ① | SD カードが入っていません | SD カードを挿入してください。 |
| ② | 内蔵音源の更新に失敗しました | もう一度やり直してください。 |
| ③ | 必要な音源データが不足しています | 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager で設定・音源データをもう一度アップロードしてください。 |
| ④ | サポート外データがあります | もう一度アップロードしてください。 |

■ 設定データ保存 (EP → SD) (2-3-3)

FS-A2500 本体 (非常用操作パネル FS-A2500EP) の設定データを SD カードに保存します。

| 2-3 SD カード | |
|--------------------------|------------|
| 1 設定データ更新 (SD→EP) | |
| 2 設定・音源データ更新(SD→EP) | |
| 3 設定データ保存 (EP→SD) | [決定] 保存 |
| 4 設定・音源データ保存(EP→SD) | |
| 5 履歴データ保存 (EP→SD) | [戻る] 戻る |
| 6 設定データ比較 (SD⇄EP) | |



| 2-3-3 設定データ保存 (EP→SD) |
|--|
| ！確認 SD カードに 設定データを保存します。 よろしいですか? 決定：実行 戻る：メニューに戻る |



| 2-3-3 設定データ保存 (EP→SD) | |
|-----------------------|-------------|
| 設定データの保存が完了しました | [戻る] 閉じる |

「2 メンテナンス」(P. 103) で「3 SD カード」決定時

1 上下シフトキーで「3 設定データ保存 (EP → SD)」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

3 決定キーを押す。

保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

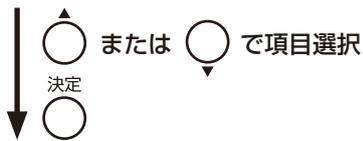
■ 設定・音源データ保存 (EP → SD) (2-3-4)

FS-A2500 本体 (非常用操作パネル FS-A2500EP) の設定データと音源データを SD カードに保存します。

ご注意

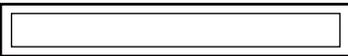
設定・音源データ保存はシステム構成により 10 分～数時間程度かかります。その間は非常放送を含む放送が一切行えません。また、非常用リモコンおよび業務用リモコンとのデータ通信が停止するため、両リモコンに通信異常の表示がされます。

| 2-3 SD カード | |
|-----------------------------|------|
| 1 設定データ更新 (SD→EP) | |
| 2 設定・音源データ更新 (SD→EP) | |
| 3 設定データ保存 (EP→SD) | [決定] |
| 4 設定・音源データ保存 (EP→SD) | 保存 |
| 5 履歴データ保存 (EP→SD) | [戻る] |
| 6 設定データ比較 (SD↔EP) | 戻る |



| 2-3-4 設定・音源データ保存 (EP→SD) |
|---|
| ！確認 SD カードに 設定・音源データを保存します。 よろしいですか？ [決定]: 実行 [戻る]: メニューに戻る |



| 2-3-4 設定・音源データ保存 (EP→SD) |
|---|
| ファイル転送中 |
|  |



| 2-3-4 設定・音源データ保存 (EP→SD) | |
|--------------------------|-------------|
| 設定・音源データの保存が完了しました | [戻る] 閉じる |

「2 メンテナンス」(P.103) で「3 SD カード」決定時

1 上下シフトキーで「4 設定・音源データ保存 (EP → SD)」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

3 決定キーを押す。

ファイル転送が開始されます。

保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

■ 履歴データ保存 (EP → SD) (2-3-5)

FS-A2500 本体（非常用操作パネル FS-A2500EP）の履歴データを SD カードに保存します。
メニューから行う方法と設定スイッチで行う方法があります。

[メニューから行う方法]

| 2-3 SD カード | |
|--------------------------|------|
| 1 設定データ更新 (SD→EP) | |
| 2 設定・音源データ更新 (SD→EP) | |
| 3 設定データ保存 (EP→SD) | [決定] |
| 4 設定・音源データ保存 (EP→SD) | 保存 |
| 5 履歴データ保存 (EP→SD) | [戻る] |
| 6 設定データ比較 (SD⇄EP) | 戻る |



| 2-3-5 履歴データ保存 (EP→SD) |
|--|
| ！確認 SD カードに 履歴データを保存します。 よろしいですか？ 決定：実行 戻る：メニューに戻る |



| 2-3-5 履歴データ保存 (EP→SD) |
|-----------------------|
| 動作履歴を保存しています |



| 2-3-5 履歴データ保存 (EP→SD) |
|-----------------------|
| 履歴データの保存が完了しました |
| [戻る] 閉じる |

[2 メンテナンス] (P. 103) で「3 SD カード」決定時

1 上下シフトキーで「5 履歴データ保存 (EP → SD)」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認画面が表示されます。

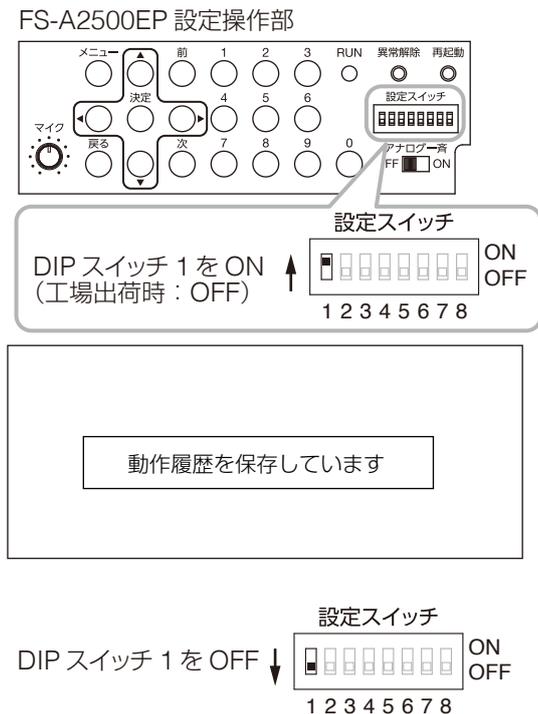
3 決定キーを押す。

履歴データ保存中画面が表示されます。

保存が完了すると、保存完了画面が表示されます。

【設定スイッチで行う方法】

非常用操作パネル FS-A2500EP 設定操作部の設定スイッチを使用して、履歴データを SD カードに保存することができます。



1 設定スイッチの DIP スイッチ 1 を ON にする。

このタイミングで履歴データが SD カードに保存されます。

メモ

設定スイッチが電源起動時に ON の状態であった場合は、保存されません。この場合は、一度 OFF にして再度 ON にしたタイミングで保存されます。

履歴データ保存中画面が表示されます。

2 履歴データ保存中画面が消えてから、設定スイッチの DIP スイッチ 1 を OFF に戻す。

ご注意

履歴データを保存した後は、必ず DIP スイッチ 1 を OFF に戻してください。

■ 設定データ比較 (SD ⇄ EP) (2-3-6)

FS-A2500 本体 (非常用操作パネル FS-A2500EP) と SD カードの設定データおよび音源情報データの内容を比較します。

| 2-3 SD カード | |
|---------------------|------|
| 1 設定データ更新 (SD→EP) | |
| 2 設定・音源データ更新(SD→EP) | |
| 3 設定データ保存 (EP→SD) | [決定] |
| 4 設定・音源データ保存(EP→SD) | 比較 |
| 5 履歴データ保存 (EP→SD) | [戻る] |
| 6 設定データ比較 (SD⇄EP) | 戻る |



| 2-3-6 設定データ比較 (SD⇄EP) | |
|-----------------------|----------|
| 設定データは一致しています | [戻る] 閉じる |

「2 メンテナンス」(P. 103) で「3 SD カード」決定時

1 上下シフトキーで「6 設定データ比較 (EP ⇄ SD)」を選択する。

2 決定キーを押す。

確認結果画面が表示されます。

左の画面は、設定データおよび音源情報データが一致しているときのものです。

※ エラーメッセージが表示された場合は、以下のように対応してください。

| | エラーメッセージ | 対応方法 |
|---|-------------------|---|
| ① | SD カードが入っていません | SD カードを挿入してください。 |
| ② | 設定データは一致していません | 必要に応じて、設定データの保存・更新を行ってください。 |
| ③ | 設定データがありません | 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager で設定・音源データをもう一度アップロードしてください。 |
| ④ | SD カードのファイルが開けません | |

■ ファームウェア更新 (2-4)

通常はこの機能を使用する必要はありません。
ファームウェアのアップデートについては当社営業所にお問い合わせください。

■ メンテナンスの終了 (2-5)

各項目を実施後、メンテナンスモードを終了するときには、以下のように操作します。

メンテナンス各項目実施完了



| 2 メンテナンス | |
|--|--------------------------------|
| 1 自己診断 2 定期点検設定 3 SD カード 4 ファームウェア更新 5 メンテナンスの終了 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



| 2 メンテナンス | |
|--|--------------------------------|
| 1 自己診断 2 定期点検設定 3 SD カード 4 ファームウェア更新 5 メンテナンスの終了 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



メンテナンスモード終了

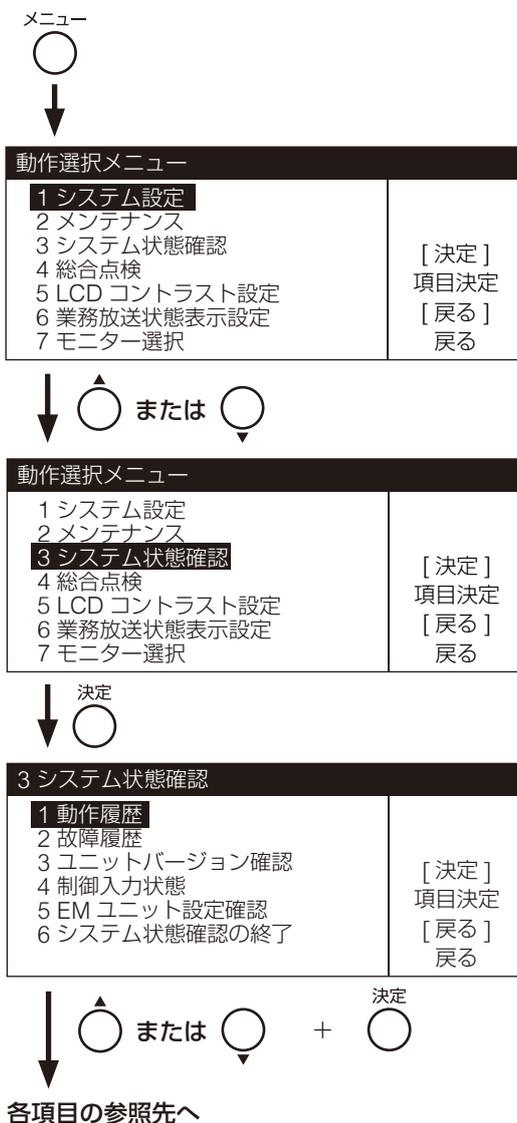
1 メンテナンス各項目を実施後、戻るボタンを押す。
メンテナンスメニューが表示されます。

2 上下シフトキーで「4 メンテナンスの終了」を選択する。

3 決定キーを押す。
メンテナンスモードが終了します。

システム状態確認

■ システム状態確認を始める



1 メニューキーを押す。

2 「3 システム状態確認」を選択し、決定する。

3 メニュー項目を選択し、決定する。

| 項目 | 参照先 |
|---------------|--------------|
| 1 動作履歴 | P. 115 (3-1) |
| 2 故障履歴 | P. 115 (3-2) |
| 3 ユニットバージョン確認 | P. 116 (3-3) |
| 4 制御入力状態 | P. 117 (3-4) |
| 5 EM ユニット設定確認 | P. 117 (3-5) |
| 6 システム状態確認の終了 | P. 118 (3-6) |

■ 動作履歴 (3-1)

システムの動作履歴を確認することができます。動作履歴は 30000 件まで保存できます。動作履歴が 30000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

ご注意

- 「1-1-1 時刻設定」(P. 15) で、時刻を正しく設定しておいてください。
- FS-A2500 本体で確認できるのは、電源投入後からの履歴のみです。
電源投入前の履歴は、設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用して、履歴ファイル表示画面を確認してください。

| 3-1 動作履歴 | | 1/7 |
|-----------------------|-----------|------|
| 18/09/06 19:06 システム | システム起動 | ▲ |
| 18/09/06 19:06 EP | GNDリフト | ノーマル |
| 18/09/06 19:06 EP | 業務停電 | ON |
| 18/09/06 19:06 EP | ▲フロントマイ接続 | 異常 |
| 18/09/06 19:06 EP | ▲フロントマイ接続 | 異常 |
| 18/09/06 19:06 増設 EP1 | ▲機器間通信 | 異常 |
| 18/09/06 19:06 EP-DS1 | ▲内部蓄電池 | 異常 |



「3 システム状態確認」(P. 114) で「1 動作履歴」決定時

動作履歴のリストが表示されます。

手順：上下シフトキーで見たい履歴にカーソルを合わせ、決定キーを押す。

詳細内容が表示されます。

× モ

- 動作履歴のリスト表示で左右シフトキーを押すと、履歴表示が前後の 7 件に移動します。
- ▲ アイコンは故障発生履歴を表しています。

■ 故障履歴 (3-2)

FS-A2500EP の CPU によって検出されたシステムの故障履歴を確認することができます。動作履歴 (3-1) から故障履歴のみを抽出した内容が表示されます。故障履歴は 10000 件まで保存できます。故障履歴が 10000 件を超えた場合、古い履歴から上書きされていきます。

ご注意

- 「1-1-1 時刻設定」(P. 15) で、時刻を正しく設定しておいてください。
- FS-A2500 本体で確認できるのは、電源投入後からの履歴のみです。

| 3-2 故障履歴 | | 1/2 |
|-----------------------|-----------|------|
| 18/09/06 19:06 EP | ▲フロントマイ接続 | 異常 ▲ |
| 18/09/06 19:06 EP | ▲フロントマイ接続 | 異常 |
| 18/09/06 19:06 増設 EP1 | ▲機器間通信 | 異常 |
| 18/09/06 19:06 EP-DS1 | ▲内部蓄電池 | 異常 |
| 18/09/06 19:06 増設 EP1 | ▲機器構成 | 異常 |
| 18/09/06 19:07 非常 RM1 | ▲機器間通信 | 異常 |
| 18/09/06 19:08 非常 RM1 | 機器間通信 | 復旧 ▼ |



「3 システム状態確認」(P. 114) で「2 故障履歴」決定時

故障履歴のリストが表示されます。

手順：上下シフトキーで見たい履歴にカーソルを合わせ、決定キーを押す。

詳細内容が表示されます。

× モ

- 故障履歴のリスト表示で左右シフトキーを押すと、履歴表示が前後の 7 件に移動します。
- ▲ アイコンは故障発生履歴を表しています。

■ ユニットバージョン確認 (3-3)

FS-A2500EP、FS-2500PM、FS-A2500EX、FS-A2500EM、FS-2500RM、FS-2500RX、FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM、FS-2000RF、FS-2420JP および RM-500/200F/200FW のファームウェアのバージョンを確認します。

| 3-3 ユニットバージョン確認 | |
|-----------------|-------|
| ユニット | ◀EP▶ |
| 機器 | バージョン |
| EP | 2.10 |
| JP1 | 5.00 |
| JP2 | --- |
| JP3 | --- |
| JP4 | --- |

[前/次] 改画面
[戻る] 戻る

↓ ◯ または ◯ ▶ でユニット選択

| 3-3 ユニットバージョン確認 | |
|-----------------|---------|
| ユニット | ◀非常 RM▶ |
| 機器 | バージョン |
| 非常 RM1 | 2.01 |
| 非常 RM2 | 2.01 |
| 非常 RM3 | 2.01 |
| 非常 RM4 | 2.01 |
| 非常 RM5 | 2.01 |

[前/次] 改画面
[戻る] 戻る

「3 システム状態確認」(P. 114) で「3 ユニットバージョン確認」決定時

ユニット欄で選択した各機種のファームウェアバージョン一覧が表示されます。

メモ

- ユニットの「EP」、「EX1～13」に合わせると、そのユニットに接続されている「JP」のバージョンも確認できます。
- ユニットの「EP」、「EX1～13」以外に合わせると、選択したユニットに接続されているすべての機器のバージョンが表示されます。上下シフトキーで画面を切り換えて確認します。

[画面での表示と ID (アドレススイッチ設定) の対応]

| ユニット | ID |
|---------|----|
| 非常 RM1 | 00 |
| 非常 RM2 | 01 |
| ⋮ | ⋮ |
| 非常 RM10 | 09 |
| 非常 RM11 | 0A |
| ⋮ | ⋮ |
| 非常 RM16 | 0F |

| ユニット | ID |
|------|----|
| PM1 | 00 |
| PM2 | 01 |
| PM3 | 02 |

| ユニット | ID |
|------|----|
| EX1 | 00 |
| EX2 | 01 |
| ⋮ | ⋮ |
| EX13 | 12 |

| ユニット | ID |
|--------|----|
| 業務 RM1 | 00 |
| 業務 RM2 | 01 |
| ⋮ | ⋮ |
| 業務 RM8 | 07 |

| ユニット | ID |
|------|----|
| JP1 | 00 |
| JP2 | 01 |
| ⋮ | ⋮ |
| JP8 | 07 |

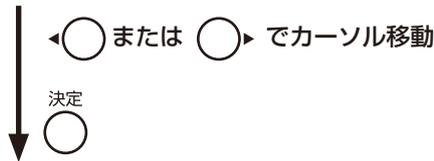
| ユニット | ID |
|------|----|
| RF1 | 00 |
| RF2 | 01 |
| RF3 | 02 |
| RF4 | 03 |

| ユニット | ID |
|------|----|
| EM1 | 00 |
| EM2 | 01 |
| ⋮ | ⋮ |
| EM10 | 09 |

■ 制御入力状態 (3-4)

FS-A2500EP の外部放送制御入力端子と緊急地震接点入力端子、RM-500 の制御入力端子、および FS-2500PM の制御入力端子 1～20 について、現在の状態（メイク／ブレイク）を確認します。

| 3-4 制御入力状態 | |
|-------------------------------|------------|
| ◀ EP PM1 PM2 PM3 RM ▶ | |
| 地震放送入力 | ブレイク |
| 外部放送入力 | ブレイク |
| | [戻る] 戻る |



| 3-4 制御入力状態 | |
|-------------------------------|----------------------------|
| ◀ EP PM1 PM2 PM3 RM ▶ | |
| 制御入力 1 | ブレイク |
| 制御入力 2 | ブレイク |
| 制御入力 3 | ブレイク |
| 制御入力 4 | ブレイク |
| 制御入力 5 | ブレイク |
| | [前/次] 改画面 [戻る] 戻る |

「3 システム状態確認」(P. 114) で「4 制御入力状態」決定時

1 左右シフトキーで、ユニットを選択する。

例えば「PM1」は 1 台目のプリアンプマトリクスパネル、「RM」は業務 RM1～8 を表します。

2 決定キーを押す。

制御入力欄にカーソルが移動します。

3 上下シフトキーで画面表示を切り換えて確認する。

■ EM ユニット設定確認 (3-5)

FS-A2500EM について、現在のユニット設定状態（非常断 24V / 無電圧）を確認します。

| 3-5 EM ユニット設定確認 | |
|-----------------|----------------------------|
| EM1 | 非常断 24V |
| EM2 | 無電圧 |
| EM3 | --- |
| EM4 | --- |
| EM5 | --- |
| EM6 | --- |
| | [前/次] 改画面 [戻る] 戻る |

「3 システム状態確認」(P. 114) で「5 EM ユニット設定確認」決定時

手順：上下シフトキーで画面表示を切り換えて確認する。

■ システム状態確認の終了 (3-6)

システム状態を確認した後、終了するときは、以下のように操作します。

システム状態確認



| 3 システム状態確認 | |
|---------------|--------|
| 1 動作履歴 | |
| 2 故障履歴 | |
| 3 ユニットバージョン確認 | [決定] |
| 4 制御入力状態 | 項目決定 |
| 5 EM ユニット設定確認 | [戻る] |
| 6 システム状態確認の終了 | 戻る |

1 システム状態を確認した後、戻るボタンを押す。

システム状態確認のメニューが表示されます。



| 3 システム状態確認 | |
|---------------|--------|
| 1 動作履歴 | |
| 2 故障履歴 | |
| 3 ユニットバージョン確認 | [決定] |
| 4 制御入力状態 | 項目決定 |
| 5 EM ユニット設定確認 | [戻る] |
| 6 システム状態確認の終了 | 戻る |

2 上下シフトキーで「5 システム状態確認の終了」を選択する。

3 決定キーを押す。

システム状態確認が終了します。



システム状態確認終了

総合点検

通常放送時に近い状態でシステムを動作させて、システム設定が正しくできているかを確認します。通常放送時とは、以下の項目を設定できる点が異なります。

| 設定項目 | 内容 | 設定範囲 | 初期設定 |
|------------------|--|---------------------------------------|-------|
| SP 回線制御 | 実際にスピーカーから音声を出力するかどうかを設定。 | 出力しない、出力する | 出力しない |
| 非常断 24 V 制御 | 非常断 24 V 出力端子グループ 1、2 の出力を制御するかどうかを設定。 | 制御しない、#1 を制御、#2 を制御、#1 と #2 を制御、外部制御* | 制御しない |
| 状態出力 | 状態出力、EB 出力、および非常接点を制御するかどうかを設定。 | 制御しない、制御する | 制御しない |
| 点検音源 | 非常放送時に実際の音声警報メッセージを使用するか、動作確認用のメッセージを使用するかを設定。 | 確認音源、音声警報 | 確認音源 |
| 非常 RM モニター SP 出力 | 非常用リモコンのモニタースピーカーから音声を出力するかどうかを設定。 | 出力しない、出力する | 出力しない |
| 非常 LCD 表示 | 非常放送時に操作ガイドを表示するか EL、EF 信号の状態を表示するかを設定。 | 操作ガイド、EL 状態 | 操作ガイド |

* 外部制御は設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager から非常断 24 V を制御できます。(別冊の設定支援ソフトウェア取扱説明書「非常断 24 V 出力点検」)



| 動作選択メニュー | |
|----------------|----------------------------|
| 1 システム設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 メンテナンス | |
| 3 システム状態確認 | |
| 4 総合点検 | |
| 5 LCD コントラスト設定 | |
| 6 業務放送状態表示設定 | |
| 7 モニター選択 | |



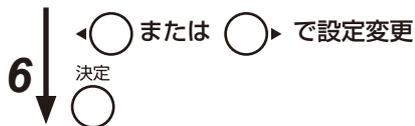
| 動作選択メニュー | |
|----------------|----------------------------|
| 1 システム設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 メンテナンス | |
| 3 システム状態確認 | |
| 4 総合点検 | |
| 5 LCD コントラスト設定 | |
| 6 業務放送状態表示設定 | |
| 7 モニター選択 | |



| 4 総合点検 | | [1] 点検開始 [決定] 編集 [戻る] 戻る |
|------------------|-------|---|
| SP 回線制御 | 出力しない | |
| 非常断 24V 制御 | 制御しない | |
| 状態出力 | 制御しない | |
| 点検音源 | 確認音源 | |
| 非常 RM モニター SP 出力 | 出力しない | |
| 非常 LCD 表示 | 操作ガイド | |



| 4 総合点検 | | [決定] セット [戻る] キャンセル |
|------------------|---------|------------------------------|
| SP 回線制御 | ◀出力しない▶ | |
| 非常断 24V 制御 | 制御しない | |
| 状態出力 | 制御しない | |
| 点検音源 | 確認音源 | |
| 非常 RM モニター SP 出力 | 出力しない | |
| 非常 LCD 表示 | 操作ガイド | |



3～6を繰り返す

次ページへ

1 メニューキーを押す。

2 「4 総合点検」を選択し、決定する。

総合点検画面が表示されます。

3 上下シフトキーで、設定したい項目にカーソルを移動させる。

「SP 回線制御」～「非常 LCD 表示」まで必要な項目を選択します。

設定変更の必要がないときは、手順 8 へ進んでください。

4 決定キーを押す。

編集できるようになります。

5 左右シフトキーで設定を変更する。

6 決定キーを押す。

7 手順 3～6 を繰り返し、必要な設定をすべて行う。

前ページから



| 4 総合点検 | | |
|--------------|-------|------|
| SP 回線制御 | 出力する | [1] |
| 非常断 24V 制御 | 制御しない | 点検開始 |
| 状態出力 | 制御しない | [決定] |
| 点検音源 | 確認音源 | 編集 |
| 非常RMモニターSP出力 | 出力しない | [戻る] |
| 非常LCD表示 | 操作ガイド | 戻る |



| 4 総合点検 | | |
|--|--|--------------------------|
| 総合点検モードを実行します このモードを停止するには、 メニューキーを押してください | | [決定] 実行 [戻る] 戻る |



| 点検 1：残り 30分 | |
|----------------|--|
| [Blank screen] | |



| ! 確認 | | 点検 1：残り 30分 |
|---------------------------|--|--------------------------|
| 総合点検モードを終了します よろしいですか？ | | [決定] 終了 [戻る] 継続 |

8 [1] キーを押す。

確認画面が表示されます。

9 放送が行われていないことを確認し、決定キーを押す。

システム動作確認が開始されます。

[X] [モ]

システム動作確認中は、画面右上に「点検 1」と点検が自動的に終了するまでの残り時間が表示されます。

10 確認が終わったら、メニューキーを押す。

確認画面が表示されます。

11 放送が行われていないことを確認し、決定キーを押す。

画面右上の「点検 1」表示が消え、システム動作確認が終了します。終了すると、「総合点検モードを終了しました」と表示されて、動作選択メニュー画面に戻ります。

ご注意

- 総合点検モードのまま放置すると通常の放送ができません。
- 無操作状態で 15 分経過すると総合点検モードの終了確認画面（「まもなく総合点検モードを自動的に終了します」のメッセージ表示）が表示されます。終了確認画面表示中に戻るキーを押すと、15 分延長することができます。操作しない状態のまま、さらに 15 分経過すると自動的に総合点検モードを終了します。

[X] [モ]

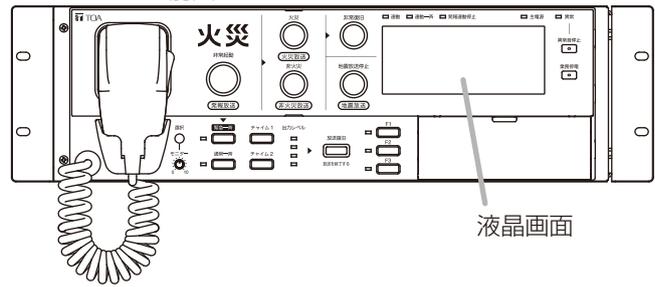
- FS-A2500EP の操作部扉裏面にある点検音声入力を使用すると、フロントマイクの代わりに点検音声入りに接続された機器からの音声をマイク放送として放送できます。
- 「非常 LCD 表示」で「EL 状態」を設定したときは、EL 信号が入力された後は EL 信号の状態が表示されます。右図のように、ON になっている EL 信号が反転して表示されます。
- 右図のような画面で、回線列は、1 つの EL に対して 1 つの個別回線が対応するときは「回線 No.」、1 つのグループ番号が対応するときは「G + グループ No.」、複数の回線・グループが対応するときは「・・・」、回線・グループが 1 つも割り当てられていないときは「---」で表示されます。

| EL 状態表示 | | | | 点検 1：残り 30分 | | | |
|------------|-----|----|----|-------------|----|----|----|
| EL | 回線 | EL | 回線 | EL | 回線 | EL | 回線 |
| 1 | 1 | 6 | 6 | 11 | 11 | 16 | 16 |
| 2 | 2 | 7 | 7 | 12 | 12 | 17 | 17 |
| 3 | 3 | 8 | 8 | 13 | 13 | 18 | 18 |
| 4 | G 4 | 9 | 9 | 14 | 14 | 19 | 19 |
| 5 | --- | 10 | 10 | 15 | 15 | 20 | 20 |
| EF 状態：ブレイク | | | | | | | |

LCD コントラスト設定

非常用操作パネル FS-A2500EP 前面の液晶画面のコントラストを5段階で設定できます。工場出荷時は「標準」に設定されています。

FS-A2500EP 前面



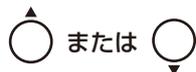
1 メニューキーを押す。

メニュー



動作選択メニュー

| | |
|----------------|----------------------------|
| 1 システム設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 メンテナンス | |
| 3 システム状態確認 | |
| 4 総合点検 | |
| 5 LCD コントラスト設定 | |
| 6 業務放送状態表示設定 | |
| 7 モニター選択 | |



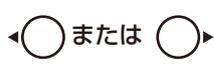
動作選択メニュー

| | |
|----------------|----------------------------|
| 1 システム設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 メンテナンス | |
| 3 システム状態確認 | |
| 4 総合点検 | |
| 5 LCD コントラスト設定 | |
| 6 業務放送状態表示設定 | |
| 7 モニター選択 | |



5 LCD コントラスト設定

| | | | | | | |
|---|----|---|----|---|---------------------------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | [決定] セット [戻る] 戻る | |
| ◀ | ◻ | ◻ | ◻ | ◻ | | ▶ |
| | 薄い | | 標準 | | 濃い | |



5 LCD コントラスト設定

| | | | | | | |
|---|----|---|----|---|---------------------------|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | [決定] セット [戻る] 戻る | |
| ◀ | ◻ | ◻ | ◻ | ◻ | | ▶ |
| | 薄い | | 標準 | | 濃い | |



LCD コントラスト設定終了

2 「5 LCD コントラスト設定」を選択し、決定する。

LCD コントラスト設定画面が表示されます。

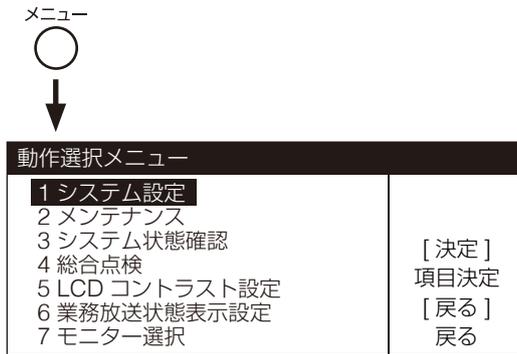
3 左右シフトキーで、設定したい濃さにカーソルを移動させる。

濃くしたいときは右シフトキーを、薄くしたいときは左シフトキーを押して、カーソルを移動させます。

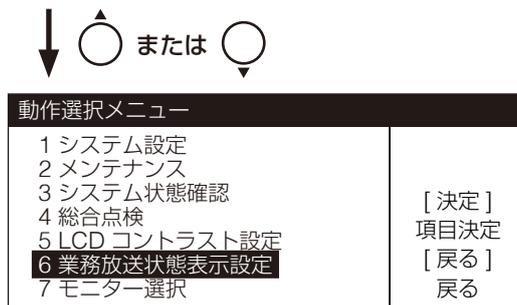
4 決定キーを押す。

業務放送状態表示設定

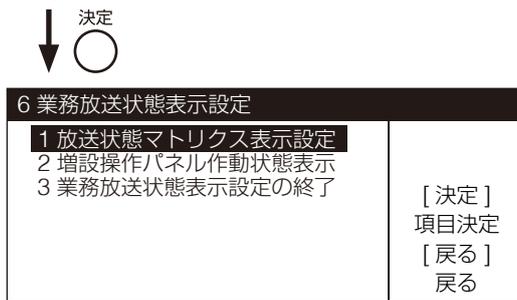
FS-A2500EP および FS-2500RM 前面の液晶画面で業務放送の状態をどのように表示するか設定します。



1 メニューキーを押す。



2 「6 業務放送状態表示設定」を選択し、決定する。



3 メニュー項目を選択し、決定する。

| 項目 | 参照先 |
|-----------------|--------------|
| 1 放送状態マトリクス表示設定 | 下記 (6-1) |
| 2 増設操作パネル作動状態表示 | P. 123 (6-2) |
| 3 業務放送状態表示設定の終了 | P. 124 (6-3) |



各項目の参照先へ

■ 放送状態マトリクス表示設定 (6-1)

FS-A2500EP および FS-2500RM 前面の液晶画面に放送状態マトリクスを表示するかどうか、設定します。
工場出荷時は「放送ガイド」に設定されています。
「マトリクス」に設定すると、非常放送、緊急地震放送のとき以外は、常時、放送状態マトリクスを表示します。

[放送状態マトリクス表示の例]





放送状態マトリクス表示設定終了

「6 業務放送状態表示設定」(P. 122) で「1 放送状態マトリクス表示設定」決定時

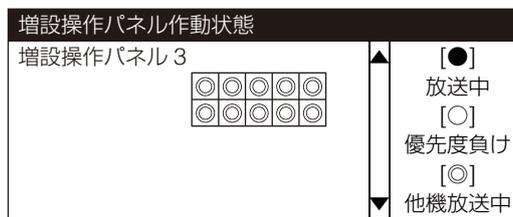
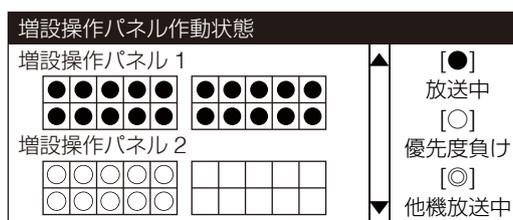
1 左右シフトキーで、設定内容を選択する。

2 決定キーを押す。

■ 増設操作パネル作動状態表示 (6-2)

FS-A2500EP 前面の液晶画面で、自機の増設操作パネルの作動状態を表示するかどうかを設定します。工場出荷時は「なし」に設定されています。「あり」に設定されている場合は、業務放送中は自機の増設操作パネルのスイッチ数分だけ右図のように表示されます。ただし、放送階選択スイッチの用途が「非常」または「未使用」のものについては状態表示をしません。

- (放送中) : スイッチに割り当てられた全回線に自機放送中
- (優先度負け) : スイッチに割り当てられた全回線に優先度の高い放送が行われており、自機放送が待機中
- ◎ (他機放送中) : スイッチに割り当てられた回線の1つ以上に他機放送中
- 表示なし : 放送なし



増設操作パネル作動状態表示設定終了

「6 業務放送状態表示設定」(P. 122) で「1 放送状態マトリクス表示設定」決定時

1 左右シフトキーで、設定内容を選択する。

2 決定キーを押す。

【注意】

「あり」に設定すると、「6-1 放送状態マトリクス表示設定」(前項)に関係なく、業務放送中は常に液晶画面に増設操作パネル作動状態が表示されます。

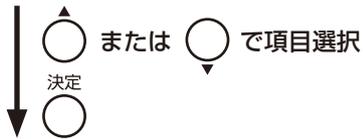
■ 業務放送状態表示設定の終了 (6-3)

業務放送状態表示設定の各項目終了



| 6 業務放送状態表示設定 | |
|---|----------------------------|
| 1 放送状態マトリクス表示設定 2 増設操作パネル作動状態表示 3 業務放送状態表示設定の終了 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

- 1 設定が終了した後、戻るボタンを押す。
業務放送状態表示設定のメニューが表示されます。



| 6 業務放送状態表示設定 | |
|---|----------------------------|
| 1 放送状態マトリクス表示設定 2 増設操作パネル作動状態表示 3 業務放送状態表示設定の終了 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

- 2 上下シフトキーで「3 業務放送状態表示設定の終了」を選択する。

- 3 決定キーを押す。
業務放送状態表示設定が終了します。



システム状態確認終了

モニター選択

FS-A2500EP でモニターする出力システムを選択します。

FS-A2500EP（画面での表示は EP）および FS-A2500EX（画面での表示は EX1 ~ 13）の出力システムから選択します。

メニュー



- 1 メニューキーを押す。

| 動作選択メニュー | |
|--|----------------------------|
| 1 システム設定 2 メンテナンス 3 システム状態確認 4 総合点検 5 LCD コントラスト設定 6 業務放送状態表示設定 7 モニター選択 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |



| 動作選択メニュー | |
|--|----------------------------|
| 1 システム設定 2 メンテナンス 3 システム状態確認 4 総合点検 5 LCD コントラスト設定 6 業務放送状態表示設定 7 モニター選択 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |

- 2 「7 モニター選択」を選択し、決定する。



次ページへ

前ページから



| 7 モニター選択 | |
|----------|----|
| ユニット | EP |
| 出力系統 | 1 |

[決定]
編集
[戻る]
戻る

3 または で項目選択
決定

| 7 モニター選択 | |
|----------|------|
| ユニット | ◀EP▶ |
| 出力系統 | 1 |

[決定]
セット
[戻る]
キャンセル

6 または で設定内容選択
決定
3～6を繰り返す

モニター選択終了

3 上下シフトキーで項目を選択する。

4 決定キーを押す。

編集できるようになります。

5 左右シフトキーで設定内容を選択する。

6 決定キーを押す。

7 手順3～6を繰り返す。

動作選択メニューの終了

動作選択メニューを終了させるには、以下のように操作してください。

戻る を何回か押す

| 動作選択メニュー | |
|----------------|----------------------------|
| 1 システム設定 | [決定] 項目決定 [戻る] 戻る |
| 2 メンテナンス | |
| 3 システム状態確認 | |
| 4 総合点検 | |
| 5 LCD コントラスト設定 | |
| 6 業務放送状態表示設定 | |
| 7 モニター選択 | |

戻る

動作選択メニュー終了

1 動作選択メニュー画面が表示されるまで、戻るキーを何回か押す。

2 動作選択メニュー画面で戻るキーを押す。

動作選択メニューが終了します。

記名カードの取り付け

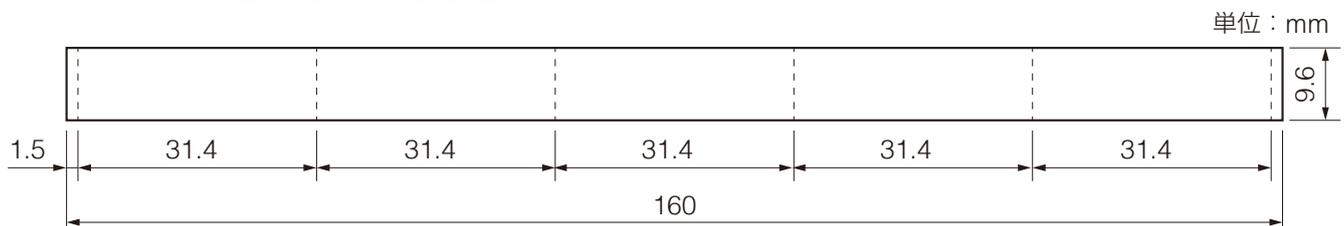
増設操作パネル、非常用リモコンパネルに、放送階選択スイッチおよびグループ選択スイッチの名称を記入した記名カードを取り付けます。

■ 記名カードの作成

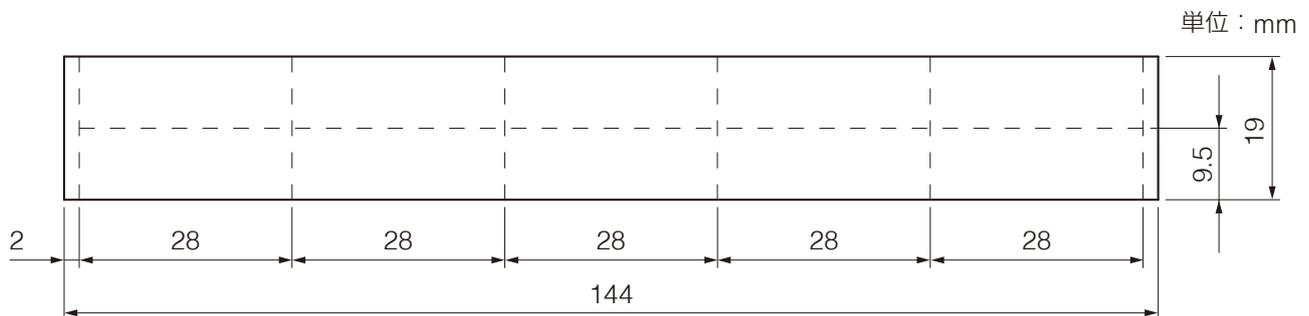
記名カードの作成方法は次の5通りあります。

- (1) 増設操作パネルの付属品または増設操作パネルに取り付けられている記名カードを使用する。
増設操作パネルに取り付けられている場合は、取り出してください。記名カードに名称を直接記入します。
- (2) 寸法図を基に、記名カードを作成する。
下図を基に記名カードを作成します。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

[寸法図 (FS-2510EP、FS-2520EP の場合)]



[寸法図 (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の場合)]



- (3) P. 127、P. 128 の「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。
放送階選択スイッチに割り当てた名称を手書きします。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
はさみで切り取ってご使用ください。
- (4) 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用する。
設定支援ソフトウェアを使用して選択スイッチの名称を印刷します。
厚さ 0.2 mm 以下の紙をご使用ください。
印刷後、はさみで切り取ってご使用ください。

【注意】

パソコンの設定環境によっては、記名カードが正しい寸法で印刷されないことがあります。

- (5) ラベルプリンターで記名カードを作成する。
ラベルプリンターで名称を印刷して貼り付けます。ラベルの様子は以下のとおりです。

| 機種 | テープ幅 | 長さ |
|-------------------------------|---------|----------|
| FS-2510EP、FS-2520EP | 9 mm 以下 | 30 mm 以内 |
| FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM | | 27 mm 以内 |

[手書き用コピー台紙 (FS-2510EP、FS-2520EP 専用)]

記名カード (FS-2510EP、FS-2520EP 専用)

[手書き用コピー台紙 (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用)]

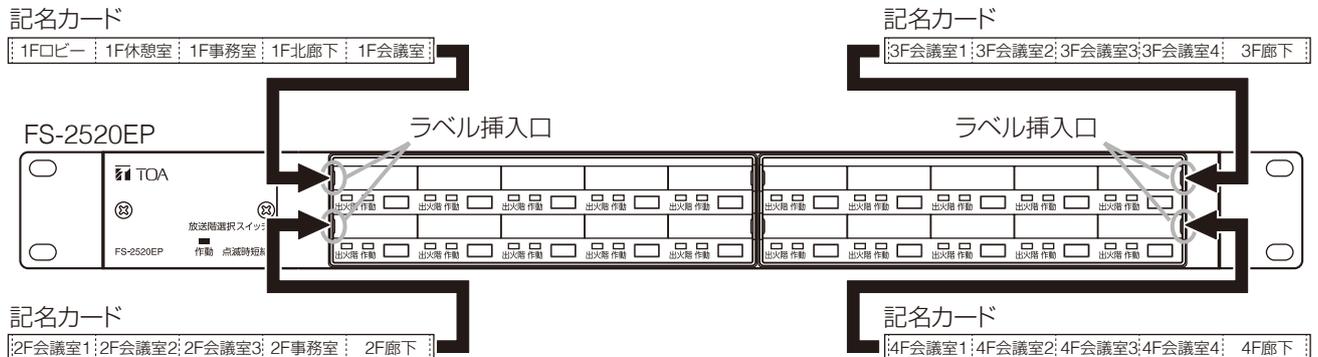
| | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|
| | 記名カード (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用) | | | | |
| ← | | | | | |
| | 記名カード (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用) | | | | |
| ← | | | | | |
| | 記名カード (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用) | | | | |
| ← | | | | | |
| | 記名カード (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用) | | | | |
| ← | | | | | |
| | 記名カード (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用) | | | | |
| ← | | | | | |
| | 記名カード (FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM 専用) | | | | |
| ← | | | | | |

■ 記名カードの取り付け

記名カードを増設操作パネル、非常用リモコンパネルに取り付けます。

● FS-2510EP、FS-2520EP の場合

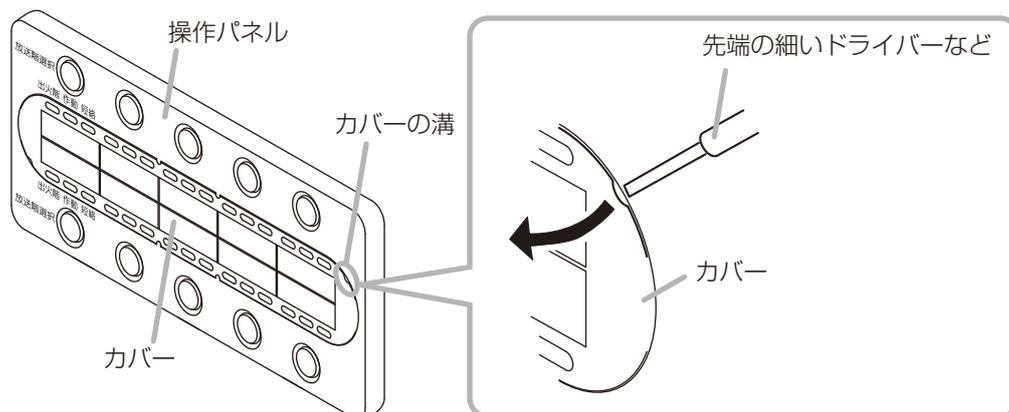
左右のラベル挿入口から記名カードを挿入します。



● FS-1010RM、FS-1020RM、FS-1030RM の場合

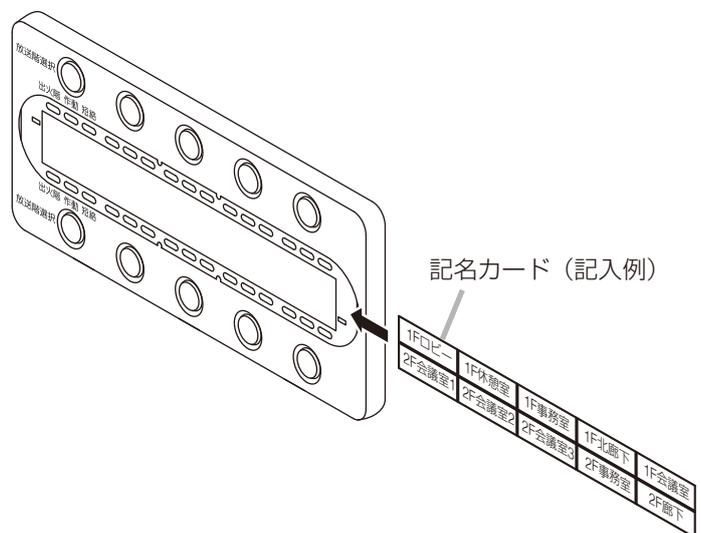
1 操作パネルのカバーを外す。

カバーをたわませて取り外します。カバーの溝にドライバーなどを入れて外すと、作業が容易に行えます。



2 記名カードを取り付ける。

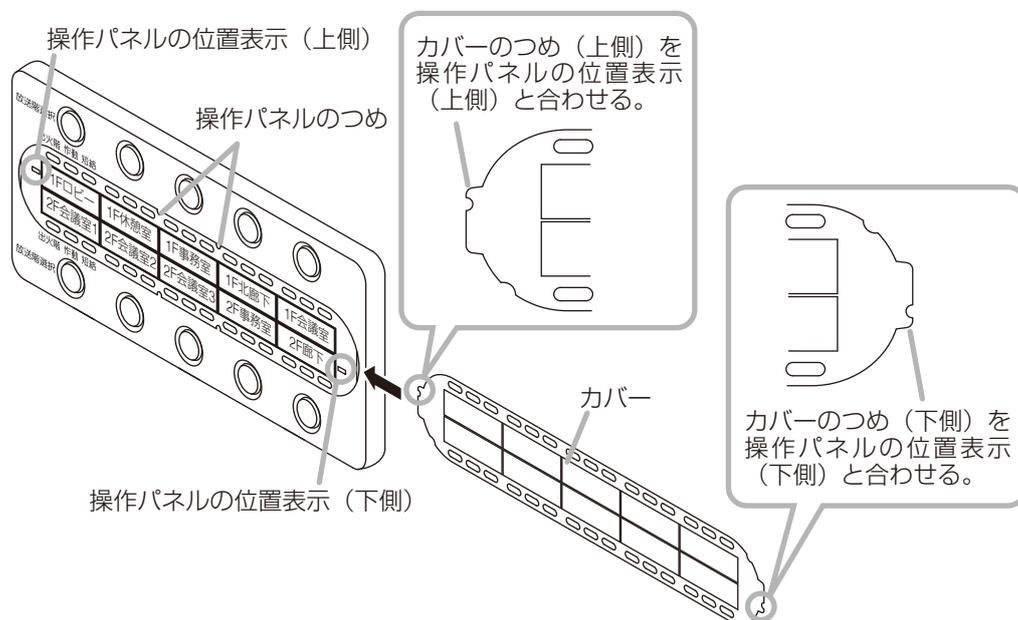
作成した記名カードを操作パネルにはめ込みます。



3 カバーを操作パネルに取り付ける。

カバーを操作パネルのつめの内側に差し込んで取り付けてください。

カバーは左右どちらからでも操作パネルに挿入できます。ただし、カバーには表裏がありますので、表裏を合わせるために、下図のようにカバー左右のつめ部分を操作パネルの位置表示と合わせて取り付けてください。



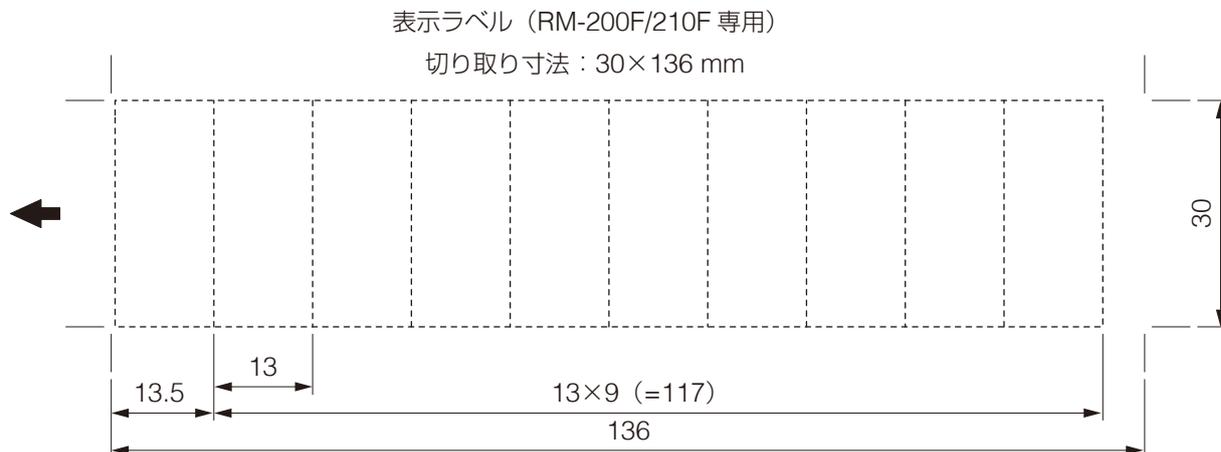
業務用リモコンの表示ラベルの取り付け

● RM-200F/210F の場合

1 次のいずれかの方法で RM-200F/210F 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



1-2 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。

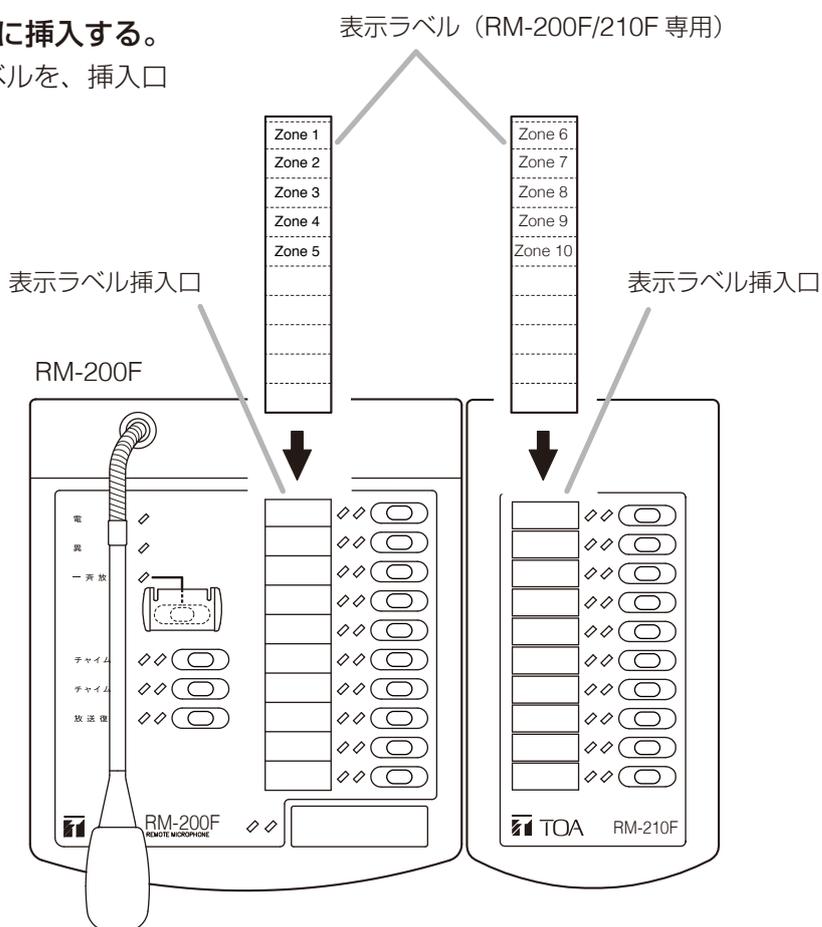
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

1-3 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用する。

RM-200F と RM-210F の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

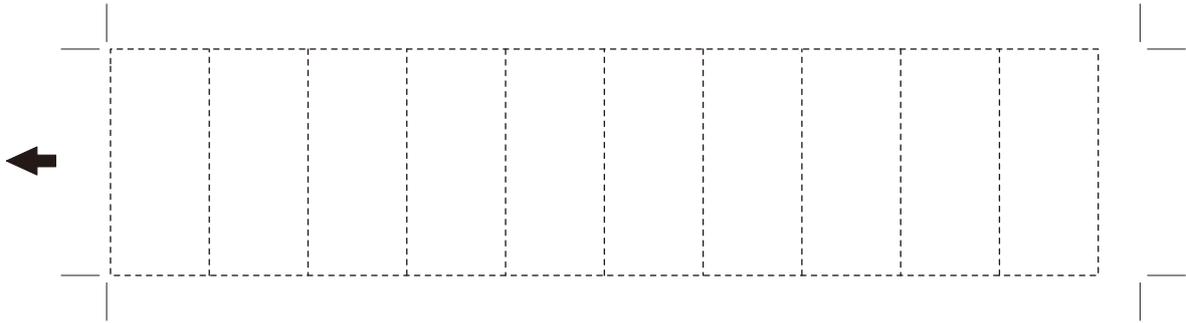
2 表示ラベルを RM-200F/210F に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



[手書き用コピー台紙 (RM-200F/210F 専用)]

表示ラベル (RM-200F/210F 専用)



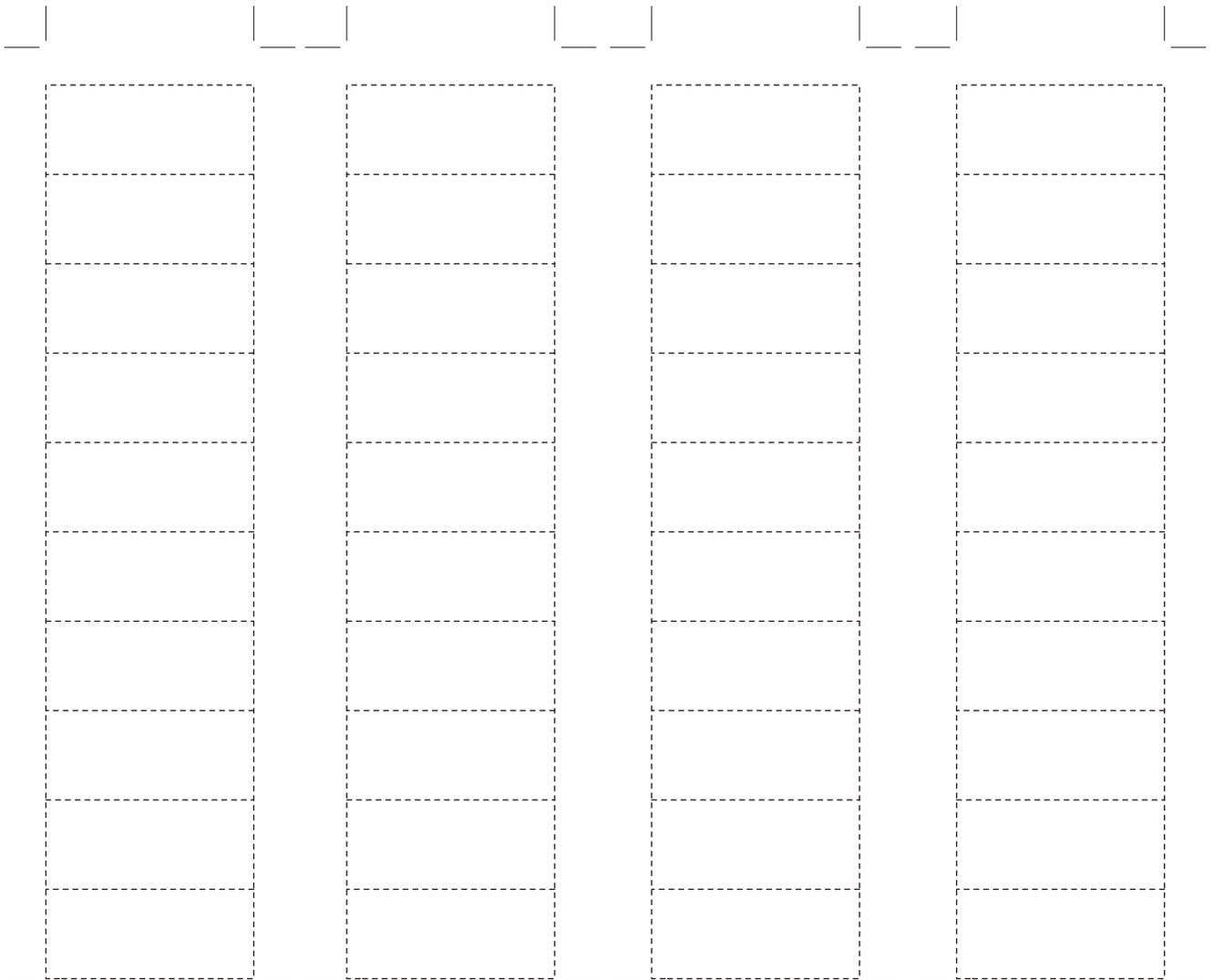
実寸

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)

表示ラベル
(RM-200F/210F 専用)



挿入方向

ガイドライン

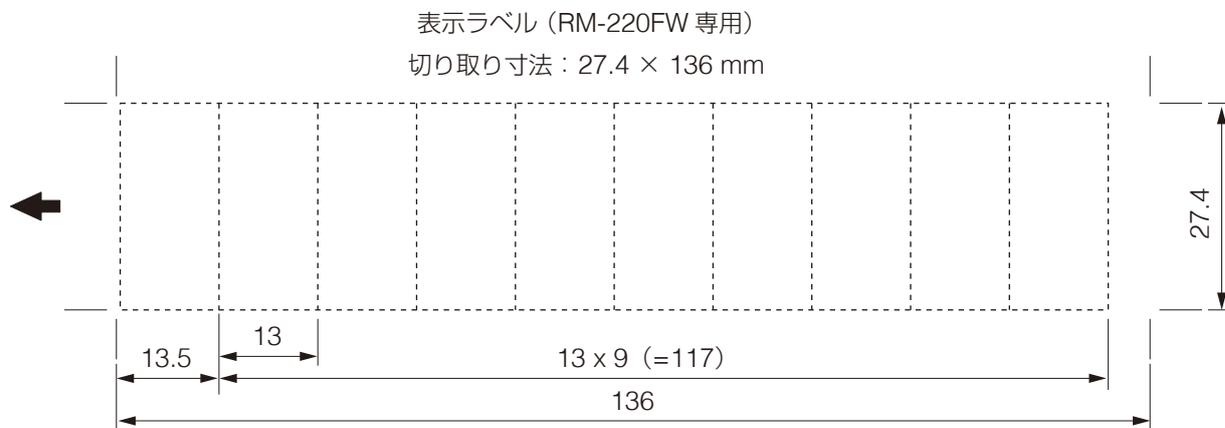
実寸

● RM-220FW の場合

1 次のいずれかの方法で RM-220FW 専用の表示ラベルを作成する。

いずれの場合も、厚さ 0.2 mm 以下の紙を使用し、印刷またはコピーした紙をガイドラインに合わせて切り取ってください。

1-1 下記の寸法図を基にパソコンなどで作成する。



1-2 次ページの「手書き用コピー台紙 (実寸)」をコピーする。

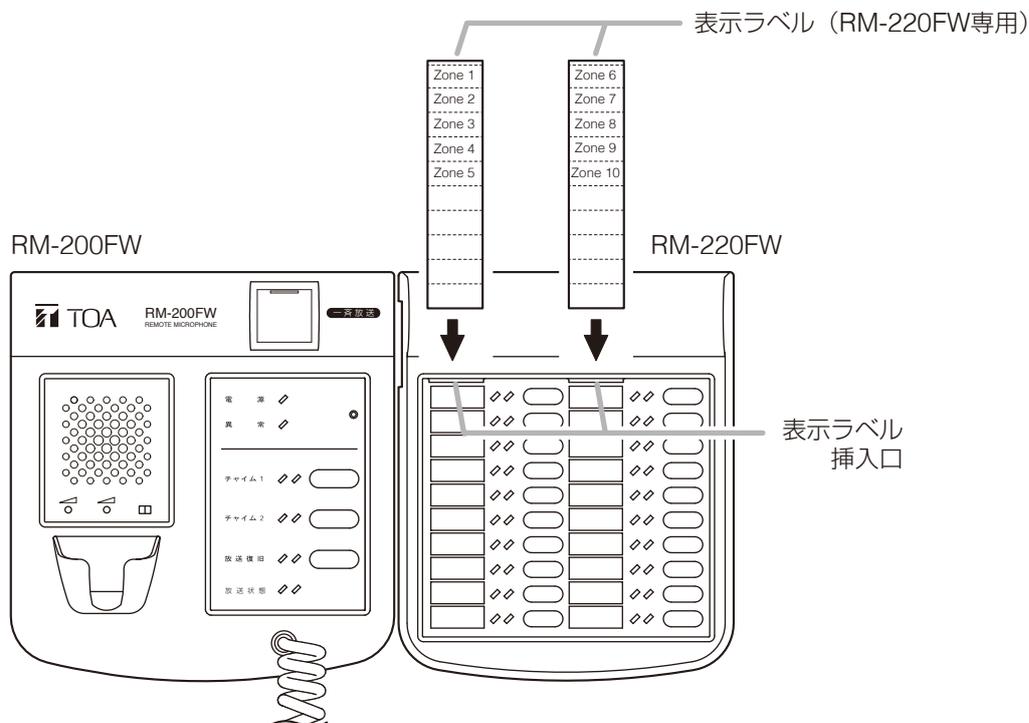
機能キーに割り当てた名称を手書きします。

1-3 設定支援ソフトウェア FS-A2500 Manager を使用する。

RM-220FW の機能キーに割り当てた名称を印刷できます。

2 表示ラベルを RM-220FW に挿入する。

指定のサイズに切り取った表示ラベルを、挿入口からしっかりと差し込みます。



[手書き用コピー台紙 (RM-220FW 専用)]

表示ラベル (RM-220FW 専用)

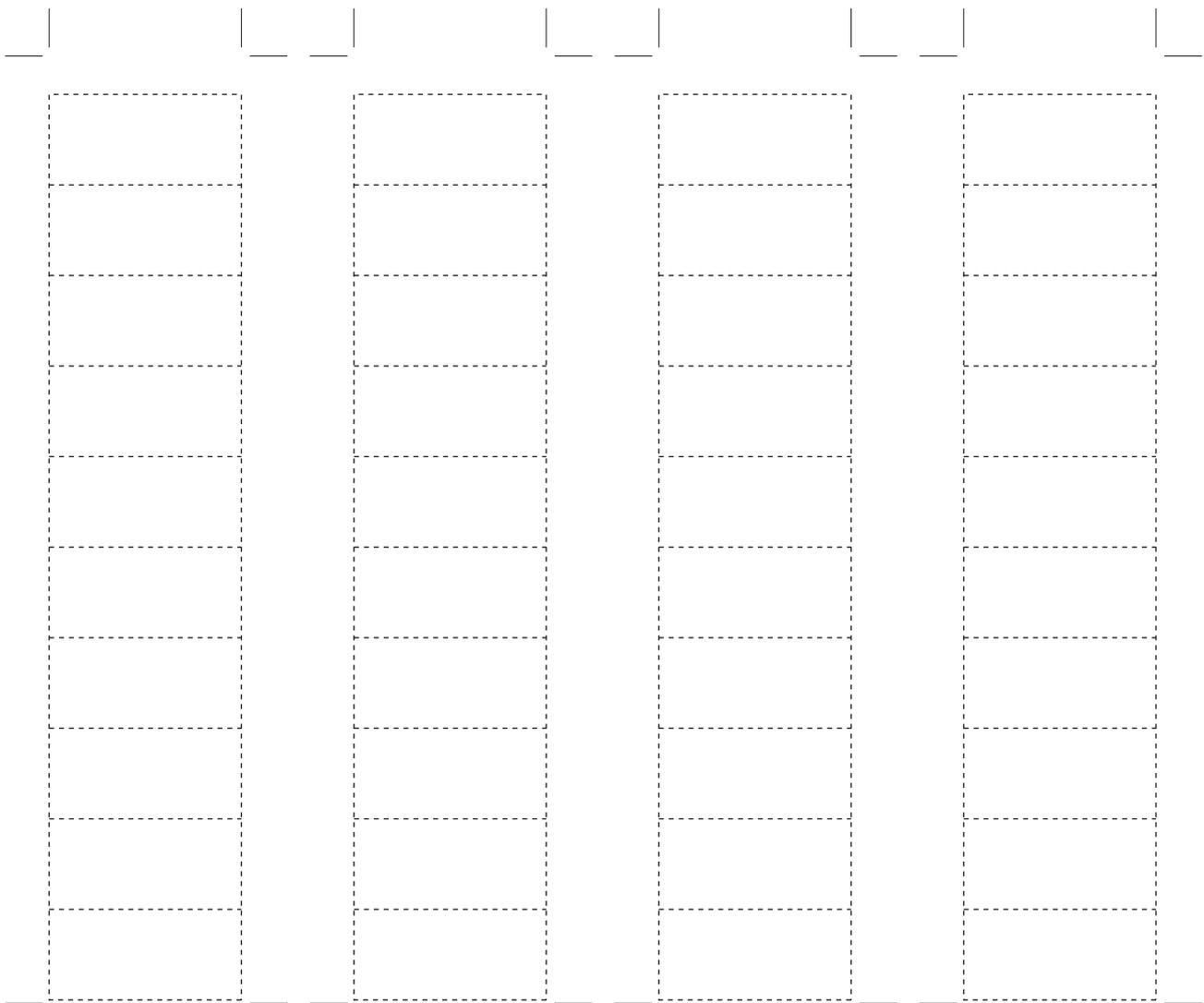


表示ラベル
(RM-220FW 専用)

表示ラベル
(RM-220FW 専用)

表示ラベル
(RM-220FW 専用)

表示ラベル
(RM-220FW 専用)



挿入方向

ガイドライン

実寸

| | | |
|--|--|---|
| <p>TOA お客様相談センター</p> <p>商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く)</p> | <p>フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117</p> <p>ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。</p> | <p>商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。</p> |
|--|--|---|

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ <https://www.toa.co.jp/>

TOA 株式会社

133-02-00626-03